授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	1
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは1 2 グループディスカッションとは2 3 グループディスカッションの役割1 4 グループディスカッションの役割2 5 抽象テーマ型グループディスカッション1 6 抽象テーマ型グループディスカッション2 7 抽象テーマ型グループディスカッション3 8 課題解決型グループディスカッション1 9 課題解決型グループディスカッション2 10 課題解決型グループディスカッション3 11 KJ法1 12 KJ法2 13 資料読み取り型グループディスカッション1 14 資料読み取り型グループディスカッション2 15 資料読み取り型グループディスカッション3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	2
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　面接の基本 2　入退室の仕方 3　スーツの着こなし、身嗜み確認 4　自己ＰＲ作成1 5　自己ＰＲ作成2 6　自己ＰＲ作成3 7　面接質問項目1 8　面接質問項目2 9　面接質問項目3 10　企業研究1 11　企業研究2 12　模擬面接練習1 13　模擬面接練習2 14　模擬面接練習3 15　模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	3
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ビジネスで使用される初歩的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正1 8 誤字訂正2・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方1 11 漢字の意味・使い方2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	4
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　電卓の使い方、端数の取り扱い 2　電卓演習1 3　電卓演習2 4　電卓演習3 5　電卓演習4 6　電卓演習5 7　電卓演習6 8　電卓演習7 9　電卓演習8 10　電卓演習9 11　電卓演習10 12　電卓演習11 13　電卓演習12 14　電卓演習13 15　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	5
授業科目	簿記入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的（基礎編） 2 簿記一巡（基礎編） 3 商品売買Ⅰ（基礎編） 4 商品売買Ⅱ（基礎編） 5 決算整理（基礎編） 6 精算表（基礎編） 7 現金および預金（基礎編） 8 手形（基礎編） 9 有形固定資産の決算整理（基礎編） 10 その他の債権および債務（基礎編） 11 その他の勘定および訂正仕訳（基礎編） 12 有形固定資産の決算整理（基礎編） 13 費用および収益の決算整理（基礎編） 14 株式会社の純資産（基礎編） 15 英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	6
授業科目	3級商業簿記基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の目的	31	仕入帳･売上帳
2	簿記一巡	32	商品有高帳
3	株式会社の資本	33	手形記入帳
4	商品売買Ⅰ（商品売買、3分法、売掛金・買掛金）	34	試算表の作成
5	商品売買Ⅱ（返品、分記法）	35	伝票会計1
6	商品売買3（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券）	36	伝票会計2
7	決算1（繰越商品および仕入の決算整理）	37	確認テスト（第3回）
8	決算2（決算整理後残高試算表）	38	商業簿記総まとめ2
9	決算2（決算整理）	39	商業簿記総まとめ3
10	決算3（精算表）	40	商業簿記総まとめ4
11	現金および預金Ⅰ（現金、普通預金、当座預金）	41	商業簿記総まとめ5
12	現金および預金Ⅱ（複数口座の管理、当座借越）	42	商業簿記総まとめ6
13	確認テスト（第1回）	43	商業簿記総まとめ7
14	商業簿記総まとめ1	44	商業簿記総まとめ8
15	決算4（受取手形および売掛金の決算整理）	45	商業簿記総まとめ9
16	有形固定資産		
17	決算5（有形固定資産の決算整理）		
18	その他の債権および債務Ⅰ（債権・債務、未収入金・未払金）		
19	その他の債権および債務Ⅱ（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金）		
20	その他の債権および債務Ⅲ（仮払金・仮受金、差入保証金）		
21	その他の収益および費用		
22	決算6（費用および収益の決算整理）		
23	税金		
24	決算7（その他の決算整理）		
25	その他の勘定および訂正仕訳		
26	損益計算書および貸借対照表Ⅰ		
27	損益計算書および貸借対照表Ⅱ		
28	確認テスト（第2回）		
29	主要簿と補助簿		
30	現金出納帳および当座預金出納帳		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	7
授業科目	3級簿記総合
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1（基礎編）	31	総合問題対策1
2	商業簿記総まとめ2（基礎編）	32	総合問題対策2
3	商業簿記総まとめ3（基礎編）	33	総合問題対策3
4	商業簿記総まとめ4（基礎編）	34	総合問題対策4
5	商業簿記総まとめ5（基礎編）	35	総合問題対策5
6	商業簿記総まとめ6（基礎編）	36	総合問題対策6
7	商業簿記総まとめ7（基礎編）	37	総合問題対策7
8	商業簿記総まとめ8（基礎編）	38	総合問題対策8
9	商業簿記総まとめ9（基礎編）	39	総合問題対策9
10	商業簿記総まとめ10（基礎編）	40	総合問題対策10
11	商業簿記総まとめ11（基礎編）	41	総合問題対策11
12	商業簿記総まとめ12（基礎編）	42	総合問題対策12
13	商業簿記総まとめ13（基礎編）	43	総合問題対策13
14	商業簿記総まとめ14（基礎編）	44	総合問題対策14
15	商業簿記総まとめ15（基礎編）	45	総合問題対策15
16	商業簿記総まとめ1（応用編）	46	総合問題演習1
17	商業簿記総まとめ2（応用編）	47	総合問題演習2
18	商業簿記総まとめ3（応用編）	48	総合問題演習3
19	商業簿記総まとめ4（応用編）	49	総合問題演習4
20	商業簿記総まとめ5（応用編）	50	総合問題演習5
21	商業簿記総まとめ6（応用編）	51	総合問題演習6
22	商業簿記総まとめ7（応用編）	52	総合問題演習7
23	商業簿記総まとめ8（応用編）	53	総合問題演習8
24	商業簿記総まとめ9（応用編）	54	総合問題演習9
25	商業簿記総まとめ10（応用編）	55	総合問題演習10
26	商業簿記総まとめ11（応用編）	56	総合問題演習11
27	商業簿記総まとめ12（応用編）	57	総合問題演習12
28	商業簿記総まとめ13（応用編）	58	総合問題演習13
29	商業簿記総まとめ14（応用編）	59	総合問題演習14
30	商業簿記総まとめ15（応用編）	60	総合問題演習15

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	8
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論（基礎編） 2 収益と費用（基礎編） 3 棚卸資産（基礎編） 4 現金預金（基礎編） 5 債権・債務等（基礎編） 6 有価証券1（基礎編） 7 有価証券2（基礎編） 8 固定資産1（基礎編） 9 固定資産2（基礎編） 10 固定資産3（基礎編） 11 固定資産4（基礎編） 12 為替換算会計1（基礎編） 13 為替換算会計2（基礎編） 14 引当金（基礎編） 15 法人税等1（基礎編） 16 法人税等2（基礎編） 17 株式会社の純資産（基礎編） 18 企業結合（基礎編） 19 確認テスト（第1回） 20 株主資本等変動計算書（基礎編） 21 連結会計1（基礎編） 22 連結会計2（基礎編） 23 連結会計3（基礎編） 24 連結会計4（基礎編） 25 連結会計5（基礎編） 26 連結会計6（基礎編） 27 本支店会計（基礎編） 28 製造業を営む会社の決算整理 29 伝票と帳簿（基礎編） 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	9
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　工業簿記の基礎（基礎編） 2　個別原価計算の手続き（基礎編） 3　材料費会計（基礎編） 4　労務費会計（基礎編） 5　経費会計（基礎編） 6　製造間接費会計（基礎編） 7　製造間接費差異の原因別分析（基礎編） 8　単純個別原価計算Ⅰ（基礎編） 9　単純個別原価計算Ⅱ（基礎編） 10　工企業の財務諸表（基礎編） 11　工業簿記総まとめ1（基礎編） 12　部門別計算Ⅰ（基礎編） 13　部門別計算Ⅱ（基礎編） 14　確認テスト（第1回） 15　工業簿記総まとめ2（基礎編） 16　総合原価計の手続き（基礎編） 17　単純総合原価計算（基礎編） 18　減損および仕損（基礎編） 19　工程別総合原価計算（基礎編） 20　組別総合原価計算（基礎編） 21　等級別総合原価計算（基礎編） 22　標準原価計算Ⅰ（基礎編） 23　標準原価計算Ⅱ（基礎編） 24　標準原価計算Ⅲ（基礎編） 25　工業簿記総まとめ3（基礎編） 26　CVP分析Ⅰ（基礎編） 27　CVP分析Ⅱ（基礎編） 28　直接原価計算（基礎編） 29　工業簿記総まとめ4（基礎編） 30　確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	10
授業科目	2級簿記総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	商業簿記総まとめ1（基礎編）	31	総合問題演習1（テスト形式_基礎編）
	2	商業簿記総まとめ2（基礎編）	32	総合問題演習2（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記総まとめ3（基礎編）	33	総合問題演習3（テスト形式_基礎編）
	4	商業簿記総まとめ4（基礎編）	34	総合問題演習4（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記総まとめ5（基礎編）	35	総合問題演習5（テスト形式_基礎編）
	6	商業簿記総まとめ6（基礎編）	36	総合問題演習6（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記総まとめ7（基礎編）	37	総合問題演習7（テスト形式_基礎編）
	8	商業簿記総まとめ8（基礎編）	38	総合問題演習8（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記総まとめ9（基礎編）	39	総合問題演習9（テスト形式_基礎編）
	10	商業簿記総まとめ10（基礎編）	40	総合問題演習10（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記総まとめ11（基礎編）	41	総合問題演習11（テスト形式_基礎編）
	12	商業簿記総まとめ12（基礎編）	42	総合問題演習12（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記総まとめ13（基礎編）	43	総合問題演習13（テスト形式_基礎編）
	14	商業簿記総まとめ14（基礎編）	44	総合問題演習14（テスト形式_基礎編）
	15	商業簿記総まとめ15（基礎編）	45	総合問題演習15（テスト形式_基礎編）
	16	工業簿記総まとめ1（基礎編）		
	17	工業簿記総まとめ2（基礎編）		
	18	工業簿記総まとめ3（基礎編）		
	19	工業簿記総まとめ4（基礎編）		
	20	工業簿記総まとめ5（基礎編）		
	21	工業簿記総まとめ6（基礎編）		
	22	工業簿記総まとめ7（基礎編）		
	23	工業簿記総まとめ8（基礎編）		
	24	工業簿記総まとめ9（基礎編）		
	25	工業簿記総まとめ10（基礎編）		
	26	工業簿記総まとめ11（基礎編）		
	27	工業簿記総まとめ12（基礎編）		
	28	工業簿記総まとめ13（基礎編）		
	29	工業簿記総まとめ14（基礎編）		
	30	工業簿記総まとめ15（基礎編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	11
授業科目	1級会計学速習基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　財務諸表、有価証券（速習編） 2　デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産（速習編） 3　割引現在価値（速習編） 4　リース取引（速習編） 5　研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損（速習編） 6　繰延資産（速習編） 7　社債（速習編） 8　引当金（速習編） 9　退職給付（速習編） 10　資産除去債務（速習編） 11　純資産（速習編） 12　新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション（速習編） 13　税効果会計1（速習編） 14　税効果会計2（速習編） 15　外貨建取引1（速習編） 16　外貨建取引2（速習編） 17　商品売買等（速習編） 18　本支店会計（速習編） 19　連結財務諸表総論、資本連結（速習編） 20　成果連結1（速習編） 21　成果連結2（速習編） 22　持分法、連結税効果会計、包括利益（速習編） 23　在外子会社（速習編） 24　企業結合（速習編） 25　事業分離1（速習編） 26　事業分離2（速習編） 27　キャッシュフロー計算書1（速習編） 28　キャッシュフロー計算書2（速習編） 29　連結キャッシュフロー（速習編） 30　会計上の変更および誤謬の訂正
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	12
授業科目	1級原価計算速習基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　総論（速習編） 2　費目別計算（速習編） 3　個別原価計算Ⅰ（速習編） 4　部門別計算Ⅰ（速習編） 5　部門別計算Ⅱ（速習編） 6　個別原価計算Ⅱ（速習編） 7　総合原価計算Ⅰ（速習編） 8　総合原価計算Ⅱ（速習編） 9　総合原価計算Ⅲ（速習編） 10　総合原価計算Ⅳ（速習編） 11　短期利益計画（速習編） 12　直接原価計算（速習編） 13　標準原価計算Ⅰ（速習編） 14　標準原価計算Ⅱ（速習編） 15　標準原価計算Ⅲ（速習編） 16　標準原価計算Ⅳ（速習編） 17　直接原価計算（速習編） 18　短期利益計画（速習編） 19　予算管理Ⅰ（速習編） 20　予算管理Ⅱ（速習編） 21　意思決定会計総論（速習編） 22　業務的意思決定Ⅰ（速習編） 23　業務的意思決定Ⅱ（速習編） 24　構造的意思決定Ⅰ（速習編） 25　構造的意思決定Ⅱ（速習編） 26　構造的意思決定Ⅲ（速習編） 27　事業部制Ⅰ（速習編） 28　事業部制Ⅱ（速習編） 29　戦略的原価計算Ⅰ（速習編） 30　戦略的原価計算Ⅱ（速習編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	13
授業科目	1級簿記速習総合
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	商業簿記・会計学総まとめ1（速習編）	31	総合問題演習1（テスト形式_基礎編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ2（速習編）	32	総合問題演習2（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ3（速習編）	33	総合問題演習3（テスト形式_基礎編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ4（速習編）	34	総合問題演習4（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ5（速習編）	35	総合問題演習5（テスト形式_基礎編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ6（速習編）	36	総合問題演習6（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ7（速習編）	37	総合問題演習7（テスト形式_基礎編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ8（速習編）	38	総合問題演習8（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ9（速習編）	39	総合問題演習9（テスト形式_基礎編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ10（速習編）	40	総合問題演習10（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ11（速習編）	41	総合問題演習11（テスト形式_基礎編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ12（速習編）	42	総合問題演習12（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ13（速習編）	43	総合問題演習13（テスト形式_基礎編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ14（速習編）	44	総合問題演習14（テスト形式_基礎編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ15（速習編）	45	総合問題演習15（テスト形式_基礎編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ1（速習編）		
	17	工業簿記・原価計算総まとめ2（速習編）		
	18	工業簿記・原価計算総まとめ3（速習編）		
	19	工業簿記・原価計算総まとめ4（速習編）		
	20	工業簿記・原価計算総まとめ5（速習編）		
	21	工業簿記・原価計算総まとめ6（速習編）		
	22	工業簿記・原価計算総まとめ7（速習編）		
	23	工業簿記・原価計算総まとめ8（速習編）		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ9（速習編）		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ10（速習編）		
	26	工業簿記・原価計算総まとめ11（速習編）		
	27	工業簿記・原価計算総まとめ12（速習編）		
	28	工業簿記・原価計算総まとめ13（速習編）		
	29	工業簿記・原価計算総まとめ14（速習編）		
	30	工業簿記・原価計算総まとめ15（速習編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	14
授業科目	1級簿記速習演習
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ1(基礎編) 2 商業簿記・会計学総まとめ2(基礎編) 3 商業簿記・会計学総まとめ3(基礎編) 4 商業簿記・会計学総まとめ4(基礎編) 5 商業簿記・会計学総まとめ5(基礎編) 6 商業簿記・会計学総まとめ6(基礎編) 7 商業簿記・会計学総まとめ7(基礎編) 8 商業簿記・会計学総まとめ8(基礎編) 9 商業簿記・会計学総まとめ9(基礎編) 10 商業簿記・会計学総まとめ10(基礎編) 11 商業簿記・会計学総まとめ11(基礎編) 12 商業簿記・会計学総まとめ12(基礎編) 13 商業簿記・会計学総まとめ13(基礎編) 14 商業簿記・会計学総まとめ14(基礎編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ1(基礎編) 16 工業簿記・原価計算総まとめ2(基礎編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ3(基礎編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ4(基礎編) 19 工業簿記・原価計算総まとめ5(基礎編) 20 工業簿記・原価計算総まとめ6(基礎編) 21 工業簿記・原価計算総まとめ7(基礎編) 22 工業簿記・原価計算総まとめ8(基礎編) 23 工業簿記・原価計算総まとめ9(基礎編) 24 工業簿記・原価計算総まとめ10(基礎編) 25 工業簿記・原価計算総まとめ11(基礎編) 26 工業簿記・原価計算総まとめ12(基礎編) 27 工業簿記・原価計算総まとめ13(基礎編) 28 総合問題演習1(テスト形式_基礎編) 29 総合問題演習1(テスト形式_基礎編) 30 総合問題演習1(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	15
授業科目	全経簿記上級総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	商業簿記・会計学総まとめ1（全経速習編）	31	総合問題対策1（全経速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ2（全経速習編）	32	総合問題対策2（全経速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ3（全経速習編）	33	総合問題対策3（全経速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ4（全経速習編）	34	総合問題対策4（全経速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ5（全経速習編）	35	総合問題対策5（全経速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ6（全経速習編）	36	総合問題対策6（全経速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ7（全経速習編）	37	総合問題対策7（全経速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ8（全経速習編）	38	総合問題対策8（全経速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ9（全経速習編）	39	総合問題対策9（全経速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ10（全経速習編）	40	総合問題対策10（全経速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ11（全経速習編）	41	総合問題対策11（全経速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ12（全経速習編）	42	総合問題対策12（全経速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ13（全経速習編）	43	総合問題対策13（全経速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ14（全経速習編）	44	総合問題対策14（全経速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ15（全経速習編）	45	総合問題対策15（全経速習編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ1（全経速習編）	46	総合問題演習1（テスト形式）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ2（全経速習編）	47	総合問題演習1（テスト形式）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ3（全経速習編）	48	総合問題演習1（テスト形式）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ4（全経速習編）	49	総合問題演習2（テスト形式）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ5（全経速習編）	50	総合問題演習2（テスト形式）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ6（全経速習編）	51	総合問題演習2（テスト形式）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ7（全経速習編）	52	総合問題演習3（テスト形式）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ8（全経速習編）	53	総合問題演習3（テスト形式）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ9（全経速習編）	54	総合問題演習3（テスト形式）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ10（全経速習編）	55	総合問題演習4（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ11（全経速習編）	56	総合問題演習4（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ12（全経速習編）	57	総合問題演習4（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ13（全経速習編）	58	総合問題演習5（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ14（全経速習編）	59	総合問題演習5（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ15（全経速習編）	60	総合問題演習5（テスト形式）

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	16
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	総論1（基礎編）	31	株式会社の純資産1（基礎編）
	2	総論2（基礎編）	32	株式会社の純資産2（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33	株式会社の純資産3（基礎編）
	4	棚卸資産1（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産2（基礎編）	35	株主資本等変動計算書1（基礎編）
	6	棚卸資産3（基礎編）	36	株主資本等変動計算書2（基礎編）
	7	現金預金1（基礎編）	37	連結会計1（基礎編）
	8	現金預金2（基礎編）	38	連結会計2（基礎編）
	9	債権･債務等（基礎編）	39	連結会計3（基礎編）
	10	有価証券1（基礎編）	40	連結会計4（基礎編）
	11	有価証券2（基礎編）	41	連結会計5（基礎編）
	12	有価証券3（基礎編）	42	連結会計6（基礎編）
	13	有価証券4（基礎編）	43	連結会計7（基礎編）
	14	有価証券5（基礎編）	44	連結会計8（基礎編）
	15	有価証券6（基礎編）	45	連結会計9（基礎編）
	16	固定資産1（基礎編）		
	17	固定資産2（基礎編）		
	18	固定資産3（基礎編）		
	19	固定資産4（基礎編）		
	20	固定資産5（基礎編）		
	21	固定資産6（基礎編）		
	22	為替換算会計1（基礎編）		
	23	為替換算会計2（基礎編）		
	24	為替換算会計3（基礎編）		
	25	引当金1（基礎編）		
	26	引当金2（基礎編）		
	27	引当金3（基礎編）		
	28	法人税等1（基礎編）		
	29	法人税等2（基礎編）		
	30	法人税等3（基礎編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	17
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算1
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	32	標準原価計算2
	3	材料費会計1	33	標準原価計算3
	4	材料費会計2	34	原価・営業量・利益関係の分析1
	5	労務費会計1	35	原価・営業量・利益関係の分析2
	6	労務費会計2	36	工場会計の独立
	7	経費会計	37	直接原価計算1
	8	製造間接費会計1	38	直接原価計算2
	9	製造間接費会計2	39	確認テスト（第2回）
	10	単純個別原価計算1	40	工業簿記総まとめ1
	11	単純個別原価計算2	41	工業簿記総まとめ2
	12	単純個別原価計算3	42	工業簿記総まとめ3
	13	部門別計算1	43	工業簿記総まとめ4
	14	部門別計算2	44	工業簿記総まとめ5
	15	部門別計算3	45	工業簿記総まとめ6
	16	確認テスト（第1回）		
	17	工企業の財務諸表1		
	18	工企業の財務諸表2		
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）		
	20	総合原価計算1		
	21	総合原価計算2		
	22	総合原価計算3		
	23	総合原価計算4		
	24	総合原価計算5		
	25	総合原価計算6		
	26	工程別総合原価計算1		
	27	工程別総合原価計算2		
	28	組別総合原価計算		
	29	等級別別総合原価計算1		
	30	等級別総合原価計算2		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	18
授業科目	2級商業簿記応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　本支店会計1（応用編） 2　本支店会計2（応用編） 3　本支店会計3（応用編） 4　製造業を営む会社の決算処理1（応用編） 5　製造業を営む会社の決算処理2（応用編） 6　製造業を営む会社の決算処理3（応用編） 7　伝票1（応用編） 8　伝票2（応用編） 9　伝票3（応用編） 10　商業簿記総まとめ1 11　商業簿記総まとめ2 12　商業簿記総まとめ3 13　商業簿記総まとめ4 14　商業簿記総まとめ5 15　商業簿記総まとめ6
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	19
授業科目	2級工業簿記応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　費目別計算1（応用編） 2　費目別計算2（応用編） 3　単純個別原価計算1（応用編） 4　単純個別原価計算2（応用編） 5　部門別計算1（応用編） 6　部門別計算2（応用編） 7　部門別計算2（応用編2） 8　単純総合原価計算1（応用編） 9　単純総合原価計算2（応用編） 10　工程別総合原価計算（応用編） 11　組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編） 12　標準総合原価計算1（応用編） 13　標準総合原価計算2（応用編） 14　原価・営業量・利益関係の分析 15　直接原価計算（応用編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	20
授業科目	2級簿記総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1（中級編）	31	総合問題演習2（テスト形式_中級編）
2	商業簿記総まとめ2（中級編）	32	総合問題演習2（テスト形式_中級編）
3	商業簿記総まとめ3（中級編）	33	総合問題演習2（テスト形式_中級編）
4	商業簿記総まとめ4（中級編）	34	総合問題演習3（テスト形式_中級編）
5	商業簿記総まとめ5（中級編）	35	総合問題演習3（テスト形式_中級編）
6	商業簿記総まとめ6（中級編）	36	総合問題演習3（テスト形式_中級編）
7	商業簿記総まとめ7（中級編）	37	総合問題演習4（テスト形式_中級編）
8	商業簿記総まとめ8（中級編）	38	総合問題演習4（テスト形式_中級編）
9	商業簿記総まとめ9（中級編）	39	総合問題演習4（テスト形式_中級編）
10	商業簿記総まとめ10（中級編）	40	総合問題演習5（テスト形式_中級編）
11	商業簿記総まとめ11（中級編）	41	総合問題演習5（テスト形式_中級編）
12	商業簿記総まとめ12（中級編）	42	総合問題演習5（テスト形式_中級編）
13	商業簿記総まとめ13（中級編）	43	総合問題演習6（テスト形式_中級編）
14	商業簿記総まとめ14（中級編）	44	総合問題演習6（テスト形式_中級編）
15	商業簿記総まとめ15（中級編）	45	総合問題演習6（テスト形式_中級編）
16	工業簿記総まとめ1（中級編）		
17	工業簿記総まとめ2（中級編）		
18	工業簿記総まとめ3（中級編）		
19	工業簿記総まとめ4（中級編）		
20	工業簿記総まとめ5（中級編）		
21	工業簿記総まとめ6（中級編）		
22	工業簿記総まとめ7（中級編）		
23	工業簿記総まとめ8（中級編）		
24	工業簿記総まとめ9（中級編）		
25	工業簿記総まとめ10（中級編）		
26	工業簿記総まとめ11（中級編）		
27	工業簿記総まとめ12（中級編）		
28	総合問題演習1（テスト形式_中級編）		
29	総合問題演習1（テスト形式_中級編）		
30	総合問題演習1（テスト形式_中級編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	21
授業科目	2級簿記総合Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1（応用編）	31	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
2	商業簿記総まとめ2（応用編）	32	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
3	商業簿記総まとめ3（応用編）	33	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
4	商業簿記総まとめ4（応用編）	34	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
5	商業簿記総まとめ5（応用編）	35	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
6	商業簿記総まとめ6（応用編）	36	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
7	商業簿記総まとめ7（応用編）	37	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
8	商業簿記総まとめ8（応用編）	38	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
9	商業簿記総まとめ9（応用編）	39	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
10	商業簿記総まとめ10（応用編）	40	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
11	商業簿記総まとめ11（応用編）	41	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
12	商業簿記総まとめ12（応用編）	42	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
13	商業簿記総まとめ13（応用編）	43	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
14	商業簿記総まとめ14（応用編）	44	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
15	商業簿記総まとめ15（応用編）	45	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
16	工業簿記総まとめ1（応用編）		
17	工業簿記総まとめ2（応用編）		
18	工業簿記総まとめ3（応用編）		
19	工業簿記総まとめ4（応用編）		
20	工業簿記総まとめ5（応用編）		
21	工業簿記総まとめ6（応用編）		
22	工業簿記総まとめ7（応用編）		
23	工業簿記総まとめ8（応用編）		
24	工業簿記総まとめ9（応用編）		
25	工業簿記総まとめ10（応用編）		
26	工業簿記総まとめ11（応用編）		
27	工業簿記総まとめ12（応用編）		
28	総合問題演習1（テスト形式_応用編）		
29	総合問題演習1（テスト形式_応用編）		
30	総合問題演習1（テスト形式_応用編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	22
授業科目	1級会計学入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	財務諸表（入門編）	31	商品売買等1（入門編）
2	有価証券（入門編）	32	商品売買等2（入門編）
3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	33	商品売買等3（入門編）
4	有形固定資産1（入門編）	34	本支店会計1（入門編）
5	有形固定資産2（入門編）	35	本支店会計2（入門編）
6	割引現在価値（入門編）	36	本支店会計3（入門編）
7	リース取引1（入門編）	37	連結財務諸表総論1（入門編）
8	リース取引2（入門編）	38	連結財務諸表総論2（入門編）
9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	資本連結1（入門編）
10	固定資産の減損1（入門編）	40	資本連結2（入門編）
11	固定資産の減損2（入門編）	41	資本連結3（入門編）
12	繰延資産（入門編）	42	資本連結4（入門編）
13	社債（入門編）	43	成果連結1（入門編）
14	貸倒引当金（入門編）	44	成果連結2（入門編）
15	退職給付1（入門編）	45	成果連結3（入門編）
16	退職給付2（入門編）		
17	資産除去債務1（入門編）		
18	資産除去債務2（入門編）		
19	純資産1（入門編）		
20	純資産2（入門編）		
21	純資産3（入門編）		
22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）		
23	ストック・オプション1（入門編）		
24	ストック・オプション2（入門編）		
25	税効果会計1（入門編）		
26	税効果会計2（入門編）		
27	税効果会計3（入門編）		
28	外貨建取引1（入門編）		
29	外貨建取引2（入門編）		
30	外貨建取引3（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	23
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記と原価計算（入門編）	31	業務的意思決定2（入門編）
	2	費目別計算1（入門編）	32	業務的意思決定3（入門編）
	3	費目別計算2（入門編）	33	業務的意思決定4（入門編）
	4	部門別計算1（入門編）	34	業務的意思決定5（入門編）
	5	部門別計算2（入門編）	35	業務的意思決定6（入門編）
	6	部門別計算3（入門編）	36	構造的意思決定1（入門編）
	7	部門別計算4（入門編）	37	構造的意思決定2（入門編）
	8	部門別計算5（入門編）	38	構造的意思決定3（入門編）
	9	部門別計算6（入門編）	39	構造的意思決定4（入門編）
	10	個別原価計算1（入門編）	40	構造的意思決定5（入門編）
	11	個別原価計算2（入門編）	41	構造的意思決定6（入門編）
	12	個別原価計算3（入門編）	42	戦略的原価計算1（入門編）
	13	総合原価計算4（入門編）	43	戦略的原価計算2（入門編）
	14	総合原価計算5（入門編）	44	戦略的原価計算3（入門編）
	15	総合原価計算6（入門編）	45	戦略的原価計算4（入門編）
	16	総合原価計算7（入門編）		
	17	総合原価計算8（入門編）		
	18	標準原価計算1（入門編）		
	19	標準原価計算2（入門編）		
	20	標準原価計算3（入門編）		
	21	標準原価計算4（入門編）		
	22	標準原価計算5（入門編）		
	23	直接原価計算（入門編）		
	24	短期利益計画1（入門編）		
	25	短期利益計画2（入門編）		
	26	短期利益計画3（入門編）		
	27	予算管理1（入門編）		
	28	予算管理2（入門編）		
	29	予算管理3（入門編）		
	30	業務的意思決定1（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	24
授業科目	1級会計学基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　持分法1（基礎編） 2　持分法2（基礎編） 3　連結税効果1（基礎編） 4　連結税効果2（基礎編） 5　包括利益（基礎編） 6　在外子会社（基礎編） 7　企業結合1（基礎編） 8　企業結合2（基礎編） 9　事業分離1（基礎編） 10　事業分離2（基礎編） 11　キャッシュフロー計算書1（基礎編） 12　キャッシュフロー計算書2（基礎編） 13　連結キャッシュフロー計算書1（基礎編） 14　連結キャッシュフロー計算書2（基礎編） 15　会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	25
授業科目	1級原価計算基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　個別原価計算（基礎編） 2　部門別計算（基礎編） 3　総合原価計算1（基礎編） 4　総合原価計算2（基礎編） 5　標準原価計算1（基礎編） 6　標準原価計算2（基礎編） 7　標準原価計算3（基礎編） 8　予算管理（基礎編） 9　業務的意思決定1（基礎編） 10　業務的意思決定2（基礎編） 11　構造的意思決定1（基礎編） 12　構造的意思決定2（基礎編） 13　戦略的原価計算（基礎編） 14　事業部制1（基礎編） 15　事業部制2（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	26
授業科目	1級会計学総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	商業簿記・会計学総まとめ1	31	総合問題対策6（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ2	32	総合問題対策7（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ3	33	総合問題対策8（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ4	34	総合問題対策9（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ5	35	総合問題対策10（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ6	36	総合問題対策11（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ7	37	総合問題対策12（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ8	38	総合問題対策13（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ9	39	総合問題対策14（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ10	40	総合問題対策15（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ11	41	総合問題対策16（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ12	42	総合問題対策17（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ13	43	総合問題対策18（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ14	44	総合問題対策19（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ15	45	総合問題対策20（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ16		
	17	商業簿記・会計学総まとめ17		
	18	商業簿記・会計学総まとめ18		
	19	商業簿記・会計学総まとめ19		
	20	商業簿記・会計学総まとめ20		
	21	商業簿記・会計学総まとめ21		
	22	商業簿記・会計学総まとめ22		
	23	商業簿記・会計学総まとめ23		
	24	商業簿記・会計学総まとめ24		
	25	商業簿記・会計学総まとめ25		
	26	総合問題対策1（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策2（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策3（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策4（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策5（テスト形式の問題解説）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	27
授業科目	1級原価計算総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記・原価計算総まとめ1	31	総合問題対策6（テスト形式の問題解説）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ2	32	総合問題対策7（テスト形式の問題解説）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ3	33	総合問題対策8（テスト形式の問題解説）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ4	34	総合問題対策9（テスト形式の問題解説）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ5	35	総合問題対策10（テスト形式の問題解説）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ6	36	総合問題対策11（テスト形式の問題解説）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ7	37	総合問題対策12（テスト形式の問題解説）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ8	38	総合問題対策13（テスト形式の問題解説）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ9	39	総合問題対策14（テスト形式の問題解説）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ10	40	総合問題対策15（テスト形式の問題解説）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ11	41	総合問題対策16（テスト形式の問題解説）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ12	42	総合問題対策17（テスト形式の問題解説）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ13	43	総合問題対策18（テスト形式の問題解説）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ14	44	総合問題対策19（テスト形式の問題解説）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ15	45	総合問題対策20（テスト形式の問題解説）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ16		
	17	工業簿記・原価計算総まとめ17		
	18	工業簿記・原価計算総まとめ18		
	19	工業簿記・原価計算総まとめ19		
	20	工業簿記・原価計算総まとめ20		
	21	工業簿記・原価計算総まとめ21		
	22	工業簿記・原価計算総まとめ22		
	23	工業簿記・原価計算総まとめ23		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ24		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ25		
	26	総合問題対策1（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策2（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策3（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策4（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策5（テスト形式の問題解説）		

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	28
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記・会計学総まとめ1（全経総合編）	31	総合問題対策1（全経総合編）
2	商業簿記・会計学総まとめ2（全経総合編）	32	総合問題対策2（全経総合編）
3	商業簿記・会計学総まとめ3（全経総合編）	33	総合問題対策3（全経総合編）
4	工業簿記・原価計算総まとめ1（全経総合編）	34	総合問題対策4（全経総合編）
5	工業簿記・原価計算総まとめ2（全経総合編）	35	総合問題対策5（全経総合編）
6	工業簿記・原価計算総まとめ3（全経総合編）	36	総合問題対策6（全経総合編）
7	商業簿記・会計学総まとめ4（全経総合編）	37	総合問題対策7（全経総合編）
8	商業簿記・会計学総まとめ5（全経総合編）	38	総合問題対策8（全経総合編）
9	商業簿記・会計学総まとめ6（全経総合編）	39	総合問題対策9（全経総合編）
10	工業簿記・原価計算総まとめ4（全経総合編）	40	総合問題対策10（全経総合編）
11	工業簿記・原価計算総まとめ5（全経総合編）	41	総合問題対策11（全経総合編）
12	工業簿記・原価計算総まとめ6（全経総合編）	42	総合問題対策12（全経総合編）
13	商業簿記・会計学総まとめ7（全経総合編）	43	総合問題対策13（全経総合編）
14	商業簿記・会計学総まとめ8（全経総合編）	44	総合問題対策14（全経総合編）
15	商業簿記・会計学総まとめ9（全経総合編）	45	総合問題対策15（全経総合編）
16	工業簿記・原価計算総まとめ7（全経総合編）	46	総合問題演習1（テスト形式）
17	工業簿記・原価計算総まとめ8（全経総合編）	47	総合問題演習1（テスト形式）
18	工業簿記・原価計算総まとめ9（全経総合編）	48	総合問題演習1（テスト形式）
19	商業簿記・会計学総まとめ10（全経総合編）	49	総合問題演習2（テスト形式）
20	商業簿記・会計学総まとめ11（全経総合編）	50	総合問題演習2（テスト形式）
21	商業簿記・会計学総まとめ12（全経総合編）	51	総合問題演習2（テスト形式）
22	工業簿記・原価計算総まとめ10（全経総合編）	52	総合問題演習3（テスト形式）
23	工業簿記・原価計算総まとめ11（全経総合編）	53	総合問題演習3（テスト形式）
24	工業簿記・原価計算総まとめ12（全経総合編）	54	総合問題演習3（テスト形式）
25	商業簿記・会計学総まとめ13（全経総合編）	55	総合問題演習4（テスト形式）
26	商業簿記・会計学総まとめ14（全経総合編）	56	総合問題演習4（テスト形式）
27	商業簿記・会計学総まとめ15（全経総合編）	57	総合問題演習4（テスト形式）
28	工業簿記・原価計算総まとめ13（全経総合編）	58	総合問題演習5（テスト形式）
29	工業簿記・原価計算総まとめ14（全経総合編）	59	総合問題演習5（テスト形式）
30	工業簿記・原価計算総まとめ15（全経総合編）	60	総合問題演習5（テスト形式）

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	29
授業科目	1級会計学入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産、社債 10 引当金 11 退職給付 12 資産除去債務、純資産 13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 商品売買等 17 工事契約 18 本支店会計 19 連結財務諸表総論 20 資本連結 21 成果連結 22 持分法 23 連結税効果会計 24 包括利益 25 在外子会社 26 企業結合 27 事業分離 28 キャッシュフロー計算書 29 連結キャッシュフロー計算書 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	30
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　工業簿記と原価計算 2　費目別計算1 3　費目別計算2 4　部門別計算1 5　部門別計算2 6　個別原価計算1 7　個別原価計算2 8　総合原価計算1 9　総合原価計算2 10　総合原価計算3 11　標準原価計算1 12　標準原価計算2 13　標準原価計算3 14　標準原価計算4 15　標準原価計算5 16　直接原価計算 17　短期利益計画 18　予算管理1 19　予算管理2 20　意思決定会計1 21　意思決定会計2 22　意思決定会計3 23　意思決定会計4 24　意思決定会計5 25　意思決定会計6 26　意思決定会計7 27　意思決定会計8 28　戦略的原価計算1 29　戦略的原価計算2 30　確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	31
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理1 2 ワークシートやブックの作成と管理2 3 セルやセル範囲のデータの管理1 4 セルやセル範囲のデータの管理2 5 テーブルの作成1 6 テーブルの作成2 7 テーブルの作成3 8 関数を使用してのデータ集計1 9 関数を使用してのデータ集計2 10 関数を使用してのデータ集計3 11 関数を使用しての条件付き計算1 12 関数を使用しての条件付き計算2 13 関数を使用しての条件付き計算3 14 関数を使用した文字列の整形や変更1 15 関数を使用した文字列の整形や変更2 16 関数を使用した文字列の整形や変更3 17 グラフの作成1 18 グラフの作成2 19 グラフの作成3 20 グラフの書式設定1 21 グラフの書式設定2 22 グラフの書式設定3 23 グラフの書式設定4 24 グラフの書式設定5 25 オブジェクトの挿入や書式設定1 26 オブジェクトの挿入や書式設定2 27 オブジェクトの挿入や書式設定3 28 オブジェクトの挿入や書式設定4 29 オブジェクトの挿入や書式設定5 30 オブジェクトの挿入や書式設定6
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	32
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成1 4 テーブルの作成2 5 関数を使用してのデータ集計1 6 関数を使用してのデータ集計2 7 関数を使用しての条件付き計算1 8 関数を使用しての条件付き計算2 9 関数を使用しての条件付き計算3 10 関数を使用した文字列の整形や変更1 11 関数を使用した文字列の整形や変更2 12 グラフの作成1 13 グラフの作成2 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	33
授業科目	Word基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 文章の作成1 2 文章の作成2 3 文章内の移動1 4 文章内の移動2 5 文章の書式設定1 6 文章の書式設定2 7 文章の書式設定3 8 文章の書式設定4 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ1 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ2 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ3 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ4 13 文章の印刷、保存1 14 文章の印刷、保存2 15 文章の印刷、保存3 16 文章の印刷、保存4 17 文字列・段落の挿入1 18 文字列・段落の挿入2 19 文字列・段落の挿入3 20 文字列・段落の挿入4 21 文字列・段落の書式設定1 22 文字列・段落の書式設定2 23 文字列・段落の書式設定3 24 文字列・段落の書式設定4 25 文字列・段落の書式設定5 26 文字列・段落の並び替え、グループ化1 27 文字列・段落の並び替え、グループ化2 28 文字列・段落の並び替え、グループ化3 29 文字列・段落の並び替え、グループ化4 30 文字列・段落の並び替え、グループ化5
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	34
授業科目	Word応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更1 3 表の変更2 4 リストの作成、変更1 5 リストの作成、変更2 6 参照のための情報・記号の作成、管理1 7 参照のための情報・記号の作成、管理2 8 標準の参考資料作成、管理1 9 標準の参考資料作成、管理2 10 グラフィック要素の挿入1 11 グラフィック要素の挿入2 12 グラフィック要素の書式設定1 13 グラフィック要素の書式設定2 14 SmartArtの挿入、書式設定1 15 SmartArtの挿入、書式設定2
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	35
授業科目	販売知識基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	販売員の役割1	31	商業集積4
	2	販売員の役割2	32	商業集積5
	3	販売員の役割3	33	商業集積6
	4	販売員の法廷知識1	34	小売業のマーケティング1
	5	販売員の法廷知識2	35	小売業のマーケティング2
	6	販売員の法廷知識3	36	小売業のマーケティング3
	7	小売業の計数管理1	37	小売業のマーケティング4
	8	小売業の計数管理2	38	小売業のマーケティング5
	9	小売業の計数管理3	39	小売業のマーケティング6
	10	店舗管理1	40	顧客満足経営1
	11	店舗管理2	41	顧客満足経営2
	12	店舗管理3	42	顧客満足経営3
	13	店舗管理4	43	顧客満足経営4
	14	店舗管理5	44	顧客満足経営5
	15	店舗管理6	45	顧客満足経営6
	16	流通における小売業1		
	17	流通における小売業2		
	18	流通における小売業3		
	19	流通における小売業4		
	20	流通における小売業5		
	21	流通における小売業6		
	22	組織形態別小売業1		
	23	組織形態別小売業2		
	24	組織形態別小売業3		
	25	店舗形態別小売業1		
	26	店舗形態別小売業2		
	27	店舗形態別小売業3		
	28	商業集積1		
	29	商業集積2		
	30	商業集積3		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	36
授業科目	販売知識応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	証券の設定と出店1	31	商品計画1
	2	証券の設定と出店2	32	商品計画2
	3	証券の設定と出店3	33	商品計画3
	4	リージョナルプロモーション1	34	販売計画及び仕入れ計画1
	5	リージョナルプロモーション2	35	販売計画及び仕入れ計画2
	6	リージョナルプロモーション3	36	販売計画及び仕入れ計画3
	7	顧客志向型売り場づくり1	37	価格設定1
	8	顧客志向型売り場づくり2	38	価格設定2
	9	顧客志向型売り場づくり3	39	価格設定3
	10	ストアオペレーション1	40	在庫管理1
	11	ストアオペレーション2	41	在庫管理2
	12	ストアオペレーション3	42	在庫管理3
	13	ストアオペレーション4	43	販売管理1
	14	ストアオペレーション5	44	販売管理2
	15	ストアオペレーション6	45	販売管理3
	16	梱包技術1		
	17	梱包技術2		
	18	梱包技術3		
	19	ディスプレイ1		
	20	ディスプレイ2		
	21	ディスプレイ3		
	22	商品1		
	23	商品2		
	24	商品3		
	25	マーチャンダイジング1		
	26	マーチャンダイジング2		
	27	マーチャンダイジング3		
	28	マーチャンダイジング4		
	29	マーチャンダイジング5		
	30	マーチャンダイジング6		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	37
授業科目	宅建業法Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士試験内容の1つである宅建業法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要となる知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　宅建業法の概要 2　免許　免許制度Ⅰ 3　免許　免許制度Ⅱ 4　免許　みなし宅建業者、免許の基準Ⅰ 5　免許　免許の基準Ⅱ 6　問題演習・解説Ⅰ 7　営業保証金 8　宅地建物取引業保証協会 9　問題演習・解説Ⅱ 10　宅地建物取引士　制度、資格試験、登録 11　宅地建物取引士　交付 12　問題演習・解説Ⅲ 13　業務を行う場所に関する規制 14　8種制限　概要、クーリングオフ制度 15　問題演習・解説Ⅳ 16　8種制限　瑕疵担保責任の特約制限　等 17　8種制限　手付金等の保全　等、住宅瑕疵担保履行法 18　問題演習・解説Ⅴ 19　中間テスト 20　一般的業務規制、取引における手続きの流れ　概要 21　取引態様の明示、媒介契約 22　重要事項の説明等（第35条書面） 23　契約書面の交付（第37条書面） 24　報酬　報酬の受領、売買・交換の媒介・代理に関する報酬額 25　報酬　貸借の媒介・代理に関する報酬額 26　監督・罰則Ⅰ 27　監督・罰則Ⅱ 28　住宅瑕疵担保履行法 29　問題演習・解説Ⅵ 30　定例試験
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	38
授業科目	宅建権利関係Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士としての財産法（民法）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要な財産法（民法）の知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　民法総則　財産権の種類、制限行為能力者 2　民法総則　法律行為・意思表示の有効性 3　民法総則　取消及び追認 4　民法総則　代理、時効 5　問題演習・解説Ⅰ 6　民法物件　不動産物権の対抗要件（登記） 7　民法物件　所有権 8　民法物権　抵当権1 9　民法物権　抵当権2 10　問題演習・解説Ⅱ 11　民法債権総論　債権の発生 12　民法債権総論　消滅、譲渡 13　民法債権総論　債務不履行 14　民法債権総論　危険負担・受領遅滞 15　民法債権総論　連帯債務・保証債務 16　問題演習・解説Ⅲ 17　中間テスト 18　民法債権各論　売買、請負 19　民法債権各論　賃貸借、使用貸借 20　民法債権各論　委任、不法行為 21　民法相続　相続の方法、遺言・遺贈 22　問題演習・解説Ⅳ 23　借地借家法　借地1 24　借地借家法　借地2 25　借地借家法　借家1 26　借地借家法　借家2、建物の区分所有等に関する法律 27　問題演習・解説Ⅴ 28　不動産登記法　概要、表示に関する登記、権利に関する登記 29　不動産登記法　申請手続、仮登記、登記等の公開 30　定例試験
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	39
授業科目	宅建法令上の制限Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士試験内容の1つである法令上の制限について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要な法令上の制限の知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　都市計画法　都市計画区域 2　都市計画法　都市計画の決定 3　都市計画法　開発行為の規制1 4　都市計画法　開発行為の規制2 5　問題演習・解説Ⅰ 6　問題演習・解説Ⅱ 7　建築基準法　用語の定義、建築確認等 8　建築基準法　単体規定、集団規定1 9　建築基準法　集団規定2、建築協定 10　建築基準法　建築協定 11　問題演習・解説Ⅲ 12　問題演習・解説Ⅳ 13　国土利用計画法 14　宅地造成等規制法 15　農地法 16　土地区画整理法 17　問題演習・解説Ⅴ 18　問題演習・解説Ⅵ 19　中間テスト 20　所得税 21　登録免許税、印紙税 22　不動産所得税、固定資産税 23　鑑定評価地下公示法 24　問題演習・解説Ⅶ 25　問題演習・解説Ⅷ 26　景品表示法 27　住宅金融支援機構法 28　土地・建物Ⅰ 29　土地・建物Ⅱ 30　定例試験
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	40
授業科目	宅建総合演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	宅地建物取引士試験に必要な科目を体系的に学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	宅地建物取引士として必要な知識を体系的に修得
教科書	テキスト及び演習問題
特記	

授業計画

1	基礎演習問題1演習	31	総まとめ演習1
2	法令上の制限横断まとめⅠ	32	総まとめ演習2
3	法令上の制限横断まとめⅡ	33	項目別演習　宅建業法1
4	基礎演習問題2演習	34	項目別演習　宅建業法2
5	税・その他横断まとめⅠ	35	項目別演習　宅建業法3
6	税・その他横断まとめⅡ	36	項目別演習　宅建業法4
7	基礎演習問題3演習	37	項目別演習　宅建業法5
8	権利関係横断まとめⅠ	38	項目別演習　宅建権利関係1
9	権利関係横断まとめⅡ	39	項目別演習　宅建権利関係2
10	基礎演習問題4演習	40	項目別演習　宅建権利関係3
11	宅建業法横断まとめⅠ	41	項目別演習　宅建権利関係4
12	宅建業法横断まとめⅡ	42	項目別演習　宅建権利関係5
13	宅建業法横断まとめⅢ	43	項目別演習　宅建法令上の制限1
14	直前まとめ講義	44	項目別演習　宅建法令上の制限2
15	直前演習問題1演習	45	項目別演習　宅建法令上の制限3
16	直前演習問題1解説・横断まとめⅠ	46	項目別演習　宅建法令上の制限4
17	直前演習問題1解説・横断まとめⅡ	47	項目別演習　宅建法令上の制限5
18	直前演習問題1解説・横断まとめⅢ	48	直前模擬試験前解説Ⅰ
19	直前演習問題2演習	49	直前模擬試験前解説Ⅱ
20	直前演習問題2解説・横断まとめⅠ	50	直前模擬試験前解説Ⅲ
21	直前演習問題2解説・横断まとめⅡ	51	直前模擬試験前解説Ⅳ
22	直前演習問題2解説・横断まとめⅢ	52	直前模擬試験
23	直前演習問題3演習	53	直前模擬試験解説Ⅰ
24	直前演習問題3解説・横断まとめⅠ	54	直前模擬試験解説Ⅱ
25	直前演習問題3解説・横断まとめⅡ	55	直前模擬試験解説Ⅲ
26	直前演習問題3解説・横断まとめⅢ	56	全国統一模擬試験
27	直前演習問題4演習	57	全国統一模擬試験解答解説Ⅰ
28	直前演習問題4解説・横断まとめⅠ	58	全国統一模擬試験解答解説Ⅱ
29	直前演習問題4解説・横断まとめⅡ	59	最終講義1
30	直前演習問題4解説・横断まとめⅢ	60	最終講義2

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　全体習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	41
授業科目	宅建実務Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	宅建業の実務を知るための特別講義
授業の進め方	講義とテキスト解説により宅建業を知る
達成目標	講義解説により、自ら宅建業務について学ぶ
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　宅建士と専門家のつながり 2　不動産業のタイプ 3　マイソクチラシの作り方 4　宅建業者の免許手続きについて 5　宅建士証関係の発行手続きについて 6　重要事項説明書の作り方 7　物件調査体験 8　契約書面の作り方 9　媒介契約書の作り方 10　空室確認の方法 11　写真撮影のポイント 12　賃貸物件の裏側 13　投資用物件の選び方 14　不動産に関する税金について 15　不動産実務のトラブル例
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	42
授業科目	ファイナンシャルプランナー3級
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	FP3級試験合格のために必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	FP3級試験合格のために必要な基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	FPとライフプランニング	31	過去問題演習7
2	社会保険	32	過去問題演習8
3	公的年金制度	33	過去問題演習9
4	ライフプランニングの考え方	34	過去問題演習10
5	リスクマネジメント	35	過去問題演習11
6	保険制度全般生命保険の概略	36	過去問題演習12
7	損害保険の概略	37	過去問題演習13
8	個人の契約に関する税金	38	過去問題演習14
9	債券	39	過去問題演習15
10	投資信託	40	過去問題演習16
11	外貨建て商品	41	過去問題演習17
12	金融商品と税金	42	過去問題演習18
13	所得税の仕組み	43	過去問題演習19
14	各種所得の内容	44	過去問題演習20
15	所得控除	45	過去問題演習21
16	確定申告	46	過去問題演習22
17	不動産の見方	47	過去問題演習23
18	不動産の取引	48	過去問題演習24
19	不動産に関する法令上の制限	49	過去問題演習25
20	不動産にかかる税金	50	過去問題演習26
21	相続と法律	51	過去問題演習27
22	贈与と法律	52	過去問題演習28
23	相続と税金	53	過去問題演習29
24	財産の評価	54	過去問題演習30
25	過去問題演習1	55	過去問題演習31
26	過去問題演習2	56	過去問題演習32
27	過去問題演習3	57	過去問題演習33
28	過去問題演習4	58	過去問題演習34
29	過去問題演習5	59	過去問題演習35
30	過去問題演習6	60	模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験80%　出席点20%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	43
授業科目	IT基礎知識Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	ハードウェアⅠ	31	セキュリティ、システム構成要素
	2	基礎理論	32	システム構成要素
	3	問題演習	33	問題演習
	4	基礎理論	34	システム構成要素
	5	基礎理論	35	マルチメディア
	6	問題演習	36	問題演習
	7	ハードウェアⅡ	37	システム開発
	8	ハードウェアⅡ	38	システム開発
	9	問題演習	39	問題演習
	10	ハードウェアⅡ	40	マネジメント
	11	ソフトウェア	41	マネジメント
	12	問題演習	42	問題演習
	13	ソフトウェア	43	ストラテジ
	14	ソフトウェア	44	ストラテジ
	15	問題演習	45	問題演習
	16	ソフトウェア、アルゴリズム		
	17	アルゴリズム		
	18	問題演習		
	19	アルゴリズム		
	20	データベース		
	21	問題演習		
	22	データベース		
	23	データベース		
	24	問題演習		
	25	ネットワーク		
	26	ネットワーク		
	27	問題演習		
	28	ネットワーク、セキュリティ		
	29	セキュリティ		
	30	問題演習		

成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	44
授業科目	IT基礎知識Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ
授業の進め方	問題演習による試験対策
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、基本情報技術者試験の午前試験問題に正答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	項目別問題演習	31	試験直前問題演習
2	項目別問題演習	32	試験直前問題演習
3	項目別問題演習	33	試験直前問題演習
4	項目別問題演習	34	試験直前問題演習
5	項目別問題演習	35	試験直前問題演習
6	項目別問題演習	36	試験直前問題演習
7	項目別問題演習	37	試験直前問題演習
8	項目別問題演習	38	試験直前問題演習
9	項目別問題演習	39	試験直前問題演習
10	項目別問題演習	40	試験直前問題演習
11	項目別問題演習	41	試験直前問題演習
12	項目別問題演習	42	試験直前問題演習
13	項目別問題演習	43	試験直前問題演習
14	項目別問題演習	44	試験直前問題演習
15	項目別問題演習	45	試験直前問題演習
16	総合問題演習		
17	総合問題演習		
18	総合問題演習		
19	総合問題演習		
20	総合問題演習		
21	総合問題演習		
22	総合問題演習		
23	総合問題演習		
24	総合問題演習		
25	総合問題演習		
26	総合問題演習		
27	総合問題演習		
28	総合問題演習		
29	総合問題演習		
30	総合問題演習		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	45
授業科目	IT基礎知識Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験の基礎問題に正答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	アルゴリズム　1	31	知識の応用　1
2	アルゴリズム　1	32	知識の応用　1
3	問題演習	33	問題演習
4	アルゴリズム　2	34	知識の応用　2
5	アルゴリズム　2	35	知識の応用　2
6	問題演習	36	問題演習
7	アルゴリズム　3	37	知識の応用　3
8	アルゴリズム　3	38	知識の応用　3
9	問題演習	39	問題演習
10	アルゴリズム　4	40	知識の応用　4
11	アルゴリズム　4	41	知識の応用　4
12	問題演習	42	問題演習
13	CASLⅡ　1	43	知識の応用　5
14	CASLⅡ　1	44	知識の応用　5
15	問題演習	45	問題演習
16	CASLⅡ　2		
17	CASLⅡ　2		
18	問題演習		
19	CASLⅡ　3		
20	CASLⅡ　3		
21	問題演習		
22	CASLⅡ　4		
23	CASLⅡ　4		
24	問題演習		
25	CASLⅡ　5		
26	CASLⅡ　5		
27	問題演習		
28	CASLⅡ　6		
29	CASLⅡ　6		
30	問題演習		

成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	46
授業科目	IT基礎知識Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する
教科書	答案作成練習問題
特記	

授業計画

1	項目別問題演習　1	31	項目別問題演習　9
2	項目別問題演習　1	32	項目別問題演習　9
3	項目別問題演習　1	33	項目別問題演習　9
4	項目別問題演習　2	34	項目別問題演習　10
5	項目別問題演習　2	35	項目別問題演習　10
6	項目別問題演習　2	36	項目別問題演習　10
7	項目別問題演習　3	37	項目別問題演習　11
8	項目別問題演習　3	38	項目別問題演習　11
9	項目別問題演習　3	39	項目別問題演習　11
10	復習・検証問題演習	40	復習・検証問題演習
11	復習・検証問題演習	41	復習・検証問題演習
12	復習・検証問題演習	42	復習・検証問題演習
13	項目別問題演習　4	43	過去問題演習　1
14	項目別問題演習　4	44	過去問題演習　1
15	項目別問題演習　4	45	過去問題演習　1
16	項目別問題演習　5	46	過去問題演習　2
17	項目別問題演習　5	47	過去問題演習　2
18	項目別問題演習　5	48	過去問題演習　2
19	項目別問題演習　6	49	過去問題演習　3
20	項目別問題演習　6	50	過去問題演習　3
21	項目別問題演習　6	51	過去問題演習　3
22	項目別問題演習　7	52	過去問題演習　4
23	項目別問題演習　7	53	過去問題演習　4
24	項目別問題演習　7	54	過去問題演習　4
25	項目別問題演習　8	55	過去問題演習　5
26	項目別問題演習　8	56	過去問題演習　5
27	項目別問題演習　8	57	過去問題演習　5
28	復習・検証問題演習	58	公開模擬試験
29	復習・検証問題演習	59	公開模擬試験
30	復習・検証問題演習	60	公開模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	47
授業科目	コンピュータリテラシー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	Officeソフト（Word・Excel・PowerPoint）の操作について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法を身につける
教科書	情報利活用基本演習
特記	
授業計画	1　コンピューターの基本操作 2　一般的なビジネス文書の作成 3　シンプルなレポートや報告書の作成 4　表・画像・図形を使った文書の作成 5　効果測定 6　プレゼンテーションの企画 7　わかりやすいストーリー構成 8　センスアップするレイアウトデザイン 9　イメージを伝えるイラスト・写真活用 10　効果測定 11　表作成の基本操作 12　見やすく使いやすい表にする編集操作 13　数式・関数を活用した集計表の作成 14　グラフの基本 15　効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	48
授業科目	HTML/CSS
実務家教員授業	授業担当者：谷口　幸正
	実務経験：ＩＴ企業でSE・PG職として勤務 授業との関連性：プログラミングの実務能力を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	HTMLとCSSを使ったホームページの作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	HTMLとCSSを使用してWebページの作成ができる
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本
特記	
授業計画	1 Webサイト作成準備 2 HTMLの基本 3 HTML文書の設計 4 共通ページから個別ページの作成 5 共通ページから個別ページの作成 6 CSSの基本 7 CSSの基本 8 CSS 共通部分のデザイン 9 CSS 共通部分のデザイン 10 コンテンツのデザイン整形 11 コンテンツのデザイン整形 12 スマートフォンへの対応 13 スマートフォンへの対応 14 Webサイトの公開・機能追加 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	49
授業科目	JavaScript
実務家教員授業	授業担当者：谷口　幸正
	実務経験：ＩＴ企業でSE・PG職として勤務 授業との関連性：プログラミングの実務能力を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	JavaScriptを基礎から学びWebページを作成する
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門
特記	
授業計画	1 JavaScriptの基礎知識 2 プログラミングの基礎 3 プログラミングの基礎 4 変数と演算 5 変数と演算 6 条件分岐 7 条件分岐 8 繰り返し 9 繰り返し 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作 12 オブジェクトの操作 13 オブジェクトの操作 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 効果測定 17 Webブラウザのオブジェクト 18 Webブラウザのオブジェクト 19 Webブラウザのオブジェクト 20 デジタル時計の作成 21 イメージの操作 22 ユーザ定義オブジェクト 23 DOMの操作 24 DOMの操作 25 DOMの操作 26 Ajax 27 Ajax 28 Ajax 29 Ajax 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	50
授業科目	データベース
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる
教科書	スッキリわかる SQL入門
特記	
授業計画	1 SQLの基礎 2 基本文法と4大命令 3 操作する行の絞り込み 4 操作する行の絞り込み 5 検索結果の加工 6 式と関数 7 集計とグループ化 8 副問い合わせ 9 複数テーブルの問い合わせ 10 トランザクション 11 テーブルの作成 12 さまざまな支援機能 13 テーブルの設計 14 テーブルの設計 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	51
授業科目	Python
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	Pythonの基本文法とプログラムの実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる
教科書	新・明解 Python入門
特記	

授業計画

1	Pythonの特徴	31	クラス
2	画面への表示とキーボード入力	32	クラス
3	制御・条件分岐	33	クラス変数とクラスメソッド
4	制御・条件分岐	34	継承
5	制御・条件分岐	35	継承
6	プログラムの構成要素	36	例外処理
7	制御・繰り返し	37	例外処理
8	制御・繰り返し	38	ファイル処理の基礎
9	制御・繰り返し	39	ファイル処理の基礎
10	オブジェクトと型	40	バイナリファイル
11	オブジェクトと型	41	総合実習
12	文字列の基礎	42	総合実習
13	文字列の操作	43	総合実習
14	文字列の書式化	44	総合実習
15	効果測定	45	効果測定
16	リスト		
17	リスト		
18	リスト		
19	リスト		
20	タプル		
21	辞書		
22	集合		
23	関数の基礎		
24	関数の基礎		
25	文書化文字列とアノテーション		
26	名前空間とスコープ		
27	高階関数とラムダ式		
28	モジュール		
29	パッケージ		
30	効果測定		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	52
授業科目	オブジェクト指向分析設計
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる
教科書	システムの分析と設計　図解とUMLによるアプローチ
特記	
授業計画	1 各種ツールの準備と実習 2 システム分析の本質 3 図解技法の応用 4 実習 5 実習 6 システム分析・設計の手順 7 UMLの基本 8 UMLの基本 9 システム分析の事例実習 10 システム分析の事例実習 11 システム分析の事例実習 12 システム分析の事例実習 13 システム分析の事例実習 14 システム分析の事例実習 15 効果測定 16 システム分析の事例実習 17 システム分析の事例実習 18 システム分析の事例実習 19 UMLを用いたシステム設計の基礎 20 システム設計の事例実習 21 システム設計の事例実習 22 システム設計の事例実習 23 総合実習 24 総合実習 25 総合実習 26 総合実習 27 総合実習 28 総合実習 29 総合実習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	53
授業科目	アジャイルソフトウェア開発
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	アジャイル開発体制に適応できる
教科書	アジャイル開発への道案内
特記	
授業計画	1 アジャイル開発の現状と課題 2 アジャイル開発の概要 3 アジャイル開発の特徴 4 アジャイル開発のプロセス 5 アジャイル開発の効果とリスク 6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 7 アジャイル開発の事例 8 実習 9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 12 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 13 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 14 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	54
授業科目	Java
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門、Java8問題集
特記	

授業計画

1	Javaの特徴	31	抽象クラス
2	変数	32	抽象クラス
3	制御構文・分岐、if文	33	インタフェース
4	制御構文・分岐、if文	34	インタフェース
5	制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子	35	実習
6	制御構文・繰り返し do-while文	36	文字と文字列
7	制御構文・繰り返し while文	37	文字と文字列
8	制御構文・繰り返し for文	38	例外処理
9	制御構文・繰り返し	39	例外処理
10	基本型と演算	40	効果測定
11	配列	41	総合実習　基礎
12	配列	42	総合実習　基礎
13	配列	43	総合実習　基本的なプログラムの構造
14	実習	44	総合実習　コンピュータで扱うデータ表現
15	効果測定	45	総合実習　変数／定数と型
16	メソッド	46	総合実習　演算と演算子
17	メソッド	47	総合実習　配列の宣言・生成
18	メソッド	48	総合実習　配列の宣言・生成
19	クラスの基本	49	総合実習　制御文
20	クラスの基本	50	総合実習　制御文
21	日付クラスの作成	51	総合実習　クラスとオブジェクト
22	日付クラスの作成	52	総合実習　クラスとオブジェクト
23	クラス変数とクラスメソッド	53	総合実習　クラスの関係
24	クラス変数とクラスメソッド	54	総合実習　クラスの関係
25	クラス変数とクラスメソッド	55	総合実習　クラスの継承
26	パッケージ	56	総合実習　クラスの継承
27	クラスの派生と多相性	57	総合実習　例外処理
28	クラスの派生と多相性	58	総合実習　例外処理
29	クラスの派生と多相性	59	総合実習
30	効果測定	60	効果測定

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	55
授業科目	PHP
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる
教科書	詳細！PHP7＋MySQL 入門ノート
特記	

授業計画				
	1	PHPの概要と準備	31	ファイルの読み込みと書き出し
	2	変数	32	ファイルの読み込みと書き出し
	3	演算子	33	phpMyAdminの使い方
	4	制御構造・分岐文	34	phpMyAdminの使い方
	5	制御構造・繰り返し文	35	MySQLの操作
	6	関数	36	MySQLの操作
	7	関数	37	MySQLの操作
	8	文字列操作	38	MySQLの操作
	9	文字列操作	39	総合実習
	10	文字列操作	40	総合実習
	11	配列	41	総合実習
	12	配列	42	総合実習
	13	配列	43	総合実習
	14	効果測定	44	総合実習
	15	オブジェクト指向プログラミング	45	効果測定
	16	オブジェクト指向プログラミング		
	17	オブジェクト指向プログラミング		
	18	オブジェクト指向プログラミング		
	19	フォーム処理の基本		
	20	フォーム処理の基本		
	21	フォーム処理の基本		
	22	各種フォームの使用		
	23	各種フォームの使用		
	24	各種フォームの使用		
	25	各種フォームの使用		
	26	セッションとクッキー		
	27	セッションとクッキー		
	28	セッションとクッキー		
	29	効果測定		
	30	ファイルの読み込みと書き出し		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	56
授業科目	ITパスポートストラテジ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	IT基礎知識（ストラテジ分野）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 企業活動 2 問題演習 3 法務 4 問題演習 5 経営戦略マネジメント 6 問題演習 7 技術戦略マネジメント 8 問題演習 9 ビジネスインダストリ 10 問題演習 11 システム戦略 12 問題演習 13 システム企画 14 問題演習 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	57
授業科目	ITパスポートマネジメント
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	IT基礎知識（マネジメント分野）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 システム開発技術1 2 問題演習 3 システム開発技術2 4 問題演習 5 ソフトウェア開発管理技術 6 問題演習 7 プロジェクトマネジメント 8 問題演習 9 サービスマネジメント1 10 問題演習 11 サービスマネジメント2 12 問題演習 13 システム監査 14 問題演習 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	58
授業科目	ITパスポートテクノロジ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎理論 2 アルゴリズムとプログラミング 3 コンピュータの構成要素 4 問題演習 5 システム構成要素 6 ソフトウェア 7 ハードウェア 8 問題演習 9 ヒューマンインターフェース・マルチメディア 10 データベース 11 問題演習 12 ネットワーク 13 セキュリティ 14 問題演習 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	59
授業科目	ITパスポート総合
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ
授業の進め方	問題演習による試験対策
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、ITパスポート試験の午前試験問題に正答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別問題演習 2 項目別問題演習 3 項目別問題演習 4 項目別問題演習 5 項目別問題演習 6 総合問題演習 7 総合問題演習 8 総合問題演習 9 総合問題演習 10 総合問題演習 11 試験直前問題演習 12 試験直前問題演習 13 試験直前問題演習 14 試験直前問題演習 15 試験直前問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	60
授業科目	情報キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	情報処理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	情報処理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　情報処理職に適したスーツの着こなし 2　情報処理職に適した身だしなみ 3　敬語の使い方 4　情報処理職で良く聞かれる質疑応答1 5　情報処理職で良く聞かれる質疑応答2 6　筆記試験とは（一般常識試験）1 7　筆記試験とは（一般常識試験）2 8　筆記試験とは（適性検査試験）1 9　筆記試験とは（適性検査試験）2 10　作文の目的・形式と内容1 11　作文の目的・形式と内容2 12　作文の実践テクニック1 13　作文の実践テクニック2 14　作文の実践テクニック3 15　作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	61
授業科目	情報キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	情報処理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	情報処理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　仕事選びの基準 2　求人票からの情報収集 3　会社四季報、新聞からの情報収集1 4　会社四季報、新聞からの情報収集2 5　総合職と一般職 6　情報処理職職種研究1 7　情報処理職職種研究2 8　情報処理職職種研究3 9　情報処理職職種研究4 10　情報処理職職種研究5 11　情報処理職への志望理由1 12　情報処理職への志望理由2 13　情報処理職への志望理由3 14　情報処理職への志望理由4 15　情報処理職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	62
授業科目	事務キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　事務職に適したスーツの着こなし 2　事務職に適した身だしなみ 3　敬語の使い方 4　事務職で良く聞かれる質疑応答1 5　事務職で良く聞かれる質疑応答2 6　筆記試験とは（一般常識試験）1 7　筆記試験とは（一般常識試験）2 8　筆記試験とは（適性検査試験）1 9　筆記試験とは（適性検査試験）2 10　作文の目的・形式と内容1 11　作文の目的・形式と内容2 12　作文の実践テクニック1 13　作文の実践テクニック2 14　作文の実践テクニック3 15　作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	63
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　仕事選びの基準 2　求人票からの情報収集 3　会社四季報、新聞からの情報収集1 4　会社四季報、新聞からの情報収集2 5　総合職と一般職 6　事務職職種研究1 7　事務職職種研究2 8　事務職職種研究3 9　事務職職種研究4 10　事務職職種研究5 11　事務職への志望理由1 12　事務職への志望理由2 13　事務職への志望理由3 14　事務職への志望理由4 15　事務職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	64
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	販売職・営業職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　販売職・営業職に適したスーツの着こなし 2　販売職・営業職に適した身だしなみ 3　敬語の使い方 4　販売職・営業職で良く聞かれる質疑応答1 5　販売職・営業職で良く聞かれる質疑応答2 6　筆記試験とは（一般常識試験）1 7　筆記試験とは（一般常識試験）2 8　筆記試験とは（適性検査試験）1 9　筆記試験とは（適性検査試験）2 10　作文の目的・形式と内容1 11　作文の目的・形式と内容2 12　作文の実践テクニック1 13　作文の実践テクニック2 14　作文の実践テクニック3 15　作文の実践テクニック4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	65
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	販売職・営業職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売職・営業職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　仕事選びの基準 2　求人票からの情報収集 3　会社四季報、新聞からの情報収集1 4　会社四季報、新聞からの情報収集2 5　総合職と一般職 6　販売職・営業職職種研究1 7　販売職・営業職職種研究2 8　販売職・営業職職種研究3 9　販売職・営業職職種研究4 10　販売職・営業職職種研究5 11　販売職・営業職への志望理由1 12　販売職・営業職への志望理由2 13　販売職・営業職への志望理由3 14　販売職・営業職への志望理由4 15　販売職・営業職への志望理由5
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　実習への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	66
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ1（入門編）	31	退職給付会計Ⅰ4（入門編）
2	簿記の概要Ⅰ2（入門編）	32	税金Ⅰ1（入門編）
3	簿記の概要Ⅰ3（入門編）	33	税金Ⅰ2（入門編）
4	簿記の概要Ⅰ4（入門編）	34	社債Ⅰ1（入門編）
5	現金預金Ⅰ1（入門編）	35	社債Ⅰ2（入門編）
6	現金預金Ⅰ2（入門編）	36	社債Ⅰ3（入門編）
7	現金預金Ⅰ3（入門編）	37	純資産会計Ⅰ1（入門編）
8	債権債務Ⅰ1（入門編）	38	純資産会計Ⅰ2（入門編）
9	債権債務Ⅰ2（入門編）	39	純資産会計Ⅰ3（入門編）
10	商品売買Ⅰ1（入門編）	40	純資産会計Ⅰ4（入門編）
11	商品売買Ⅰ2（入門編）	41	有価証券Ⅰ1（入門編）
12	商品売買Ⅰ3（入門編）	42	有価証券Ⅰ2（入門編）
13	給料等Ⅰ1（入門編）	43	有価証券Ⅰ3（入門編）
14	給料等Ⅰ2（入門編）	44	有価証券Ⅰ4（入門編）
15	固定資産Ⅰ1（入門編）	45	確認テスト
16	固定資産Ⅰ2（入門編）		
17	固定資産Ⅰ3（入門編）		
18	固定資産Ⅰ4（入門編）		
19	固定資産Ⅰ5（入門編）		
20	ソフトウェアⅠ1（入門編）		
21	ソフトウェアⅠ2（入門編）		
22	債権債務Ⅰ1（入門編）		
23	債権債務Ⅰ2（入門編）		
24	債権債務Ⅰ3（入門編）		
25	貸倒れⅠ1（入門編）		
26	貸倒れⅠ2（入門編）		
27	貸倒れⅠ3（入門編）		
28	退職給付会計Ⅰ1（入門編）		
29	退職給付会計Ⅰ2（入門編）		
30	退職給付会計Ⅰ3（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	67
授業科目	簿記論速習応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ1（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ5（入門編）
2	税効果会計Ⅰ2（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ6（入門編）
3	税効果会計Ⅰ3（入門編）	33	リース会計Ⅰ1（入門編）
4	税効果会計Ⅰ4（入門編）	34	リース会計Ⅰ2（入門編）
5	税効果会計Ⅰ5（入門編）	35	リース会計Ⅰ3（入門編）
6	税効果会計Ⅰ6（入門編）	36	リース会計Ⅰ4（入門編）
7	税効果会計Ⅰ7（入門編）	37	リース会計Ⅰ5（入門編）
8	税効果会計Ⅰ8（入門編）	38	リース会計Ⅰ6（入門編）
9	現在価値計算Ⅰ1（入門編）	39	試用販売Ⅰ1（入門編）
10	現在価値計算Ⅰ2（入門編）	40	試用販売Ⅰ2（入門編）
11	現在価値計算Ⅰ3（入門編）	41	試用販売Ⅰ3（入門編）
12	保険金Ⅰ1（入門編）	42	試用販売Ⅰ4（入門編）
13	保険金Ⅰ2（入門編）	43	試用販売Ⅰ5（入門編）
14	保険金Ⅰ3（入門編）	44	試用販売Ⅰ6（入門編）
15	新株予約権付社債Ⅰ1（入門編）	45	割賦販売Ⅰ1（入門編）
16	新株予約権付社債Ⅰ2（入門編）	46	割賦販売Ⅰ2（入門編）
17	新株予約権付社債Ⅰ3（入門編）	47	割賦販売Ⅰ3（入門編）
18	新株予約権付社債Ⅰ4（入門編）	48	割賦販売Ⅰ4（入門編）
19	新株予約権付社債Ⅰ5（入門編）	49	割賦販売Ⅰ5（入門編）
20	新株予約権付社債Ⅰ6（入門編）	50	割賦販売Ⅰ6（入門編）
21	減損会計Ⅰ1（入門編）	51	未着品販売Ⅰ1（入門編）
22	減損会計Ⅰ2（入門編）	52	未着品販売Ⅰ2（入門編）
23	減損会計Ⅰ3（入門編）	53	未着品販売Ⅰ3（入門編）
24	減損会計Ⅰ4（入門編）	54	未着品販売Ⅰ4（入門編）
25	資産除去債務Ⅰ1（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ1（入門編）
26	資産除去債務Ⅰ2（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ2（入門編）
27	外貨建会計Ⅰ1（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ3（入門編）
28	外貨建会計Ⅰ2（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ4（入門編）
29	外貨建会計Ⅰ3（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ5（入門編）
30	外貨建会計Ⅰ4（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	68
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	本支店会計Ⅰ1（入門編）	31	商品売買Ⅱ2（入門編）
	2	本支店会計Ⅰ2（入門編）	32	固定資産Ⅱ1（入門編）
	3	本支店会計Ⅰ3（入門編）	33	固定資産Ⅱ2（入門編）
	4	本支店会計Ⅰ4（入門編）	34	退職給付会計Ⅱ1（入門編）
	5	本支店会計Ⅰ5（入門編）	35	退職給付会計Ⅱ2（入門編）
	6	本支店会計Ⅰ6（入門編）	36	試用販売Ⅱ1（入門編）
	7	組織再編会計Ⅰ1（入門編）	37	試用販売Ⅱ2（入門編）
	8	組織再編会計Ⅰ2（入門編）	38	割賦販売Ⅱ1（入門編）
	9	組織再編会計Ⅰ3（入門編）	39	割賦販売Ⅱ2（入門編）
	10	組織再編会計Ⅰ4（入門編）	40	本支店会計Ⅱ1（入門編）
	11	建設業会計Ⅰ1（入門編）	41	本支店会計Ⅱ2（入門編）
	12	建設業会計Ⅰ2（入門編）	42	組織再編会計Ⅱ1（入門編）
	13	連結会計Ⅰ1（入門編）	43	組織再編会計Ⅱ2（入門編）
	14	連結会計Ⅰ2（入門編）	44	連結会計Ⅱ1（入門編）
	15	連結会計Ⅰ3（入門編）	45	確認テスト
	16	連結会計Ⅰ4（入門編）		
	17	製造業会計Ⅰ1（入門編）		
	18	製造業会計Ⅰ2（入門編）		
	19	製造業会計Ⅰ3（入門編）		
	20	製造業会計Ⅰ4（入門編）		
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1（入門編）		
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2（入門編）		
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3（入門編）		
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4（入門編）		
	25	繰延資産Ⅰ1（入門編）		
	26	繰延資産Ⅰ2（入門編）		
	27	圧縮記帳Ⅰ1（入門編）		
	28	圧縮記帳Ⅰ2（入門編）		
	29	ストック・オプションⅠ（入門編）		
	30	商品売買Ⅱ1（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	69
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	項目別答練1（入門編）	31	過去問演習6（入門編）
	2	項目別答練2（入門編）	32	過去問演習7（入門編）
	3	項目別答練3（入門編）	33	過去問演習8（入門編）
	4	項目別答練4（入門編）	34	過去問演習9（入門編）
	5	項目別答練5（入門編）	35	過去問演習10（入門編）
	6	基礎答練1（入門編）	36	問題演習実践1（入門編）
	7	基礎答練2（入門編）	37	問題演習実践2（入門編）
	8	基礎答練3（入門編）	38	問題演習実践3（入門編）
	9	基礎答練4（入門編）	39	問題演習実践4（入門編）
	10	基礎答練5（入門編）	40	問題演習実践5（入門編）
	11	基礎答練6（入門編）	41	問題演習実践6（入門編）
	12	基礎答練7（入門編）	42	問題演習実践7（入門編）
	13	基礎答練8（入門編）	43	問題演習実践8（入門編）
	14	基礎答練9（入門編）	44	問題演習実践9（入門編）
	15	基礎答練10（入門編）	45	模擬試験
	16	応用答練1（入門編）		
	17	応用答練2（入門編）		
	18	応用答練3（入門編）		
	19	応用答練4（入門編）		
	20	応用答練5（入門編）		
	21	応用答練6（入門編）		
	22	応用答練7（入門編）		
	23	応用答練8（入門編）		
	24	応用答練9（入門編）		
	25	応用答練10（入門編）		
	26	過去問演習1（入門編）		
	27	過去問演習2（入門編）		
	28	過去問演習3（入門編）		
	29	過去問演習4（入門編）		
	30	過去問演習5（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	70
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　国税徴収法の目的（初級） 2　納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級） 3　強制換価手続（初級） 4　担保の種類（初級） 5　滞納処分の概要（初級） 6　国税に優先する権利（初級） 7　国税相互間の優先関係（初級） 8　財産の調査（初級） 9　最優先される被担保債権（初級） 10　法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級） 11　法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級） 12　不動産賃貸の先取特権等（初級） 13　法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（初級） 14　譲受前にある担保権（初級） 15　担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級） 16　差押の制限等、解除（初級） 17　差押の共通手続（初級） 18　第三者からの差押換え（初級） 19　差押換え（換価申立ての細部）（初級） 20　相続人からの差押換え（初級） 21　動産又は有価証券の差押え（初級） 22　第三者が占有する動産等の差押手続（初級） 23　引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級） 24　国税徴収法第26条の計算（初級） 25　債権の差押え（初級） 26　不動産等の差押え（初級） 27　第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級） 28　第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級） 29　国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級） 30　確認テスト（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	71
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎） 2 交付要求及び督促時効（基礎） 3 参加差押え（基礎） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎） 5 換価配当（基礎） 6 担保のための仮登記（基礎） 7 物上代位権との調整（基礎） 8 納期限未到来の納税の猶予（基礎） 9 災害等による一般の納税の猶予（基礎） 10 換価の猶予（基礎） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎） 15 国税の担保（基礎） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎） 17 保全措置（基礎） 18 滞納処分の停止（基礎） 19 納付委託・弁済委託（基礎） 20 第二次納税義務（通則）（基礎） 21 第二次納税義務（人的限度）（基礎） 22 第二次納税義務（物的限度）（基礎） 23 不服申立（基礎） 24 滞納処分費（基礎） 25 納付義務の承継（基礎） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（基礎） 27 増額登記（基礎） 28 質権の証明と優先権行使の否認（基礎） 29 国税徴収法第26条準用（基礎） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎） 31 総合理論対策1（基礎） 32 総合理論対策2（基礎） 33 総合理論対策3（基礎） 34 総合理論対策4（基礎） 35 総合理論対策5（基礎） 36 総合理論対策6（基礎） 37 総合理論対策7（基礎） 38 総合理論対策8（基礎） 39 総合理論対策9（基礎） 40 総合問題演習1（基礎） 41 総合問題演習1（基礎） 42 総合問題演習2（基礎） 43 総合問題演習2（基礎） 44 総合問題演習3（基礎） 45 総合問題演習3（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト3回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	72
授業科目	簿記論入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　簿記の概要Ⅰ1（入門編） 2　簿記の概要Ⅰ2（入門編） 3　簿記の概要Ⅰ3（入門編） 4　簿記の概要Ⅰ4（入門編） 5　現金預金Ⅰ1（入門編） 6　現金預金Ⅰ2（入門編） 7　現金預金Ⅰ3（入門編） 8　債権債務Ⅰ1（入門編） 9　債権債務Ⅰ2（入門編） 10　商品売買Ⅰ1（入門編） 11　商品売買Ⅰ2（入門編） 12　商品売買Ⅰ3（入門編） 13　給料等Ⅰ1（入門編） 14　給料等Ⅰ2（入門編） 15　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	73
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門） 2 個別注記表（入門） 3 現金及び預金（入門） 4 債権債務（入門） 5 関係会社概念（入門） 6 売上原価の算定（入門） 7 貸倒れ（入門） 8 給料等（入門） 9 その他の引当金（入門） 10 退職給付会計（入門） 11 有形固定資産（入門） 12 無形固定資産（入門） 13 株主資本（入門） 14 財務諸表論の基礎概念（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	74
授業科目	消費税法入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　ガイダンス 2　課税の対象1（入門編） 3　課税の対象2（入門編） 4　課税の対象3（入門編） 5　課税の対象4（入門編） 6　非課税1（入門編） 7　非課税2（入門編） 8　非課税3（入門編） 9　非課税4（入門編） 10　輸出免税等1（入門編） 11　輸出免税等2（入門編） 12　輸出免税等3（入門編） 13　輸出免税等4（入門編） 14　資産の譲渡等の時期（入門編） 15　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	75
授業科目	相続税法入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（入門） 3 相続税法と民法（入門） 4 相続人、代襲相続（入門） 5 養子の子の取扱い（入門） 6 相続の承認と放棄（入門） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門） 8 遺言による財産の取得（入門） 9 相続税の納税義務者（入門） 10 生命保険金等（入門） 11 相続税の非課税財産（入門） 12 相続税額の計算方法（入門） 13 生命保険金等の非課税金額（入門） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	76
授業科目	法人税法入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（初級） 2 納税義務者（初級） 3 課税所得の範囲（初級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（初級） 5 減価償却Ⅰ（初級） 6 減価償却Ⅱ（初級） 7 減価償却Ⅲ（初級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（初級） 10 租税公課等（初級） 11 納税充当金Ⅰ（初級） 12 納税充当金Ⅱ（初級） 13 別表四の作成（初級） 14 事業年度（初級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	77
授業科目	簿記論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	固定資産Ⅰ1（入門編）	31	社債Ⅰ1（入門編）
2	固定資産Ⅰ2（入門編）	32	社債Ⅰ2（入門編）
3	固定資産Ⅰ3（入門編）	33	社債Ⅰ3（入門編）
4	固定資産Ⅰ4（入門編）	34	社債Ⅰ4（入門編）
5	固定資産Ⅰ5（入門編）	35	社債Ⅰ5（入門編）
6	固定資産Ⅰ6（入門編）	36	社債Ⅰ6（入門編）
7	固定資産Ⅰ7（入門編）	37	純資産会計Ⅰ1（入門編）
8	固定資産Ⅰ8（入門編）	38	純資産会計Ⅰ2（入門編）
9	固定資産Ⅰ9（入門編）	39	純資産会計Ⅰ3（入門編）
10	固定資産Ⅰ10（入門編）	40	純資産会計Ⅰ4（入門編）
11	ソフトウェアⅠ1（入門編）	41	有価証券Ⅰ1（入門編）
12	ソフトウェアⅠ2（入門編）	42	有価証券Ⅰ2（入門編）
13	債権債務Ⅰ1（入門編）	43	有価証券Ⅰ3（入門編）
14	債権債務Ⅰ2（入門編）	44	有価証券Ⅰ4（入門編）
15	債権債務Ⅰ3（入門編）	45	確認テスト
16	貸倒れⅠ1（入門編）		
17	貸倒れⅠ2（入門編）		
18	貸倒れⅠ3（入門編）		
19	退職給付会計Ⅰ1（入門編）		
20	退職給付会計Ⅰ2（入門編）		
21	退職給付会計Ⅰ3（入門編）		
22	退職給付会計Ⅰ4（入門編）		
23	退職給付会計Ⅰ5（入門編）		
24	退職給付会計Ⅰ6（入門編）		
25	退職給付会計Ⅰ7（入門編）		
26	退職給付会計Ⅰ8（入門編）		
27	税金Ⅰ1（入門編）		
28	税金Ⅰ2（入門編）		
29	税金Ⅰ3（入門編）		
30	税金Ⅰ4（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	78
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券（入門） 2 満期保有目的の債券（入門） 3 子会社株式・関連会社株式（入門） 4 その他有価証券（入門） 5 ソフトウェア（入門） 6 法人税等・追徴還付（入門） 7 現在価値計算（入門） 8 社債（入門） 9 利益剰余金（入門） 10 自己株式（入門） 11 配当（入門） 12 外形基準、租税公課（入門） 13 源泉所得税、社会保険料（入門） 14 税効果会計（入門） 15 税効果注記（入門） 16 源泉所得税、社会保険料（入門） 17 株主資本等変動計算書（入門） 18 減損会計（入門） 19 配当を受けた株主の処理（入門） 20 圧縮記帳（入門） 21 外貨建取引（入門） 22 退職給付会計簡便法（入門） 23 繰延資産（入門） 24 為替予約（入門） 25 仕入・売上げの計上基準（入門） 26 消費税等（入門） 27 他勘定振替（入門） 28 外貨建有価証券（入門） 29 リース会計（入門） 30 証券投資信託（入門） 31 ゴルフ会員権（入門） 32 売価還元法（入門） 33 製造業会計（入門） 34 研究開発費（入門） 35 新株予約権（入門） 36 キャッシュ・フロー計算書（入門） 37 損益計算書総論（入門） 38 貸借対照表総論（入門） 39 資産総論（入門） 40 棚卸資産に関する会計基準（入門） 41 連続意見書（入門） 42 引当金（入門） 43 会計観（入門） 44 金融商品（入門） 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	79
授業科目	消費税法論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額1（入門編）	31	課税期間における課税売上高1（入門編）
2	控除対象仕入税額2（入門編）	32	課税期間における課税売上高2（入門編）
3	控除対象仕入税額3（入門編）	33	課税期間における課税売上高3（入門編）
4	控除対象仕入税額4（入門編）	34	課税売上割合に準ずる割合1（入門編）
5	控除対象仕入税額5（入門編）	35	課税売上割合に準ずる割合2（入門編）
6	控除対象仕入税額6（入門編）	36	課税売上割合に準ずる割合3（入門編）
7	売上げに係る対価の返還等1（入門編）	37	仕入れに係る対価の返還等1（入門編）
8	売上げに係る対価の返還等2（入門編）	38	仕入れに係る対価の返還等2（入門編）
9	売上げに係る対価の返還等3（入門編）	39	仕入れに係る対価の返還等3（入門編）
10	貸倒れが生じた場合1（入門編）	40	納税義務の免除1（入門編）
11	貸倒れが生じた場合2（入門編）	41	納税義務の免除2（入門編）
12	貸倒れが生じた場合3（入門編）	42	納税義務の免除3（入門編）
13	課税仕入れの範囲1（入門編）	43	納税義務の免除4（入門編）
14	課税仕入れの範囲2（入門編）	44	納税義務の免除5（入門編）
15	課税仕入れの範囲3（入門編）	45	確認テスト(理論)
16	課税仕入れの範囲4（入門編）		
17	課税仕入れの範囲5（入門編）		
18	課税仕入れの範囲6（入門編）		
19	課税仕入れ等の時期1（入門編）		
20	課税仕入れ等の時期2（入門編）		
21	課税仕入れ等の時期3（入門編）		
22	課税仕入れ等の時期4（入門編）		
23	課税仕入れ等の時期5（入門編）		
24	課税売上割合1（入門編）		
25	課税売上割合2（入門編）		
26	課税売上割合3（入門編）		
27	課税売上割合4（入門編）		
28	課税売上割合5（入門編）		
29	課税売上割合6（入門編）		
30	課税売上割合7（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	80
授業科目	相続税法論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	贈与税の概要（入門）	31	貸宅地（入門）
	2	贈与税の納税義務者（入門）	32	貸家建付地（入門）
	3	弔慰金等（入門）	33	貸家建付借地権（入門）
	4	債務控除（入門）	34	貸家（入門）
	5	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	35	一般動産（入門）
	6	相続時精算課税適用財産（入門）	36	たな卸商品等（入門）
	7	生前贈与加算相続税の総額（入門）	37	書画骨とう品（入門）
	8	算出相続税額の計算（入門）	38	預貯金（入門）
	9	相続税額の加算（入門）	39	上場株式（入門）
	10	贈与税額控除（暦年）（入門）	40	構築物（入門）
	11	配偶者の税額軽減（入門）	41	貸付金債権等（入門）
	12	未成年者控除（入門）	42	受取手形等（入門）
	13	障害者控除（入門）	43	間口が狭小な宅地等（入門）
	14	確認テスト1(理論)	44	角切り宅地の間口距離（入門）
	15	特定納税義務者（入門）	45	確認テスト2(理論)
	16	特定納税義務者の債務控除（入門）		
	17	特定納税義務者の障害者控除（入門）		
	18	贈与税額控除（精算）（入門）		
	19	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）		
	20	自用家屋（入門）		
	21	家屋と構造上一体となっている設備（入門）		
	22	特別養子制度（入門）		
	23	生命保険契約に関する権利（入門）		
	24	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）		
	25	法定相続人の数（入門）		
	26	本来の財産（入門）		
	27	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門）		
	28	地区区分の異なる宅地（入門）		
	29	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）		
	30	普通借地権（自用借地権）（入門）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　2回分の平均点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	81
授業科目	法人税法論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
3	貸倒損失Ⅲ（基礎）	33	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）
4	貸倒損失Ⅳ（基礎）	34	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）
5	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	35	別表五㈠の作成Ⅲ（基礎）
6	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	36	別表五㈠の作成Ⅳ（基礎）
7	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	37	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
8	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	38	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
9	欠損金Ⅰ（基礎）	39	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
10	欠損金Ⅱ（基礎）	40	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
11	欠損金Ⅲ（基礎）	41	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
12	欠損金Ⅳ（基礎）	42	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
13	外貨建取引Ⅰ（基礎）	43	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
14	外貨建取引Ⅱ（基礎）	44	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
15	外貨建取引Ⅲ（基礎）	45	確認テスト（理論）
16	外貨建取引Ⅳ（基礎）		
17	有価証券Ⅰ（基礎）		
18	有価証券Ⅱ（基礎）		
19	有価証券Ⅲ（基礎）		
20	有価証券Ⅳ（基礎）		
21	収用等Ⅰ（基礎）		
22	収用等Ⅱ（基礎）		
23	収用等Ⅲ（基礎）		
24	収用等Ⅳ（基礎）		
25	所得税額控除Ⅰ（基礎）		
26	所得税額控除Ⅱ（基礎）		
27	所得税額控除Ⅲ（基礎）		
28	所得税額控除Ⅳ（基礎）		
29	国庫補助金等Ⅰ（基礎）		
30	国庫補助金等Ⅱ（基礎）		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	82
授業科目	簿記論基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ1（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ5（入門編）
2	税効果会計Ⅰ2（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ6（入門編）
3	税効果会計Ⅰ3（入門編）	33	リース会計Ⅰ1（入門編）
4	税効果会計Ⅰ4（入門編）	34	リース会計Ⅰ2（入門編）
5	税効果会計Ⅰ5（入門編）	35	リース会計Ⅰ3（入門編）
6	税効果会計Ⅰ6（入門編）	36	リース会計Ⅰ4（入門編）
7	税効果会計Ⅰ7（入門編）	37	リース会計Ⅰ5（入門編）
8	税効果会計Ⅰ8（入門編）	38	リース会計Ⅰ6（入門編）
9	現在価値計算Ⅰ1（入門編）	39	試用販売Ⅰ1（入門編）
10	現在価値計算Ⅰ2（入門編）	40	試用販売Ⅰ2（入門編）
11	現在価値計算Ⅰ3（入門編）	41	試用販売Ⅰ3（入門編）
12	保険金Ⅰ1（入門編）	42	試用販売Ⅰ4（入門編）
13	保険金Ⅰ2（入門編）	43	試用販売Ⅰ5（入門編）
14	保険金Ⅰ3（入門編）	44	試用販売Ⅰ6（入門編）
15	新株予約権付社債Ⅰ1（入門編）	45	割賦販売Ⅰ1（入門編）
16	新株予約権付社債Ⅰ2（入門編）	46	割賦販売Ⅰ2（入門編）
17	新株予約権付社債Ⅰ3（入門編）	47	割賦販売Ⅰ3（入門編）
18	新株予約権付社債Ⅰ4（入門編）	48	割賦販売Ⅰ4（入門編）
19	新株予約権付社債Ⅰ5（入門編）	49	割賦販売Ⅰ5（入門編）
20	新株予約権付社債Ⅰ6（入門編）	50	割賦販売Ⅰ6（入門編）
21	減損会計Ⅰ1（入門編）	51	未着品販売Ⅰ1（入門編）
22	減損会計Ⅰ2（入門編）	52	未着品販売Ⅰ2（入門編）
23	減損会計Ⅰ3（入門編）	53	未着品販売Ⅰ3（入門編）
24	減損会計Ⅰ4（入門編）	54	未着品販売Ⅰ4（入門編）
25	資産除去債務Ⅰ1（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ1（入門編）
26	資産除去債務Ⅰ2（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ2（入門編）
27	外貨建会計Ⅰ1（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ3（入門編）
28	外貨建会計Ⅰ2（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ4（入門編）
29	外貨建会計Ⅰ3（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ5（入門編）
30	外貨建会計Ⅰ4（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	83
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	会計上の変更及び誤謬の訂正1（入門）	31	純資産会計1（入門）
2	会計上の変更及び誤謬の訂正2（入門）	32	純資産会計2（入門）
3	会計上の変更及び誤謬の訂正3（入門）	33	純資産会計3（入門）
4	会計上の変更及び誤謬の訂正4（入門）	34	純資産会計4（入門）
5	会計上の変更及び誤謬の訂正5（入門）	35	純資産会計5（入門）
6	分配可能額1（入門）	36	企業結合会計1（入門）
7	分配可能額2（入門）	37	企業結合会計2（入門）
8	分配可能額3（入門）	38	企業結合会計3（入門）
9	分配可能額4（入門）	39	企業結合会計4（入門）
10	分配可能額5（入門）	40	企業結合会計5（入門）
11	ストック・オプション1（入門）	41	事業分離会計1（入門）
12	ストック・オプション2（入門）	42	事業分離会計2（入門）
13	ストック・オプション3（入門）	43	事業分離会計3（入門）
14	ストック・オプション4（入門）	44	事業分離会計4（入門）
15	ストック・オプション5（入門）	45	事業分離会計5（入門）
16	セール＆リースバック1（入門）	46	四半期財務諸表1（入門）
17	セール＆リースバック2（入門）	47	四半期財務諸表2（入門）
18	セール＆リースバック3（入門）	48	四半期財務諸表3（入門）
19	セール＆リースバック4（入門）	49	四半期財務諸表4（入門）
20	セール＆リースバック5（入門）	50	四半期財務諸表5（入門）
21	財務諸表等規則1（入門）	51	ヘッジ会計1（入門）
22	財務諸表等規則2（入門）	52	ヘッジ会計2（入門）
23	財務諸表等規則3（入門）	53	ヘッジ会計3（入門）
24	財務諸表等規則4（入門）	54	ヘッジ会計4（入門）
25	財務諸表等規則5（入門）	55	ヘッジ会計5（入門）
26	負債1（入門）	56	包括利益1（入門）
27	負債2（入門）	57	包括利益2（入門）
28	負債3（入門）	58	包括利益3（入門）
29	負債4（入門）	59	包括利益4（入門）
30	負債5（入門）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	84
授業科目	消費税法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	国境を越えた役務の提供1（入門編）	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1（入門編）
2	国境を越えた役務の提供2（入門編）	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2（入門編）
3	国境を越えた役務の提供3（入門編）	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算3（入門編）
4	国境を越えた役務の提供4（入門編）	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算4（入門編）
5	国境を越えた役務の提供5（入門編）	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整1（入門編）
6	中間申告に係る納付税額の計算1（入門編）	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整2（入門編）
7	中間申告に係る納付税額の計算2（入門編）	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整3（入門編）
8	課税仕入れ等の分類1（入門編）	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整4（入門編）
9	課税仕入れ等の分類2（入門編）	39	課税標準1（入門編）
10	課税仕入れ等の分類3（入門編）	40	課税標準2（入門編）
11	課税仕入れ等の分類4（入門編）	41	課税標準3（入門編）
12	課税仕入れ等の分類5（入門編）	42	課税標準4（入門編）
13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例1（入門編）	43	課税標準5（入門編）
14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例2（入門編）	44	課税標準6（入門編）
15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例3（入門編）	45	簡易課税制度1（入門編）
16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1（入門編）	46	簡易課税制度2（入門編）
17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2（入門編）	47	簡易課税制度3（入門編）
18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整3（入門編）	48	簡易課税制度4（入門編）
19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整4（入門編）	49	簡易課税制度5（入門編）
20	納税義務の免除の特例1（入門編）	50	簡易課税制度6（入門編）
21	納税義務の免除の特例2（入門編）	51	簡易課税制度7（入門編）
22	納税義務の免除の特例3（入門編）	52	簡易課税制度8（入門編）
23	納税義務の免除の特例4（入門編）	53	簡易課税制度9（入門編）
24	納税義務の免除の特例5（入門編）	54	簡易課税制度10（入門編）
25	納税義務の免除の特例6（入門編）	55	簡易課税制度11（入門編）
26	納税義務の免除の特例7（入門編）	56	簡易課税制度12（入門編）
27	納税義務の免除の特例8（入門編）	57	簡易課税制度13（入門編）
28	納税義務の免除の特例9（入門編）	58	簡易課税制度14（入門編）
29	納税義務の免除の特例10（入門編）	59	簡易課税制度15（入門編）
30	納税義務の免除の特例11（入門編）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	85
授業科目	相続税法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	使用貸借により借り受けた宅地等（入門）	31	地積規模の大きな宅地（入門）
2	使用貸借により貸し付けられた宅地等（入門）	32	がけ地等を有する宅地（入門）
3	使用貸借により貸し付けられた家屋（入門）	33	旗竿状の宅地等（入門）
4	小規模宅地等の減額1（入門）	34	容積率の異なる宅地（入門）
5	小規模宅地等の減額2（入門）	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（入門）
6	小規模宅地等の減額3（入門）	36	確認テスト2(理論)
7	小規模宅地等の減額4（入門）	37	私道の用に供されている宅地（入門）
8	小規模宅地等の減額5（入門）	38	セットバックを必要とする宅地（入門）
9	小規模宅地等の減額6（入門）	39	上場株式（権利落）（入門）
10	確認テスト1(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利（入門）
11	取引相場のない株式1（入門）	41	宅地等の評価単位（入門）
12	取引相場のない株式2（入門）	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林（入門）
13	取引相場のない株式3（入門）	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（入門）
14	取引相場のない株式4（入門）	44	立木、立木の評価減（入門）
15	取引相場のない株式5（入門）	45	配当期待権（入門）
16	取引相場のない株式6（入門）	46	贈与税が課税される場合（入門）
17	取引相場のない株式7（入門）	47	相続税が課税される場合（入門）
18	取引相場のない株式8（入門）	48	負担付遺贈・贈与（入門）
19	取引相場のない株式9（入門）	49	贈与税の非課税財産（入門）
20	取引相場のない株式10（入門）	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
21	取引相場のない株式11（入門）	51	契約者貸付金等がある場合の保険金（入門）
22	取引相場のない株式12（入門）	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（入門）
23	取引相場のない株式13（入門）	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（入門）	54	証券投資信託受益証券（入門）
25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（入門）	55	ゴルフ会員権（入門）
26	相当の地代を支払っている場合の借地権（入門）	56	不動産投資信託証券（入門）
27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（入門）	57	措法70の非課税（入門）
28	利用区分が異なる建物（入門）	58	権利義務の承継（入門）
29	建築中の家屋（入門）	59	贈与税の配偶者控除（入門）
30	不整形地（入門）	60	確認テスト3(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　3回分の平均点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	86
授業科目	法人税法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	役員判定Ⅰ（入門）	31	保険料Ⅰ（入門）
2	役員判定Ⅱ（入門）	32	保険料Ⅱ（入門）
3	役員給与Ⅰ（入門）	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
4	役員給与Ⅱ（入門）	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
5	使用人給与Ⅰ（入門）	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
6	使用人給与Ⅱ（入門）	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
7	特定資産の買換えⅠ（入門）	37	工事の請負Ⅰ（入門）
8	特定資産の買換えⅡ（入門）	38	工事の請負Ⅱ（入門）
9	外国税額控除Ⅰ（入門）	39	修正申告Ⅰ（入門）
10	外国税額控除Ⅱ（入門）	40	修正申告Ⅱ（入門）
11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	41	税効果会計Ⅰ（入門）
12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	42	税効果会計Ⅱ（入門）
13	みなし配当金Ⅰ（入門）	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
14	みなし配当金Ⅱ（入門）	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
15	資本等取引Ⅰ（入門）	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）
16	資本等取引Ⅱ（入門）	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
17	交換差益Ⅰ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
18	交換差益Ⅱ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
19	別表五㈡Ⅰ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
20	別表五㈡Ⅱ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
21	リース取引Ⅰ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
22	リース取引Ⅱ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
23	繰延資産Ⅰ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
24	繰延資産Ⅱ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
25	確定決算型Ⅰ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
26	確定決算型Ⅱ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	60	確認テスト（理論）

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	87
授業科目	簿記論基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ1（入門編）	31	貸倒れⅠ1（入門編）
2	簿記の概要Ⅰ2（入門編）	32	貸倒れⅠ2（入門編）
3	簿記の概要Ⅰ3（入門編）	33	貸倒れⅠ3（入門編）
4	簿記の概要Ⅰ4（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ1（入門編）
5	現金預金Ⅰ1（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ2（入門編）
6	現金預金Ⅰ2（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ3（入門編）
7	現金預金Ⅰ3（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ4（入門編）
8	債権債務Ⅰ1（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ5（入門編）
9	債権債務Ⅰ2（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ6（入門編）
10	商品売買Ⅰ1（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ7（入門編）
11	商品売買Ⅰ2（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ8（入門編）
12	商品売買Ⅰ3（入門編）	42	税金Ⅰ1（入門編）
13	給料等Ⅰ1（入門編）	43	税金Ⅰ2（入門編）
14	給料等Ⅰ2（入門編）	44	税金Ⅰ3（入門編）
15	給料等Ⅰ3（入門編）	45	税金Ⅰ4（入門編）
16	固定資産Ⅰ1（入門編）	46	社債Ⅰ1（入門編）
17	固定資産Ⅰ2（入門編）	47	社債Ⅰ2（入門編）
18	固定資産Ⅰ3（入門編）	48	社債Ⅰ3（入門編）
19	固定資産Ⅰ4（入門編）	49	社債Ⅰ4（入門編）
20	固定資産Ⅰ5（入門編）	50	社債Ⅰ5（入門編）
21	固定資産Ⅰ6（入門編）	51	社債Ⅰ6（入門編）
22	固定資産Ⅰ7（入門編）	52	純資産会計Ⅰ1（入門編）
23	固定資産Ⅰ8（入門編）	53	純資産会計Ⅰ2（入門編）
24	固定資産Ⅰ9（入門編）	54	純資産会計Ⅰ3（入門編）
25	固定資産Ⅰ10（入門編）	55	純資産会計Ⅰ4（入門編）
26	ソフトウェアⅠ1（入門編）	56	有価証券Ⅰ1（入門編）
27	ソフトウェアⅠ2（入門編）	57	有価証券Ⅰ2（入門編）
28	債権債務Ⅰ1（入門編）	58	有価証券Ⅰ3（入門編）
29	債権債務Ⅰ2（入門編）	59	有価証券Ⅰ4（入門編）
30	債権債務Ⅰ3（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	88
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	89
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　ガイダンス 2　課税の対象1（入門編） 3　課税の対象2（入門編） 4　非課税1（入門編） 5　非課税2（入門編） 6　輸出免税等1（入門編） 7　輸出免税等2（入門編） 8　資産の譲渡等の時期（入門編） 9　控除対象仕入税額1（入門編） 10　控除対象仕入税額2（入門編） 11　売上げに係る対価の返還等（入門編） 12　貸倒れが生じた場合（入門編） 13　課税仕入れの範囲1（入門編） 14　課税仕入れの範囲2（入門編） 15　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	90
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　課税仕入れ等の時期1（入門編） 2　課税仕入れ等の時期2（入門編） 3　課税売上割合1（入門編） 4　課税売上割合2（入門編） 5　課税期間における課税売上高1（入門編） 6　課税期間における課税売上高2（入門編） 7　課税売上割合に準ずる割合1（入門編） 8　課税売上割合に準ずる割合2（入門編） 9　仕入れに係る対価の返還等（入門編） 10　納税義務の免除（入門編） 11　国境を越えた役務の提供1（入門編） 12　国境を越えた役務の提供2（入門編） 13　国境を越えた役務の提供3（入門編） 14　中間申告に係る納付税額の計算（入門編） 15　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	91
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　課税仕入れ等の分類1（入門編） 2　課税仕入れ等の分類2（入門編） 3　課税仕入れ等の分類3（入門編） 4　非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編） 5　調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1（入門編） 6　調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2（入門編） 7　納税義務の免除の特例1（入門編） 8　納税義務の免除の特例2（入門編） 9　納税義務の免除の特例3（入門編） 10　納税義務の免除の特例4（入門編） 11　納税義務の免除の特例5（入門編） 12　合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1（入門編） 13　合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2（入門編） 14　棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目2（入門編） 15　課税標準1（入門編） 16　課税標準2（入門編） 17　簡易課税制度1（入門編） 18　簡易課税制度2（入門編） 19　簡易課税制度3（入門編） 20　簡易課税制度4（入門編） 21　軽減税率1（入門編） 22　軽減税率2（入門編） 23　旧税率に関する経過措置1（入門編） 24　旧税率に関する経過措置2（入門編） 25　複数税率の場合の計算1（入門編） 26　複数税率の場合の計算2（入門編） 27　国等に対する特例1（入門編） 28　国等に対する特例2（入門編） 29　特殊項目3（税抜経理方式）（入門編） 30　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	92
授業科目	国税徴収法Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　国税徴収法の目的（基礎） 2　納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（基礎） 3　強制換価手続（基礎） 4　担保の種類（基礎） 5　滞納処分の概要（基礎） 6　国税に優先する権利（基礎） 7　国税相互間の優先関係（基礎） 8　財産の調査（基礎） 9　最優先される被担保債権（基礎） 10　法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎） 11　法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎） 12　不動産賃貸の先取特権等（基礎） 13　法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（基礎） 14　譲受前にある担保権（基礎） 15　担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎） 16　差押の制限等、解除（基礎） 17　差押の共通手続（基礎） 18　第三者からの差押換え（基礎） 19　差押換え（換価申立ての細部）（基礎） 20　相続人からの差押換え（基礎） 21　動産又は有価証券の差押え（基礎） 22　第三者が占有する動産等の差押手続（基礎） 23　引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎） 24　国税徴収法第26条の計算（基礎） 25　債権の差押え（基礎） 26　不動産等の差押え（基礎） 27　第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎） 28　第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎） 29　国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎） 30　確認テスト（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	93
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品売買総論1 2 商品売買総論2 3 商品売買の記帳方法1 4 商品売買の記帳方法2 5 商品有高帳の記帳1 6 商品有高帳の記帳2 7 返品・値引・割戻の処理1 8 返品・値引・割戻の処理2 9 割引の処理1 10 割引の処理2 11 原価率等1 12 原価率等2 13 仕入諸掛り・販売諸掛りの処理1 14 仕入諸掛り・販売諸掛りの処理2 15 他勘定振替高1 16 他勘定振替高2 17 棚卸資産の範囲1 18 棚卸資産の範囲2 19 棚卸資産の期末評価1 20 棚卸資産の期末評価2 21 棚卸減耗損1 22 棚卸減耗損2 23 商品評価損1 24 商品評価損2 25 売価還元法1 26 売価還元法2 27 トレーディング目的で保有する棚卸資産1 28 トレーディング目的で保有する棚卸資産2 29 巻末総合問題演習1 30 巻末総合問題演習2
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	94
授業科目	管理会計論入門Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 管理会計論総論 2 管理会計論の範囲 3 原価計算の本質・意義 4 原価計算の基本思考 5 原価計算の目的 6 費目別計算総論 7 原価の分類 8 材料費の計算 9 材料費の分類 10 労務費の計算 11 労務費の計算 12 経費の計算 13 経費の分類 14 製造間接費の計算 15 製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	95
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金及び預金 2 債権債務等1 3 債権債務等2 4 債権債務等3 5 割引現在価値 6 問題演習1 7 貸倒れと貸倒引当金1 8 貸倒れと貸倒引当金2 9 有価証券1 10 有価証券2 11 有価証券3 12 問題演習2 13 デリバティブ取引・ヘッジ会計等1 14 デリバティブ取引・ヘッジ会計等2 15 有形固定資産1 16 有形固定資産2 17 有形固定資産3 18 問題演習3 19 リース取引1 20 リース取引2 21 無形固定資産 22 研究開発費とソフトウェア 23 投資その他の資産 24 問題演習4 25 固定資産の減損1 26 固定資産の減損2 27 繰延資産 28 問題演習5 29 巻末総合問題演習1 30 巻末総合問題演習2
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	96
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計の意義 2 資本循環と財務諸表 3 財務会計と管理会計 4 会計責任説と利害調整機能 5 意思決定有用性説と情報提供機能 6 利益の性格と財務会計の機能 7 会社法会計 8 金融商品取引法会計 9 単体開示の簡素化 10 企業会計原則 11 企業会計基準 12 会計基準の国際的コンバージェンス 13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い 14 米国基準の任意適用 15 原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	97
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 配賦基準 2 製造間接費の実際配賦 3 製造間接費の予定配賦 4 製造間接費予算 5 配賦差異の算定 6 固定予算 7 公式法変動予算 8 実査法変動予算 9 部門別計算の意義・目的 10 原価部門の設定 11 実際配賦（第1次集計） 12 実際配賦（第2次集計） 13 実際配賦（第3次集計） 14 予定配賦 15 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定 16 製造部門費配賦差異の算定 17 補助部門費の配賦 18 配賦基準（単一基準配賦法） 19 配賦基準（複数基準配賦法） 20 配賦金額（実際発生額） 21 配賦金額（予定配賦額） 22 配賦金額（予算許容額） 23 個別原価計算総論 24 製造指図書と原価計算表 25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分 26 単純個別原価計算 27 ロット別個別原価計算 28 部門別個別原価計算の意義 29 個別原価計算における仕損の処理1 30 個別原価計算における仕損の処理2
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	98
授業科目	企業法入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個人企業と共同作業 2 会社の概念 3 法人性に関する諸問題 4 4種類の会社 5 株式会社の分類 6 株式会社の本質的特徴 7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度 8 本質的特徴から導かれる重要な制度 9 会社設立に関する立法主義 10 株式会社の設立手続きの流れ 11 株式会社の設立の方法 12 発起人の意義 13 発起人の資格 14 発起人の数 15 定款の意義 16 定款の作成 17 定款の記載・記録事項 18 定款の備置き、閲覧・謄写 19 発起設立 20 募集設立 21 設立登記の手続き 22 設立登記の効力 23 変態設立事項に関する規制（規制の概要） 24 変態設立事項に関する規制（現物出資） 25 変態設立事項に関する規制（財産引受け） 26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬） 27 変態設立事項に関する規制（設立費用） 28 設立無効の意義 29 設立無効原因 30 設立無効の訴えの制度
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	99
授業科目	監査論入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査とは 2 監査の分類 3 公認会計士の監査領域 4 財務諸表の監査の必要性 5 財務諸表の監査の機能 6 監査の固有の限界 7 二重責任の原則 8 財務諸表の作成責任 9 財務諸表の作成基準 10 監査人 11 監査業務の一年の流れ 12 財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠 13 監査手続き（監査技術） 14 リスク・アプローチ 15 リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	100
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　基礎演習1 2　基礎演習2 3　基礎演習3 4　個別基礎問題　（初級編）1 5　個別基礎問題　（初級編）2 6　個別基礎問題　（初級編）3 7　個別基礎問題　（初級編）4 8　個別基礎問題　（初級編）5 9　個別基礎問題　（初級編）6 10　個別基礎問題　（初級編）7 11　個別基礎問題　（初級編）8 12　個別基礎問題　（初級編）9 13　個別基礎問題　（初級編）10 14　個別基礎問題　（初級編）11 15　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	101
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算基礎問題　（初級編）1 2　計算基礎問題　（初級編）2 3　計算基礎問題　（初級編）3 4　計算基礎問題　（初級編）4 5　計算基礎問題　（初級編）5 6　計算基礎問題　（初級編）6 7　計算基礎問題　（初級編）7 8　計算基礎問題　（初級編）8 9　計算基礎問題　（初級編）9 10　計算基礎問題　（初級編）10 11　計算基礎問題　（初級編）11 12　計算基礎問題　（初級編）12 13　計算基礎問題　（初級編）13 14　計算基礎問題　（初級編）14 15　計算基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	102
授業科目	管理会計論入門演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算基礎問題　（初級編）1 2　計算基礎問題　（初級編）2 3　計算基礎問題　（初級編）3 4　計算基礎問題　（初級編）4 5　計算基礎問題　（初級編）5 6　計算基礎問題　（初級編）6 7　計算基礎問題　（初級編）7 8　計算基礎問題　（初級編）8 9　計算基礎問題　（初級編）9 10　計算基礎問題　（初級編）10 11　計算基礎問題　（初級編）11 12　計算基礎問題　（初級編）12 13　計算基礎問題　（初級編）13 14　計算基礎問題　（初級編）14 15　計算基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	103
授業科目	短答式対策入門総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）1 2　財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）1 3　管理会計　択一式応用問題　（初級編）1 4　企業法　択一式応用問題　（初級編）1 5　監査論　択一式応用問題　（初級編）1 6　財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）2 7　財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）2 8　管理会計　択一式応用問題　（初級編）2 9　企業法　択一式応用問題　（初級編）2 10　監査論　択一式応用問題　（初級編）2 11　財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）3 12　財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）3 13　管理会計　択一式応用問題　（初級編）3 14　企業法　択一式応用問題　（初級編）3 15　監査論　択一式応用問題　（初級編）3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	104
授業科目	企業法入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株式の意義等 2 株主の権利・義務 3 株主平等原則 4 株式の譲渡 5 自己株式の取得・処分等の制限 6 子会社による親会社株式の取得 7 株券 8 株主名簿 9 株式担保 10 株式振替制度 11 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却 12 端数の処理 13 単元株制度 14 株主等売渡請求の概要 15 株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	105
授業科目	監査論入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 IT（情報技術） 2 監査契約に係る予備的な活動 3 監査計画 4 監査証拠の入手方法 5 監査上の重要性 6 特別な検討を必要とするリスク 7 関連当事者との関係及び取引 8 会計上の見積り 9 財務諸表監査における不正の検討 10 監査における不正リスク対応基準 11 財務諸表監査における法令の検討 12 グループ監査 13 内部監査の利用 14 専門家の業務の利用 15 監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	106
授業科目	租税法入門Ⅰ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入（概要・計算構造） 3 減価償却（普通償却） 4 租税公課及び納税充当金 5 受取配当等の益金不算入 6 繰延資産（概要） 7 金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入 8 有価証券 9 所得税額控除（原則法） 10 寄附金の損金不算入 11 減価償却（特別償却・概要） 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	107
授業科目	経営学入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　投資理論の基礎知識 2　最適なポートフォリオの選択 3　資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム） 4　債券評価 5　裁定取引と効率的市場 6　マルチファクターモデルと行動ファイナンス 7　企業財務論の目的 8　資本コスト 9　最適資本構成 10　プロジェクトの評価 11　配当政策（ペイアウト政策その1） 12　自社株買い（ペイアウト政策その2） 13　財務情報分析 14　M&Aにおける企業価値評価 15　企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	108
授業科目	租税法入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　所得税法の概要 2　各種所得と各種所得の金額の計算（総測） 3　減価償却 4　課税標準・課税所得金額の計算 5　所得控除額の計算 6　納税税額の計算（総則） 7　申告・納付 8　源泉徴収 9　有価証券に係る課税の特例 10　消費税法の概要 11　課税の対象 12　非課税 13　輸出免税等 14　課税標準 15　講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	109
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	110
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15 16　記述式基礎問題　（初級編）16 17　記述式基礎問題　（初級編）17 18　記述式基礎問題　（初級編）18 19　記述式基礎問題　（初級編）19 20　記述式基礎問題　（初級編）20 21　記述式基礎問題　（初級編）21 22　記述式基礎問題　（初級編）22 23　記述式基礎問題　（初級編）23 24　記述式基礎問題　（初級編）24 25　記述式基礎問題　（初級編）25 26　記述式基礎問題　（初級編）26 27　記述式基礎問題　（初級編）27 28　記述式基礎問題　（初級編）28 29　記述式基礎問題　（初級編）29 30　記述式基礎問題　（初級編）30
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	111
授業科目	監査法基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	112
授業科目	企業法基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	113
授業科目	経営学基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	114
授業科目	租税法基礎演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（初級編）1 2　記述式基礎問題　（初級編）2 3　記述式基礎問題　（初級編）3 4　記述式基礎問題　（初級編）4 5　記述式基礎問題　（初級編）5 6　記述式基礎問題　（初級編）6 7　記述式基礎問題　（初級編）7 8　記述式基礎問題　（初級編）8 9　記述式基礎問題　（初級編）9 10　記述式基礎問題　（初級編）10 11　記述式基礎問題　（初級編）11 12　記述式基礎問題　（初級編）12 13　記述式基礎問題　（初級編）13 14　記述式基礎問題　（初級編）14 15　記述式基礎問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	115
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	有価証券総論	31	減価償却（級数法）
	2	株式に係る期中処理	32	減価償却（生産高比例法）
	3	公社債に係る期中処理	33	資本的支出と収益的支出
	4	有価証券の分類と評価	34	総合償却
	5	親会社株式	35	売却
	6	約定日基準	36	除却
	7	修正受渡日基準	37	下取り買替え
	8	デリバティブ取引の概要	38	圧縮記帳（直接減額方式）
	9	先物取引	39	臨時損失
	10	オプション取引	40	保険差益
	11	スワップ取引	41	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	12	ヘッジ会計の概要	42	巻末総合問題演習1
	13	繰延ヘッジ	43	巻末総合問題演習2
	14	時価ヘッジ	44	巻末総合問題演習3
	15	債権譲渡	45	巻末総合問題演習4
	16	ローン・パーティシペーション		
	17	デット・アサンプション		
	18	デット・エクイティ・スワップ		
	19	ゴルフ会員権		
	20	有形固定資産総論		
	21	取得原価の決定（購入）		
	22	取得原価の決定（時価建設）		
	23	取得原価の決定（現物出資）		
	24	取得原価の決定（交換）		
	25	取得原価の決定（贈与）		
	26	減価償却の概要		
	27	減価償却（定額法）		
	28	減価償却（旧定率法）		
	29	減価償却（200％定率法）		
	30	減価償却（250％定額法）		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	116
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計基準を設定するアプローチ 2 概念フレームワークの公表 3 財務報告の目的 4 会計情報の質的特性 5 財務諸表の構成要素 6 財務諸表における認識と測定 7 実現主義 8 発生主義 9 費用収益対応の原則 10 収支額基準 11 実現可能性基準 12 原価主義 13 時価主義 14 割引原価主義 15 費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	117
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合原価計算総論 2 総合原価計算 3 直接材料費と加工費 4 仕掛品の完成品換算 5 総合原価計算の種類 6 単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義） 7 単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法） 8 単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理） 9 単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理） 10 単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理） 11 工程別総合原価計算の処理 12 工程別計算の計算手順（累加法） 13 工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法） 14 予定振替原価の利用 15 追加原材料の意義 16 追加原材料（増量しない場合） 17 組別総合原価計算の意義 18 組別総合原価計算の手続 19 等級別総合原価計算の意義 20 完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法） 21 当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法） 22 連産品 23 連結原価（結合原価）の按分 24 連産品を副産物とみなす場合の計算 25 連結原価（結合原価）を按分する理由 26 授業内演習1 27 授業内演習2 28 授業内演習3 29 授業内演習4 30 授業内演習5
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	118
授業科目	企業法入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方をを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総説ー株式会社の機関設計 2 公開会社の機関構造の特色 3 株主総会 4 取締役 5 善管注意義務と忠実義務 6 競業避止義務 7 利益相反取引 8 取締役の責任 9 取締役の第三者に対する責任 10 取締役会の意義・設置 11 取締役会の権限 12 代表取締役 13 監査役 14 監査役会 15 会計参与 16 会計監査人 17 指名委員会等設置会社 18 監査等委員会設置会社 19 募集株式の発行等 20 募集事項の決定 21 募集事項の決定 22 出資の履行等 23 募集株式の発行等の効力発生等 24 新株予約権 25 社債の意義 26 社債と株式の異同 27 社債の発行 28 社債の管理 29 社債の譲渡 30 利息の支払・償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	119
授業科目	監査論入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査の品質管理 2 監査人の交代（監査事務所間の交代） 3 監査役等とのコミュニケーション 4 内部統制の不備に関するコミュニケーション 5 監査調書 6 監査意見の内容 7 財務諸表の適正性 8 監査報告書 9 無限定適正意見の場合 10 除外事項付意見の場合 11 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 12 追記情報の意義 13 追記情報と保証機能 14 比較情報 15 監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	120
授業科目	ホテル概論
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ホテルの概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテルの仕事内容が理解できる
教科書	ホテルビジネス基礎編
特記	
授業計画	1 接客マナー 2 観光産業の特徴／世界の観光産業1 3 日本の観光産業1 4 ホテル産業の概要／ホテルの組織 5 都内の主なホテル／主要なホテルチェーン 6 宿泊部門の仕事 7 料飲部門の仕事 8 宴会部門の仕事 9 ホテル業界の全体像 10 多様化するホテル業界 11 シティホテル、リゾートホテル、旅館の仕事の違い 12 シティホテル、リゾートホテル、旅館の特徴 13 シティホテルの企業研究1 14 シティホテルの企業研究2 15 リゾートホテル、旅館の企業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	121
授業科目	ホテル実務Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ホテルの基本、宿泊部門の業務、料飲部門の業務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテル産業の概要、宿泊部門・料飲部門の業務の内容が理解できる
教科書	ホテルビジネス基礎編
特記	
授業計画	1 世界の観光産業 2 世界の宿泊産業 3 日本の観光産業 4 日本の宿泊産業 5 ホテルの定義／ホテル産業の分類1 6 ホテル産業の分類2 7 国際的な慣習／ホスピタリティ 8 ホテルの基礎復習 9 ホテル英語の基本1 10 ホテル英語復習 11 宿泊部門の概要 12 宿泊部門の実務 13 宿泊部門復習 14 料飲部門の実務 15 料飲部門復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	122
授業科目	ホテル実務Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	宴会部門、調理部門、マーケティング部門の業務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテル実務Ⅰと合わせホテルの業務内容を理解し、ホテルビジネス実務検定B２級合格を目指す
教科書	ホテルビジネス基礎編、ホテルビジネス練習過去問題集７００選
特記	
授業計画	1 宴会部門の概要 2 宴会部門の実務 3 宴会部門復習 4 調理部門の概要 5 調理部門の実務 6 調理部門復習 7 マーケティング部門の実務 8 マーケティング部門の実務 9 項目別問題演習　第1章　第２章 10 項目別問題演習　第3章　第４章　第５章 11 過去問題演習 12 過去問題演習 13 過去問題演習 14 過去問題演習 15 過去問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	123
授業科目	レストラン概論Ⅰ
実務家教員授業	授業担当者：畑迫　二郎
	実務経験：ホテル業界で接客職として勤務 授業との関連性：ホテルでの実務経験を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	料飲サービスに必要な知識と、基本的なサービス技能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と、実習室を使った演習を行う
達成目標	料飲サービスの基本的な知識が理解でき、簡単なテーブルサービスができるようになる
教科書	西洋料理料飲接遇サービス技法／基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション／接客の基本／レストランサービスとは 2 什器備品（銀食器の名称と用途・陶磁器の名称と用途） 3 什器備品（陶磁器の名称と用途・ガラス食器の名称と用途） 4 演習：サービストレイの取り扱い方 5 演習：トレイサービス実技 6 演習：トレイサービス実技 7 メニュー作成の諸規則・朝食メニューの内容 8 メニューの構成 9 演習：テーブルセッティング 10 演習：プレートサービス実技 11 ランチ・ディナーメニューの内容 12 アルコール飲料の基礎知識 13 演習：プレートサービス実技 14 演習：オーダーテイクの仕方、お水のサービス方法 15 食品1 16 食品／西洋料理に使用される主な食材（前菜、スープ、魚・甲殻・貝類） 17 演習：テーブルセット、ボトルサービス 18 演習：テーブルサービス、ボトルサービス、パンのサービス 19 西洋料理に使用される主な食材（家畜、家禽、野鳥獣肉） 20 西洋料理に使用される主な食材（野菜、チーズ、デザート） 21 演習：テーブルセット、ボトルサービス 22 演習：テーブルサービス、ボトルサービス、パンのサービス 23 西洋料理調理法 24 飲料の種類および特徴（ワインの分類、ぶどうの品種、フランスのワイン） 25 演習：客席案内～パンのサービス 26 演習：客席案内～パンのサービス 27 飲料の種類および特徴（フランスのワイン） 28 飲料の種類および特徴（各国のワイン、ワインの管理） 29 演習：実技チェック 30 演習：実技チェック
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストおよび実技チェックの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	124
授業科目	レストラン概論Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：畑迫　二郎
	実務経験：ホテル業界で接客職として勤務 授業との関連性：ホテルでの実務経験を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	料飲サービスに必要な知識と、基本的なサービス技能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と、実習室を使った演習を行う
達成目標	料飲サービスの基本的な知識が理解でき、テーブルサービスができるようになる
教科書	西洋料理料飲接遇サービス技法／基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル
特記	
授業計画	1 飲料の種類および特徴（酒精強化ワイン～スピリッツ） 2 飲料の種類および特徴（リキュール～ミネラルウォーター） 3 演習：客席案内～パンのサービスまで 4 演習：客席案内～パンのサービスまで 5 宴会の種類と内容 6 レストランのサービス方法／レストランの準備、セッティング、客席案内 7 演習：ボトルサービス～料理のサービス～下げ～お客様のお見送り～リセット 8 演習：ボトルサービス～料理のサービス～下げ～お客様のお見送り～リセット 9 レストランでの注文の受け方／テーブルサービス 10 サービススタッフによる調理の仕上げ／予約、メニュー管理、異常時の対応 11 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 12 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 13 食事のサービスマナー／食事の国際慣習 14 食文化／食育 15 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 16 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 17 施設管理／苦情対応と遺失物の取り扱い 18 食品衛生／食中毒 19 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 20 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ 21 寄生虫／衛生害虫／保存、洗浄、殺菌及び消毒 22 調理施設の衛生管理／公衆衛生 23 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ（実技チェック練習） 24 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ（実技チェック練習） 25 感染症の予防／食品衛生法 26 労働災害／危険有害性 27 労働安全衛生に関する法令 28 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ（実技チェック） 29 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ（実技チェック） 30 演習：ランチタイムのサービス一連の流れ（実技チェック）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストおよび実技チェックの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	125	
授業科目	ホテル実習Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	９０時間（３単位）	
授業コマ数	１２日以上（1日７.5時間勤務を目安に９０時間以上）	
授業概要	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける	
授業の進め方	実際にホテルで働きながら、仕事を覚える	
達成目標	ホテルでの仕事の基本が理解できるようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1	ホテル受け入れ研修
	2	配属先基礎研修
	3	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	4	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	5	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	6	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	7	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	8	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	9	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	10	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	11	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
	12	OJT（宿泊部門もしくは料飲部門）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習１００％　実習先による評価シートの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	126	
授業科目	ホテル実習Ⅱ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	９０時間（３単位）	
授業コマ数	１２日以上（1日７.5時間勤務を目安に９０時間以上）	
授業概要	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける	
授業の進め方	実際にホテルで働きながら、仕事を覚える	
達成目標	ホテルでの仕事の基本が理解できるようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1	ホテル受け入れ研修
	2	配属先基礎研修
	3	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	4	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	5	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	6	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	7	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	8	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	9	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	10	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	11	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	12	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習１００％　実習先による評価シートの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	127
授業科目	サービス接遇Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	サービスの現場で求められる接遇スキルの習得
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	サービス接遇について初歩的な理解を持ち、必要な知識、技能を習得
教科書	実務技能検定協会　公式テキスト３級
特記	
授業計画	1　サービススタッフの資質　必要とされる要件１ 2　サービススタッフの資質　必要とされる要件２ 3　サービススタッフの資質　必要とされる要件３ 4　サービススタッフの資質　従業要件１ 5　サービススタッフの資質　従業要件２ 6　サービススタッフの資質　従業要件３ 7　サービススタッフの資質　従業要件３ 8　サービススタッフの資質　確認テスト 9　専門知識　サービス知識１ 10　専門知識　サービス知識２ 11　専門知識　サービス知識３ 12　専門知識　従業知識１ 13　専門知識　従業知識２ 14　専門知識　従業知識３ 15　専門知識　確認テスト 16　一般知識　社会常識１ 17　一般知識　社会常識２ 18　一般知識　社会常識３ 19　一般知識　確認テスト 20　理論　問題演習１ 21　理論　問題演習２ 22　理論　問題演習３ 23　理論　問題演習４ 24　理論　問題演習５ 25　前期試験前確認テスト 26　前期試験前確認テスト 27　前期試験前確認テスト 28　前期試験 29　試験　解説 30　対人技能　人間関係
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	128
授業科目	日本語概論Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	日本語能力を身に着け、円滑なコミュニケーションが取れるよう学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、７０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 実力確認模試 2 解説 3 言語知識：文字・語彙Ⅰ 4 言語知識：文法Ⅰ 5 読解：短文Ⅰ・中文Ⅰ 6 読解：長文Ⅰ 7 聴解Ⅰ 8 言語知識：文字・語彙Ⅱ 9 言語知識：文法Ⅱ 10 読解：短文Ⅱ・中文Ⅰ 11 読解：長文Ⅱ 12 聴解Ⅱ 13 日本語能力試験模擬試験Ⅰ 14 日本語能力試験模擬試験Ⅱ 15 日本語能力試験模擬試験Ⅲ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	129
授業科目	日本語基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	日本語能力を身に着け、円滑なコミュニケーションが取れるよう学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、７０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 言語知識：文字・語彙Ⅰ 2 言語知識：文法Ⅰ 3 読解：短文Ⅰ・中文Ⅰ 4 読解：長文Ⅰ 5 聴解Ⅰ 6 言語知識：文字・語彙Ⅱ 7 言語知識：文法Ⅱ 8 読解：短文Ⅱ・中文Ⅱ 9 読解：長文Ⅱ 10 聴解Ⅱ 11 言語知識：文字・語彙・文法　総合問題演習Ⅰ 12 読解：短文・中文・長文　総合問題演習Ⅰ 13 聴解：総合問題演習Ⅰ 14 言語知識：文字・語彙Ⅲ 15 言語知識：文法Ⅲ 16 読解：短文Ⅲ・中文Ⅲ 17 読解：長文Ⅲ 18 聴解Ⅲ 19 言語知識：文字・語彙Ⅳ 20 言語知識：文法Ⅳ 21 読解：短文Ⅳ・中文Ⅳ 22 読解：長文Ⅳ 23 聴解Ⅳ 24 言語知識：文字・語彙・文法　総合問題演習Ⅱ 25 読解：短文・中文・長文　総合問題演習Ⅱ 26 聴解：総合問題Ⅱ 27 日本語能力試験模擬試験Ⅰ 28 日本語能力試験模擬試験Ⅱ 29 日本語能力試験模擬試験Ⅲ 30 日本語能力試験模擬試験Ⅳ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	130
授業科目	日本語基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	日本語能力を身に着け、円滑なコミュニケーションが取れるよう学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、７０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 言語知識：文字・語彙Ⅰ・文法Ⅰ 2 読解：短文Ⅰ・中文Ⅰ・長文Ⅰ 3 聴解Ⅰ 4 言語知識：文字・語彙Ⅱ・文法Ⅱ 5 読解：短文Ⅱ・中文Ⅱ・長文Ⅱ 6 聴解Ⅱ 7 言語知識：文字・語彙Ⅲ・文法Ⅲ 8 読解：短文Ⅲ・中文Ⅲ・長文Ⅲ 9 聴解Ⅲ 10 総合演習Ⅰ 11 総合演習Ⅱ 12 総合演習Ⅲ 13 総合演習Ⅳ 14 総合演習Ⅴ 15 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	131
授業科目	観光英語Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	観光産業で使用されることの多い用語や表現を習得し、観光英語検定合格を目指す
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	観光英語検定３級合格
教科書	スタンダード問題集　作成プリント
特記	
授業計画	1 観光英語概論 2 英語レベルテスト 3 観光用語（空港・交通機関でよく使われる用語、表現） 4 観光用語（ホテル・観光・旅行でよく使われる用語、表現） 5 観光用語（レストラン・ショッピングでよく使われる用語、表現） 6 観光用語（銀行・病院・医療でよく使われる用語、表現） 7 観光用語（通信・娯楽・レジャーでよく使われる用語、表現） 8 観光用語の問題・解説 9 観光用語の演習問題・解説 10 英語コミュニケーションの問題・解説 11 英語コミュニケーションの演習問題・解説 12 英文構成の演習問題・解説 13 世界の都市 14 世界の観光地 15 世界の都市・観光地　復習テスト 16 日本の都市 17 日本の観光地 18 日本の都市・観光地　復習テスト 19 英文読解の問題・解説 20 英文読解の演習問題・解説 21 世界遺産（海外） 22 世界遺産（国内） 23 世界遺産　復習テスト 24 海外・国内の観光と文化の問題・解説 25 海外・国内の観光と文化の演習問題・解説 26 世界のお祭り 27 日本のお祭り 28 日本の文化・神社仏閣 29 お祭り（世界・日本）、日本の文化・神社仏閣　復習１ 30 お祭り（世界・日本）、日本の文化・神社仏閣　復習２
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	132
授業科目	観光英語Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	観光産業で使用されることの多い用語や表現を習得し、観光英語検定合格を目指す
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	観光英語検定３級合格
教科書	観光英検センター　観光英語検定試験
特記	
授業計画	1　筆記問題（観光用語・コミュニケーション）・解説 2　筆記問題（英文構成・英文読解）・解説 3　筆記問題（海外観光と国内観光）・解説 4　リスニング問題（写真描写・イラスト描写）・解説 5　リスニング問題（対話・会話・観光事情）・解説 6　観光英語検定３級　総合問題（過去問）１ 7　観光英語検定３級　総合問題（過去問）１　解説 8　観光英語検定３級　総合問題（過去問）２ 9　観光英語検定３級　総合問題（過去問）２　解説 10　観光英語検定３級　総合問題（過去問）３ 11　観光英語検定３級　総合問題（過去問）３　解説 12　観光英語検定３級　総合問題（過去問）４ 13　観光英語検定３級　総合問題（過去問）４　解説 14　観光英語検定３級　総合問題（過去問）５ 15　観光英語検定３級　総合問題（過去問）５　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	133
授業科目	簿記初級
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ホテル会計とは何かを理解する
授業の進め方	テキストによる講義を中心に進める
達成目標	ホテルにおける会計の特徴を説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ホテル会計の特徴１ 2 ホテル会計の特徴２ 3 宿泊部門の売上管理／客室稼働率と客室単価１ 4 宿泊部門の売上管理／客室稼働率と客室単価２ 5 レベニューマネジメントの実例１ 6 レベニューマネジメントの実例２ 7 料飲部門の売上管理と売上分析１ 8 料飲部門の売上管理と売上分析２ 9 料飲原価管理１ 10 料飲原価管理２ 11 ホテルの支出１ 12 ホテルの支出２ 13 ホテルの仕入れ管理１ 14 ホテルの仕入れ管理２ 15 ホテルにおける資産管理１ 16 ホテルにおける資産管理２ 17 ホテル会計統一制度とは１ 18 ホテル会計統一制度とは２ 19 ホテルにおける財務的な特徴１ 20 ホテルにおける財務的な特徴２ 21 部門別損益計算書　宿泊部門・料飲部門１ 22 部門別損益計算書　宿泊部門・料飲部門２ 23 ホテル業の損益計算書１ 24 ホテル業の損益計算書２ 25 ホテル業態による利益率の違い１ 26 ホテル業態による利益率の違い２ 27 経済環境による売上の変化１ 28 経済環境による売上の変化２ 29 ホテルにおける経営特性１ 30 ホテルにおける経営特性２
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	134
授業科目	ホテル基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	観光産業の概況、ホテル産業の概要から宿泊部門の基礎知識のを学びます
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテル実務と合わせホテルの業務内容を理解し、ホテルビジネス実務検定B２級合格を目指す
教科書	ホテルビジネス基礎編
特記	
授業計画	1 ホテルの基礎：言葉・用語の理解 2 世界の観光産業：観光動向・宿泊産業 3 日本の観光産業：観光動向・宿泊産業 4 ホテル産業の概要：ホテルの定義・ホテル産業の分類・ホテルの組織 5 実務者として必要な基本知識：国際的な習慣・ホスピタリティ 6 ホテル英語の基本 7 ホテル基礎の復習 8 宿泊部門：言葉・用語の理解 9 宿泊部門の概要：宿泊商品の特性・組織と業務役割 10 宿泊部門の実務：基本知識・主な担当者の業務 11 宿泊部門の復習 12 料飲部門：言葉・用語の理解 13 料飲部門の概要：料飲商品の特性・組織と業務役割 14 料飲部門の実務：基本知識・主な担当者の業務 15 料飲部門の復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	135
授業科目	ホテル基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	料飲部門、宴会部門、調理部門の基礎知識の習得
授業の進め方	観光産業の概況、ホテル産業の概要から宴会部門、調理部門、マーケティング部門の基礎知識のを学びます
達成目標	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
教科書	ホテル実務と合わせホテルの業務内容を理解し、ホテルビジネス実務検定B２級合格を目指す
特記	ホテルビジネス基礎編
授業計画	1　宴会部門の言葉・用語の理解 2　宴会部門の概要：宴会商品の特性・組織と業務役割 3　宴会部門の実務Ⅰ：基本知識 4　宴会部門の実務Ⅱ：主な担当者の業務 5　宴会部門復習 6　調理部門の言葉・用語の理解 7　調理部門の概要：調理部門の特性・組織と業務役割 8　調理部門の実務Ⅰ：基本知識 9　調理部門の実務Ⅱ：西洋料理の主な担当者の業務 10　調理部門復習 11　マーケティングの言葉・用語の理解 12　マーケティング部門の概要：組織と業務役割・売上予算作成業務 13　マーケティング部門の実務：基本知識・主な担当者の業務 14　マーケティング部門の復習 15　総合復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	136	
授業科目	日本語実践Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５回	
授業概要	日本語の正しい発音とアクセントの学習	
授業の進め方	実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、７０点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	発音と韻律の説明。現在の自分の発音を記録
	2	母音と子音：発音のメカニズム・母音
	3	母音と子音：発音のメカニズム：子音
	4	リズム：拍とその種類・特殊拍
	5	リズム：フット
	6	アクセント：日本語のアクセント
	7	アクセント：名詞のアクセント・複合名詞のアクセント
	8	アクセント；形容詞のアクセント・動詞のアクセント
	9	イントネーション：イントネーションとは・２要素間の基本的なイントネーション型
	10	イントネーション：フォーカスとイントネーション
	11	イントネーション：「は」と「が」のイントネーション
	12	イントネーション：疑問詞・文末のイントネーション
	13	総合演習：接客業の用語演習
	14	総合演習：電話対応演習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後の試験における科目別得点及び演習得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	137
授業科目	ホテルキャリアデザインⅠ
実務家教員授業	授業担当者：永島　幸司・渡邉　繁樹
	実務経験：ホテル業界で接客職として勤務 授業との関連性：ホテルでの実務経験を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	社会人として身に付けるための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	ビジネスマナーを身に付けるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　就職の心構えⅠ：就職とは何か・社会が求める人材 2　就職の心構えⅡ：就職スケジュール 3　業界地図 4　業界研究Ⅰ：シティーホテル 5　業界研究Ⅱ：リゾートホテル・旅館 6　ホテルの職種研究Ⅰ：営業部門 7　ホテルの職種研究Ⅱ：管理部門 8　求人票からの情報 9　求人票の見方・注意点１ 10　求人票の見方・注意点２ 11　情報サイトの登録及び使い方１ 12　情報サイトの登録及び使い方２ 13　応募書類の準備１ 14　応募書類の準備２ 15　エントリーシートの作成方法 16　エントリーシートの記載事項 17　エントリーシートの作成 18　履歴書作成Ⅰ：作成ポイント 19　履歴書作成Ⅱ：自己分析・自己ＰＲ 20　履歴書作成Ⅲ:志望動機 21　履歴書作成Ⅳ：評価 22　ビジネス文書作成 23　時事用語Ⅰ 24　身だしなみについてⅠ 25　身だしなみについてⅡ 26　挨拶・言葉についてⅠ 27　挨拶・言葉についてⅡ 28　挨拶・言葉についてⅡ 29　正社員とアルバイトの違い 30　最終確認問題
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	138
授業科目	ホテルキャリアデザインⅡ
実務家教員授業	授業担当者：永島　幸司・渡邉　繁樹
	実務経験：ホテル業界で接客職として勤務 授業との関連性：ホテルでの実務経験を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	実技、演習を交えホテリエとしての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	ビジネスマナーを身に付けるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　ホテル客室内ベットメイキング実技Ⅰ 2　ホテル客室内ベットメイキング実技Ⅱ 3　ホテル客室内ベットメイキング実技Ⅲ 4　ホテル客室内ベットメイキング実技Ⅳ 5　ホテルフロントカウンター接客演習Ⅰ 6　ホテルフロントカウンター接客演習Ⅱ 7　ホテルフロントカウンター接客演習Ⅲ 8　ホテルフロントカウンター接客演習Ⅳ 9　ホテル宿泊予約演習Ⅰ 10　ホテル宿泊予約演習Ⅱ 11　ホテル宿泊部門総合演習Ⅰ 12　ホテル宿泊部門総合演習Ⅱ 13　ホテル宿泊部門総合演習Ⅱ 14　実技・演習まとめ 15　作文・小論文Ⅰ： 16　確認問題演習Ⅰ 17　確認問題演習Ⅱ 18　面接試験Ⅰ：面接のねらい 19　面接試験Ⅱ：面接の心構え 20　面接試験Ⅲ：質問研究 21　面接演習Ⅰ：入室～ 22　面接演習Ⅱ： 23　模擬面接 24　模擬面接 25　筆記試験対策Ⅰ：一般常識 26　筆記試験対策Ⅰ：一般常識 27　適性検査Ⅰ： 28　適性検査Ⅱ： 29　適性検査Ⅲ： 30　まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	1
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究1 4 企業研究2 5 志望動機の作り方1 6 志望動機の作り方2 7 志望動機の作り方3 8 志望動機の作り方4 9 志望動機の作り方5 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習1 14 内定後学習2 15 内定後学習3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	2
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議1 6 時事研究・グループ討議2 7 時事研究・グループ討議3 8 時事研究・グループ討議4 9 時事研究・グループ討議5 10 時事研究・グループ討議6 11 時事研究・グループ討議7 12 時事研究・グループ討議8 13 時事研究・グループ討議9 14 発表1 15 発表2
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	3
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必１
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 事務職の1日の流れ 2 電話応対応用1 3 電話応対応用2 4 電話応対応用3 5 接遇の流れ1 6 接遇の流れ2 7 接遇の流れ3 8 演習（ロールプレイング）1 9 演習（ロールプレイング）2 10 演習（ロールプレイング）3 11 演習（ロールプレイング）4 12 演習（ロールプレイング）5 13 演習（ロールプレイング）6 14 効果測定1 15 効果測定2
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	4
授業科目	経理実務
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必１
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　経理・総務の年間カリキュラム 2　小切手・手形の実務上のポイント 3　入出金伝票と現金出納帳 4　当座預金出納帳と手形記入帳 5　交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 7　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 8　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 9　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理4 10　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理5 11　健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理6 12　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 13　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 14　源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 15　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 16　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 17　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 18　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 19　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 20　源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 21　個人住民税の徴収及び納付1 22　個人住民税の徴収及び納付2 23　印紙税の基礎知識 24　受取利息の会計処理 25　消費税法の概要1 26　消費税法の概要2 27　消費税の会計処理 28　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 29　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 30　原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	5
授業科目	給与計算実務
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必１
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 所得税の基礎知識1 2 所得税の基礎知識2 3 所得税の基礎知識3 4 年末調整のしかた1 5 年末調整のしかた2 6 年末調整のしかた3 7 法定調書の流れ1 8 法定調書の流れ2 9 法定調書の流れ3 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3 13 労働保険の概要及び会計処理1 14 労働保険の概要及び会計処理2 15 労働保険の概要及び会計処理3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	6
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必２
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	接客に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	

授業計画				
	1	接客販売、営業マナーとは1	31	商品説明1
	2	接客販売、営業マナーとは2	32	商品説明2
	3	接客販売、営業マナーとは3	33	商品説明3
	4	接客販売の心得1	34	商品説明4
	5	接客販売の心得2	35	商品説明5
	6	接客販売の心得3	36	演習1
	7	お客様の心理1	37	演習2
	8	お客様の心理2	38	演習3
	9	お客様の心理3	39	演習4
	10	店内接客の基本1	40	総合演習1
	11	店内接客の基本2	41	総合演習2
	12	店内接客の基本3	42	総合演習3
	13	演習1	43	効果測定1
	14	演習2	44	効果測定2
	15	演習3	45	効果測定3
	16	営業の心得1		
	17	営業の心得2		
	18	営業の心得3		
	19	営業の心得4		
	20	訪問の流れ1		
	21	訪問の流れ2		
	22	訪問の流れ3		
	23	訪問の流れ4		
	24	演習1		
	25	演習2		
	26	演習3		
	27	商談の進め方1		
	28	商談の進め方2		
	29	商談の進め方3		
	30	商談の進め方4		

成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	7
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必２
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足1 2 顧客満足2 3 マーケティングの必要性1 4 マーケティングの必要性2 5 情報収集と分析1 6 情報収集と分析2 7 流通チャネル1 8 流通チャネル2 9 プロモーション1 10 プロモーション2 11 財務知識1 12 財務知識2 13 事例研究1 14 事例研究2 15 事例研究3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	8
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必２
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解1 2 店舗データの理解2 3 マーケティングの流れ1 4 マーケティングの流れ2 5 売上構成分析1 6 売上構成分析2 7 来店客分析1 8 来店客分析2 9 商品分析1 10 商品分析2 11 費用分析1 12 費用分析2 13 課題抽出1 14 課題抽出2 15 アンケート調査分析1 16 アンケート調査分析2 17 企画作成1 18 企画作成2 19 企画作成3 20 企画作成4 21 様々なマーケティング1 22 様々なマーケティング2 23 プレ卒業研究1 24 プレ卒業研究2 25 プレ卒業研究3 26 プレ卒業研究4 27 プレ卒業研究5 28 プレ卒業研究6 29 プレ卒業研究7 30 プレ卒業研究8
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	9
授業科目	卒業研究開発Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必３
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による実習
達成目標	企画立案をおこなってユースケース図を完成させる
教科書	なし
特記	

授業計画

1	卒業研究とは	31	ユースケースモデリング分析
2	業界研究	32	ユースケースモデリング分析
3	業界研究	33	ユースケースモデリング分析
4	業界研究	34	ユースケースモデリング分析
5	企画立案	35	ユースケースモデリング分析
6	企画立案	36	ユースケースモデリング分析
7	企画立案	37	ユースケースモデリング分析
8	企画立案	38	ユースケースモデリング分析
9	企画立案	39	要求レビューの理論
10	企画立案	40	要求レビューの実践
11	企画書の作成	41	要求レビュー
12	企画書の作成	42	要求レビュー
13	企画書の作成	43	要求レビュー
14	企画書の作成	44	要求レビュー
15	中間発表準備	45	要求レビュー
16	中間発表準備		
17	中間発表準備		
18	中間発表準備		
19	ドメインモデリングの理論		
20	ドメインモデリングの実践		
21	ドメインモデリング分析		
22	ドメインモデリング分析		
23	ユースケースモデリングの理論		
24	ユースケースモデリングの実践		
25	ユースケースモデリング分析		
26	ユースケースモデリング分析		
27	ユースケースモデリング分析		
28	ユースケースモデリング分析		
29	ユースケースモデリング分析		
30	ユースケースモデリング分析		

成績評価方法 （試験実施方法）	提出物評価100%　授業内で取り組む提出課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	10
授業科目	卒業研究開発Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選必３
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作成とシーケンス図の作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による実習
達成目標	ロバストネス図を完成させる
教科書	なし
特記	

授業計画

1	中間発表準備	31	シーケンス図作成
2	中間発表準備	32	シーケンス図作成
3	中間発表準備	33	シーケンス図作成
4	中間発表準備	34	シーケンス図作成
5	中間発表準備	35	シーケンス図作成
6	ロバストネス分析の理論	36	シーケンス図作成
7	ロバストネス分析の実践	37	シーケンス図作成
8	ロバストネス分析	38	シーケンス図作成
9	ロバストネス分析	39	シーケンス図作成
10	ロバストネス分析	40	シーケンス図作成
11	ロバストネス分析	41	シーケンス図作成
12	ロバストネス分析	42	シーケンス図作成
13	ロバストネス分析	43	シーケンス図作成
14	ロバストネス分析	44	シーケンス図作成
15	ロバストネス分析	45	シーケンス図作成
16	予備設計レビューの理論		
17	予備設計レビューの実践		
18	予備設計レビュー		
19	予備設計レビュー		
20	予備設計レビュー		
21	予備設計レビュー		
22	予備設計レビュー		
23	予備設計レビュー		
24	予備設計レビュー		
25	予備設計レビュー		
26	テクニカルアーキテクチャの理論		
27	テクニカルアーキテクチャの実践		
28	シーケンス図作成の理論		
29	シーケンス図作成の実践		
30	シーケンス図作成		

成績評価方法 （試験実施方法）	提出物評価100%　授業内で取り組む提出課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容			
科目番号	11			
授業科目	卒業研究開発Ⅲ			
実務家教員授業	―			
	―			
学部・学科	経理本科２年制学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選必３			
授業方法	実習			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業コマ数	４５回			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図の作成とソースコードの作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	シーケンス図を完成させる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	シーケンス図作成	31	プログラミング(開発)
	2	シーケンス図作成	32	プログラミング(開発)
	3	シーケンス図作成	33	プログラミング(開発)
	4	シーケンス図作成	34	プログラミング(開発)
	5	シーケンス図作成	35	プログラミング(開発)
	6	シーケンス図作成	36	プログラミング(開発)
	7	シーケンス図作成	37	プログラミング(開発)
	8	シーケンス図作成	38	プログラミング(開発)
	9	シーケンス図作成	39	プログラミング(開発)
	10	シーケンス図作成	40	プログラミング(開発)
	11	シーケンス図作成	41	プログラミング(開発)
	12	シーケンス図作成	42	プログラミング(開発)
	13	シーケンス図作成	43	プログラミング(開発)
	14	シーケンス図作成	44	プログラミング(開発)
	15	シーケンス図作成	45	プログラミング(開発)
	16	シーケンス図作成		
	17	詳細設計レビューの理論		
	18	詳細設計レビューの実践		
	19	詳細設計レビュー		
	20	詳細設計レビュー		
	21	詳細設計レビュー		
	22	詳細設計レビュー		
	23	詳細設計レビュー		
	24	詳細設計レビュー		
	25	詳細設計レビュー		
	26	詳細設計レビュー		
	27	詳細設計レビュー		
	28	詳細設計レビュー		
	29	詳細設計からコードへ		
	30	実装の実践		
成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100%　有識者による講評で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	12	
授業科目	ホテル実習Ⅱ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	実習	
授業時間	９０時間（３単位）	
授業コマ数	１２日以上（1日７．５時間勤務を目安に９０時間以上）	
授業概要	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける	
授業の進め方	実際にホテルで働きながら、仕事を覚える	
達成目標	ホテルでの仕事の基本が理解できるようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1	ホテル受け入れ研修
	2	配属先基礎研修
	3	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	4	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	5	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	6	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	7	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	8	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	9	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	10	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	11	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	12	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習１００％　実習先による評価シートの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	ホテルマーケティング
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ホテルマーケティングの概要及び方法・効果などの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	マーケティング活動、セールス活動の用語、ツール、戦略など基本知識の習得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 マーケティングとは 2 マーケティングの必要性 3 情報収集と分析の必要性 4 日本の経済成長（ＧＮＰ・ＧＤＰ） 5 国内・海外旅行客数の推移と時代背景 6 立地別ホテル数の変化と時代背景 7 交通機関別　旅行客の移動手段の変化 8 国内の旅行者数と外国からの旅行者数の変化 9 国内のホテル建設数と客室数の変化 10 予約の手段・予約方法の変化とその利用者数 11 ホテルの組織①：宿泊部門・料飲部門・宴会部門 12 ホテルの組織②：調理部門・セールス部門・企画部門 13 ホテルの組織③：広報広告宣伝部門・総務人事部門・施設管理部門 14 ホテルの組織④：仕入購買部門・財務経理部門 15 ホテルビジネスの収益構造 16 ２１世紀の日本のホテルビジネス 17 宿泊部門の使命と役割 18 宿泊部門の業務の流れ 19 フロントサービス部門の使命と役割① 20 フロントサービス部門の使命と役割② 21 ハウスキーピング部門の使命と役割① 22 ハウスキーピング部門の使命と役割② 23 フロントオフィス部門の使命と役割 24 ホテルの防災・防犯管理①：防災と防犯 25 ホテルの防災・防犯管理②：事故やトラブル・コンプレイン 26 ホテル業の課題 27 ホテル業を取り巻く環境の変化 28 業界研究と自己理解 29 研究発表① 30 研究発表②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	14
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理1 2 ワークシートやブックの作成と管理2 3 セルやセル範囲のデータの管理1 4 セルやセル範囲のデータの管理2 5 テーブルの作成1 6 テーブルの作成2 7 テーブルの作成3 8 関数を使用してのデータ集計1 9 関数を使用してのデータ集計2 10 関数を使用してのデータ集計3 11 関数を使用しての条件付き計算1 12 関数を使用しての条件付き計算2 13 関数を使用しての条件付き計算3 14 関数を使用した文字列の整形や変更1 15 関数を使用した文字列の整形や変更2 16 関数を使用した文字列の整形や変更3 17 グラフの作成1 18 グラフの作成2 19 グラフの作成3 20 グラフの書式設定1 21 グラフの書式設定2 22 グラフの書式設定3 23 グラフの書式設定4 24 グラフの書式設定5 25 オブジェクトの挿入や書式設定1 26 オブジェクトの挿入や書式設定2 27 オブジェクトの挿入や書式設定3 28 オブジェクトの挿入や書式設定4 29 オブジェクトの挿入や書式設定5 30 オブジェクトの挿入や書式設定6
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	15
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	MOS Exceleエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成1 4 テーブルの作成2 5 関数を使用してのデータ集計1 6 関数を使用してのデータ集計2 7 関数を使用しての条件付き計算1 8 関数を使用しての条件付き計算2 9 関数を使用しての条件付き計算3 10 関数を使用した文字列の整形や変更1 11 関数を使用した文字列の整形や変更2 12 グラフの作成1 13 グラフの作成2 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	16
授業科目	Word基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1　文章の作成1 2　文章の作成2 3　文章内の移動1 4　文章内の移動2 5　文章の書式設定1 6　文章の書式設定2 7　文章の書式設定3 8　文章の書式設定4 9　オプションの設定、表示のカスタマイズ1 10　オプションの設定、表示のカスタマイズ2 11　オプションの設定、表示のカスタマイズ3 12　オプションの設定、表示のカスタマイズ4 13　文章の印刷、保存1 14　文章の印刷、保存2 15　文章の印刷、保存3 16　文章の印刷、保存4 17　文字列・段落の挿入1 18　文字列・段落の挿入2 19　文字列・段落の挿入3 20　文字列・段落の挿入4 21　文字列・段落の書式設定1 22　文字列・段落の書式設定2 23　文字列・段落の書式設定3 24　文字列・段落の書式設定4 25　文字列・段落の書式設定5 26　文字列・段落の並び替え、グループ化1 27　文字列・段落の並び替え、グループ化2 28　文字列・段落の並び替え、グループ化3 29　文字列・段落の並び替え、グループ化4 30　文字列・段落の並び替え、グループ化5
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	17
授業科目	Word応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更1 3 表の変更2 4 リストの作成、変更1 5 リストの作成、変更2 6 参照のための情報・記号の作成、管理1 7 参照のための情報・記号の作成、管理2 8 標準の参考資料作成、管理1 9 標準の参考資料作成、管理2 10 グラフィック要素の挿入1 11 グラフィック要素の挿入2 12 グラフィック要素の書式設定1 13 グラフィック要素の書式設定2 14 SmartArtの挿入、書式設定1 15 SmartArtの挿入、書式設定2
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	18
授業科目	Power Point基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成1 2 プレゼンテーションの作成2 3 スライドの挿入、書式設定1 4 スライドの挿入、書式設定2 5 配布資料、ノートの変更1 6 配布資料、ノートの変更2 7 配布資料、ノートの変更3 8 スライドの並べ替え、グループ化1 9 スライドの並べ替え、グループ化2 10 スライドの並べ替え、グループ化3 11 オプションの変更1 12 オプションの変更2 13 オプションの変更3 14 スライドショーの設定、実行1 15 スライドショーの設定、実行2 16 スライドショーの設定、実行3 17 テキストの挿入、書式設定1 18 テキストの挿入、書式設定2 19 テキストの挿入、書式設定3 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定1 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定2 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定3 23 図の挿入、書式設定1 24 図の挿入、書式設定2 25 図の挿入、書式設定3 26 図の挿入、書式設定4 27 図形の並び替え、グループ化1 28 図形の並び替え、グループ化2 29 図形の並び替え、グループ化3 30 図形の並び替え、グループ化4
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	19
授業科目	Power Point応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定1 3 グラフの挿入、書式設定2 4 SmartArtの挿入、書式設定1 5 SmartArtの挿入、書式設定2 6 メディアの挿入、管理1 7 メディアの挿入、管理2 8 画面切り替えの設定1 9 画面切り替えの設定2 10 アニメーションの設定1 11 アニメーションの設定2 12 複数のコンテンツの結合1 13 複数のコンテンツの結合2 14 プレゼンテーションの保護、共有1 15 プレゼンテーションの保護、共有2
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	20
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション1 4 抽象テーマ型グループディスカッション2 5 抽象テーマ型グループディスカッション3 6 課題解決型グループディスカッション1 7 課題解決型グループディスカッション2 8 課題解決型グループディスカッション3 9 資料読み取り型グループディスカッション1 10 資料読み取り型グループディスカッション2 11 資料読み取り型グループディスカッション3 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型1 15 その他特殊型2
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	21
授業科目	パソコン実習Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理1 2 文書の作成と管理2 3 文書の作成と管理3 4 一般的なビジネス文書の作成1 5 一般的なビジネス文書の作成2 6 一般的なビジネス文書の作成3 7 シンプルなレポートや報告書の作成1 8 シンプルなレポートや報告書の作成2 9 シンプルなレポートや報告書の作成3 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）1 11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）2 12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）3 13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）4 14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）5 15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	22
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い1 2 学校と職場の違い2 3 学校と職場の違い3 4 職場のマナー1 5 職場のマナー2 6 職場のマナー3 7 仕事の進め方1 8 仕事の進め方2 9 仕事の進め方3 10 報告、連絡、相談1 11 報告、連絡、相談2 12 報告、連絡、相談3 13 挨拶1 14 挨拶2 15 挨拶3 16 笑顔、お辞儀1 17 笑顔、お辞儀2 18 笑顔、お辞儀3 19 敬語1 20 敬語2 21 敬語3 22 応対の基本1 23 応対の基本2 24 応対の基本3 25 電話応対1 26 電話応対2 27 電話応対3 28 効果測定1 29 効果測定2 30 効果測定3
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	23
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ1 7 接遇の流れ2 8 演習1 9 演習2 10 演習3 11 演習4 12 演習5 13 演習6 14 効果測定1 15 効果測定2
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	24
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語1 2 訓読み・送り仮名・熟語2 3 同音異義・異字同訓 4 誤字訂正、類義語・反対語 5 漢字の意味・使い方1 6 漢字の意味・使い方2 7 漢字の意味・使い方3 8 ことわざ・故事成語・慣用句 1 9 ことわざ・故事成語・慣用句 2 10 特殊な漢字の読み書き1 11 特殊な漢字の読み書き2 12 項目別模擬試験1 13 項目別模擬試験2 14 直前模擬試験1 15 直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	25
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習1 3 電卓実践演習2 4 電卓実践演習3 5 電卓実践演習4 6 電卓実践演習5 7 電卓実践演習6 8 電卓実践演習7 9 電卓実践演習8 10 電卓実践演習9 11 電卓実践演習10 12 電卓実践演習11 13 電卓実践演習12 14 電卓実践演習13 15 電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	26
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理1 2 文章の作成と管理2 3 文章の作成と管理3 4 表作成の基本操作1 5 表作成の基本操作2 6 表作成の基本操作3 7 表、画像、図形を使った文書の作成（2）1 8 表、画像、図形を使った文書の作成（2）2 9 表、画像、図形を使った文書の作成（2）3 10 見やすく使いやすい表にする編集操作1 11 見やすく使いやすい表にする編集操作2 12 見やすく使いやすい表にする編集操作3 13 見やすく使いやすい表にする編集操作4 14 見やすく使いやすい表にする編集操作5 15 見やすく使いやすい表にする編集操作6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	27
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　文書の作成と管理1 2　文書の作成と管理2 3　文書の作成と管理3 4　数式・関数を活用した集計表の作成1 5　数式・関数を活用した集計表の作成2 6　数式・関数を活用した集計表の作成3 7　ワークシート間の集計1 8　ワークシート間の集計2 9　ワークシート間の集計3 10　グラフの基本1 11　グラフの基本2 12　グラフの基本3 13　目的に応じたグラフの作成と編集1 14　目的に応じたグラフの作成と編集2 15　目的に応じたグラフの作成と編集3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	28
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理1 2 文書の作成と管理2 3 文書の作成と管理3 4 データベース機能の利用1 5 データベース機能の利用2 6 データベース機能の利用3 7 データの抽出1 8 データの抽出2 9 データの抽出3 10 ピボットテーブル1 11 ピボットテーブル2 12 ピボットテーブル3 13 マクロによる作業の自動化1 14 マクロによる作業の自動化2 15 マクロによる作業の自動化3
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	29
授業科目	会計ソフト実習
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 振替伝票の入力操作 2 入出金伝票の入力操作 3 仕訳帳の入力操作 4 売掛帳・買掛帳の入力操作 5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作 6 勘定科目の追加登録 7 付箋機能 8 決算手続きの操作1 9 決算手続きの操作2 10 決算手続きの操作3 11 決算手続きの操作4 12 決算書の作成1 13 決算書の作成2 14 決算書の作成3 15 翌期繰越処理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	30
授業科目	財務会計
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	外貨建会計1	31	消費税法6
	2	外貨建会計2	32	消費税法7
	3	外貨建会計3	33	消費税法8
	4	外貨建会計4	34	消費税法9
	5	リース取引1	35	消費税法10
	6	リース取引2	36	法人税法1
	7	リース取引3	37	法人税法2
	8	リース取引4	38	法人税法3
	9	キャッシュ・フロー計算書1	39	法人税法4
	10	キャッシュ・フロー計算書2	40	法人税法5
	11	キャッシュ・フロー計算書3	41	法人税法6
	12	キャッシュ・フロー計算書4	42	法人税法7
	13	キャッシュ・フロー計算書5	43	法人税法8
	14	キャッシュ・フロー計算書6	44	法人税法9
	15	税効果会計1	45	法人税法10
	16	税効果会計2		
	17	税効果会計3		
	18	税効果会計4		
	19	税効果会計5		
	20	税効果会計6		
	21	退職給付会計1		
	22	退職給付会計2		
	23	退職給付会計3		
	24	退職給付会計4		
	25	退職給付会計5		
	26	消費税法1		
	27	消費税法2		
	28	消費税法3		
	29	消費税法4		
	30	消費税法5		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	31
授業科目	販売仕入管理
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上1 3 納品書の作成と売上計上2 4 請求書の作成と代金回収管理1 5 請求書の作成と代金回収管理2 6 請求書の作成と代金回収管理3 7 複数の得意先との取引1 8 複数の得意先との取引2 9 複数の得意先との取引3 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳1 12 仕入管理の記帳2 13 仕入代金の支払いと買掛金管理1 14 仕入代金の支払いと買掛金管理2 15 仕入代金の支払いと買掛金管理3
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	32
授業科目	時事
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識1 2 用語知識2 3 用語知識3 4 用語知識4 5 考え方1 6 考え方2 7 考え方3 8 考え方4 9 発表1 10 発表2 11 発表3 12 個人研究1 13 個人研究2 14 個人研究3 15 個人研究4
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	33
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画1 4 企画2 5 企画3 6 情報収集1 7 情報収集2 8 情報収集3 9 シナリオ作成1 10 シナリオ作成2 11 シナリオ作成3 12 コンテンツ作成1 13 コンテンツ作成2 14 話し方 15 発表
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	34
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	業界分析1	46	調査・検証2
2	業界分析2	47	調査・検証3
3	業界分析3	48	調査・検証4
4	業界分析4	49	調査・検証5
5	情報収集1	50	調査・検証6
6	情報収集2	51	調査・検証7
7	情報収集3	52	調査・検証8
8	情報収集4	53	調査・検証9
9	情報収集5	54	調査・検証10
10	情報収集6	55	企画案作成1
11	情報収集7	56	企画案作成2
12	情報収集8	57	企画案作成3
13	店舗分析1	58	企画案作成4
14	店舗分析2	59	企画案作成5
15	店舗分析3	60	企画案作成6
16	店舗分析4	61	企画案作成7
17	店舗分析5	62	企画案作成8
18	店舗分析6	63	企画案作成9
19	店舗分析7	64	企画案作成10
20	店舗分析8	65	中間発表1
21	店舗見学1	66	中間発表2
22	店舗見学2	67	中間発表3
23	店舗見学3	68	中間発表4
24	店舗見学4	69	中間発表5
25	店舗見学5	70	再検証1
26	店舗見学6	71	再検証2
27	店舗見学7	72	再検証3
28	店舗見学8	73	再検証4
29	課題抽出1	74	再検証5
30	課題抽出2	75	再検証6
31	課題抽出3	76	再検証7
32	課題抽出4	77	再検証8
33	課題抽出5	78	再検証9
34	課題抽出6	79	再検証10
35	課題抽出7	80	最終発表1
36	課題抽出8	81	最終発表2
37	仮説1	82	最終発表3
38	仮説2	83	最終発表4
39	仮説3	84	最終発表5
40	仮説4	85	代表によるコンテストの実施1
41	仮説5	86	代表によるコンテストの実施2
42	仮説6	87	代表によるコンテストの実施3
43	仮説7	88	代表によるコンテストの実施4
44	仮説8	89	代表によるコンテストの実施5
45	調査・検証1	90	代表によるコンテストの実施6

成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	35
授業科目	実務会計基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	売掛債権管理1	31	月次業務管理3
2	売掛債権管理2	32	月次業務管理4
3	売掛債権管理3	33	税効果計算業務1
4	売掛債権管理4	34	税効果計算業務2
5	買掛債務管理1	35	税効果計算業務3
6	買掛債務管理2	36	税効果計算業務4
7	買掛債務管理3	37	税効果計算業務5
8	買掛債務管理4	38	税効果計算業務6
9	在庫管理1	39	税効果計算業務7
10	在庫管理2	40	消費税申告業務1
11	在庫管理3	41	消費税申告業務2
12	在庫管理4	42	消費税申告業務3
13	固定資産1	43	消費税申告業務4
14	固定資産2	44	消費税申告業務5
15	固定資産3	45	消費税申告業務6
16	固定資産4	46	消費税申告業務7
17	ソフトウェア管理1	47	法人税申告業務1
18	ソフトウェア管理2	48	法人税申告業務2
19	ソフトウェア管理3	49	法人税申告業務3
20	ソフトウェア管理4	50	法人税申告業務4
21	原価管理1	51	法人税申告業務5
22	原価管理2	52	法人税申告業務6
23	原価管理3	53	法人税申告業務7
24	原価管理4	54	税務調査対応1
25	経費管理1	55	税務調査対応2
26	経費管理2	56	税務調査対応3
27	経費管理3	57	税務調査対応4
28	経費管理4	58	税務調査対応5
29	月次業務管理1	59	税務調査対応6
30	月次業務管理2	60	税務調査対応7

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	36
授業科目	実務会計応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	決算書の構図を理解し、経営活動との関係性を学習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 現金出納帳管理 2 手形・小切手管理 3 有価証券管理 4 財務保証管理 5 貸付金業務 6 借入金業務 7 社債管理 8 デリバティブ取引管理 9 外貨建取引管理 10 資金管理 11 単年決算業務 12 連結決算管理 13 中長期軽々管理 14 年次予算管理1 15 年次予算管理2
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	37
授業科目	VBA基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	Excelの操作に関する実践的な知識を身に付ける学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	Excelの実践的な関数、マクロ・VBAの基礎知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 関数を使用してのデータ検索1 2 関数を使用してのデータ検索2 3 日付と時刻の関数を適用 4 マクロとVBA1 5 マクロとVBA2 6 マクロとVBA3 7 マクロの基本操作1 8 マクロの基本操作2 9 マクロの基本操作3 10 マクロ記録の活用1 11 マクロ記録の活用2 12 マクロ記録の活用3 13 オブジェクト操作1 14 オブジェクト操作2 15 オブジェクト操作3 16 セル操作1 17 セル操作2 18 セル操作3 19 VBAの基本構文1 20 VBAの基本構文2 21 VBAの基本構文3 22 VBAの基本構文4 23 VBAの基本構文5 24 VBA関数1 25 VBA関数2 26 VBA関数3 27 VBA関数4 28 VBA関数5 29 VBA関数6 30 VBA関数7
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	38
授業科目	ネットビジネス基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ビジネスショップのビジネス環境1 2 ビジネスショップのビジネス環境2 3 ビジネスショップのビジネス環境3 4 ビジネスショップのビジネス環境4 5 ビジネスショップのビジネス環境5 6 小売業の分類と特徴1 7 小売業の分類と特徴2 8 小売業の分類と特徴3 9 小売業の分類と特徴4 10 小売業の分類と特徴5 11 ネットショップの位置づけ1 12 ネットショップの位置づけ2 13 ネットショップの位置づけ3 14 ネットショップの位置づけ4 15 ネットショップの位置づけ5 16 ネットショップの動向1 17 ネットショップの動向2 18 ネットショップの動向3 19 ネットショップの動向4 20 ネットショップの動向5 21 ネットショップの出店形態と特徴1 22 ネットショップの出店形態と特徴2 23 ネットショップの出店形態と特徴3 24 ネットショップの出店形態と特徴4 25 ネットショップの出店形態と特徴5 26 ネットショップ事務の共通知識1 27 ネットショップ事務の共通知識2 28 ネットショップ事務の共通知識3 29 ネットショップ事務の共通知識4 30 ネットショップ事務の共通知識5
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	39
授業科目	ネットビジネス応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	ネットショップ検定（レベル1）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ネットショップ事業の準備1 2 ネットショップ事業の準備2 3 ネットショップ事業の準備3 4 ネットショップの製作1 5 ネットショップの製作2 6 ネットショップの製作3 7 ネットショップの製作4 8 ネットショップのプロモーション1 9 ネットショップのプロモーション2 10 ネットショップのプロモーション3 11 ネットショップのプロモーション4 12 ネットショップの運用1 13 ネットショップの運用2 14 ネットショップの運用3 15 ネットショップの運用4 16 社会人としての基礎知識1 17 社会人としての基礎知識2 18 社会人としての基礎知識3 19 社会人としての基礎知識4 20 問題演習1 21 問題演習2 22 問題演習3 23 問題演習4 24 総合演習1 25 総合演習2 26 総合演習3 27 総合演習4 28 検定対策1 29 検定対策2 30 検定対策3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	40
授業科目	IT基礎知識Ｖ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する
教科書	答案作成練習問題
特記	
授業計画	1　総合答案練習問題　1 2　総合答案練習問題　1 3　総合答案練習問題　1 4　総合答案練習問題　2 5　総合答案練習問題　2 6　総合答案練習問題　2 7　総合答案練習問題　3 8　総合答案練習問題　3 9　総合答案練習問題　3 10　総合答案練習問題　4 11　総合答案練習問題　4 12　総合答案練習問題　4 13　総合答案練習問題　5 14　総合答案練習問題　5 15　総合答案練習問題　5 16　総合答案練習問題　6 17　総合答案練習問題　6 18　総合答案練習問題　6 19　総合答案練習問題検証 20　総合答案練習問題検証 21　総合答案練習問題検証 22　直前答案練習問題　1 23　直前答案練習問題　1 24　直前答案練習問題　1 25　直前答案練習問題　2 26　直前答案練習問題　2 27　直前答案練習問題　2 28　直前答案練習問題検証 29　直前答案練習問題検証 30　直前答案練習問題検証
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	41
授業科目	Java
実務家教員授業	授業担当者：谷口　幸正
	実務経験：ＩＴ企業でSE・PG職として勤務 授業との関連性：プログラミングの実務能力を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門、Java8問題集
特記	

授業計画

1	Javaの特徴	31	抽象クラス
2	変数	32	抽象クラス
3	制御構文・分岐、if文	33	インタフェース
4	制御構文・分岐、if文	34	インタフェース
5	制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子	35	実習
6	制御構文・繰り返し do-while文	36	文字と文字列
7	制御構文・繰り返し while文	37	文字と文字列
8	制御構文・繰り返し for文	38	例外処理
9	制御構文・繰り返し	39	例外処理
10	基本型と演算	40	効果測定
11	配列	41	総合実習　基礎
12	配列	42	総合実習　基礎
13	配列	43	総合実習　基本的なプログラムの構造
14	実習	44	総合実習　コンピュータで扱うデータ表現
15	効果測定	45	総合実習　変数／定数と型
16	メソッド	46	総合実習　演算と演算子
17	メソッド	47	総合実習　配列の宣言・生成
18	メソッド	48	総合実習　配列の宣言・生成
19	クラスの基本	49	総合実習　制御文
20	クラスの基本	50	総合実習　制御文
21	日付クラスの作成	51	総合実習　クラスとオブジェクト
22	日付クラスの作成	52	総合実習　クラスとオブジェクト
23	クラス変数とクラスメソッド	53	総合実習　クラスの関係
24	クラス変数とクラスメソッド	54	総合実習　クラスの関係
25	クラス変数とクラスメソッド	55	総合実習　クラスの継承
26	パッケージ	56	総合実習　クラスの継承
27	クラスの派生と多相性	57	総合実習　例外処理
28	クラスの派生と多相性	58	総合実習　例外処理
29	クラスの派生と多相性	59	総合実習
30	効果測定	60	効果測定

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	42
授業科目	PHP
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる
教科書	詳細！PHP7＋MySQL 入門ノート
特記	

授業計画				
	1	PHPの概要と準備	31	ファイルの読み込みと書き出し
	2	変数	32	ファイルの読み込みと書き出し
	3	演算子	33	phpMyAdminの使い方
	4	制御構造・分岐文	34	phpMyAdminの使い方
	5	制御構造・繰り返し文	35	MySQLの操作
	6	関数	36	MySQLの操作
	7	関数	37	MySQLの操作
	8	文字列操作	38	MySQLの操作
	9	文字列操作	39	総合実習
	10	文字列操作	40	総合実習
	11	配列	41	総合実習
	12	配列	42	総合実習
	13	配列	43	総合実習
	14	効果測定	44	総合実習
	15	オブジェクト指向プログラミング	45	効果測定
	16	オブジェクト指向プログラミング		
	17	オブジェクト指向プログラミング		
	18	オブジェクト指向プログラミング		
	19	フォーム処理の基本		
	20	フォーム処理の基本		
	21	フォーム処理の基本		
	22	各種フォームの使用		
	23	各種フォームの使用		
	24	各種フォームの使用		
	25	各種フォームの使用		
	26	セッションとクッキー		
	27	セッションとクッキー		
	28	セッションとクッキー		
	29	効果測定		
	30	ファイルの読み込みと書き出し		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	43
授業科目	フロントエンドフレームワーク
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門
特記	

授業計画			
1	Vue.jsの概要	31	アニメーションの表示
2	Vue.jsのインストール	32	アニメーションの表示
3	データの表示	33	実習
4	属性の指定	34	Vue.jsでのToDoリスト
5	実習	35	Vue.jsでのToDoリスト
6	ユーザの入力	36	実習
7	ユーザの入力	37	部品にまとめる：コンポーネント
8	ユーザの入力	38	部品にまとめる：コンポーネント
9	ユーザの入力	39	部品にまとめる：コンポーネント
10	実習	40	部品にまとめる：コンポーネント
11	ユーザの操作	41	実習
12	ユーザの操作	42	JSONデータの表示
13	ユーザの操作	43	JSONデータの表示
14	実習	44	JSONデータの表示
15	効果測定	45	効果測定
16	条件と繰り返し		
17	条件と繰り返し		
18	条件と繰り返し		
19	条件と繰り返し		
20	実習		
21	Google Chartsとの連動		
22	データの変化の監視		
23	データの変化の監視		
24	実習		
25	データの変化の監視		
26	データの変化の監視		
27	実習		
28	Markdownエディタ		
29	総合実習		
30	効果測定		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	44
授業科目	サーバサイドフレームワーク
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	Laravelを使用したサーバサイドアプリケーションの作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる
教科書	PHPフレームワークLaravel入門
特記	

授業計画				
	1	Laravelの概要と準備	31	Restfulサービス
	2	ルーティングとコントローラ	32	Restfulサービス
	3	ルーティングとコントローラ	33	効果測定
	4	ルーティングとコントローラ	34	サーバサイドアプリ構築実習
	5	実習	35	サーバサイドアプリ構築実習
	6	ビューとテンプレート	36	サーバサイドアプリ構築実習
	7	ビューとテンプレート	37	サーバサイドアプリ構築実習
	8	ビューとテンプレート	38	サーバサイドアプリ構築実習
	9	ビューとテンプレート	39	サーバサイドアプリ構築実習
	10	実習	40	サーバサイドアプリ構築実習
	11	リクエスト・レスポンスの補完	41	サーバサイドアプリ構築実習
	12	リクエスト・レスポンスの補完	42	サーバサイドアプリ構築実習
	13	リクエスト・レスポンスの補完	43	サーバサイドアプリ構築実習
	14	リクエスト・レスポンスの補完	44	サーバサイドアプリ構築実習
	15	リクエスト・レスポンスの補完	45	効果測定
	16	効果測定		
	17	データベースの利用		
	18	データベースの利用		
	19	データベースの利用		
	20	データベースの利用		
	21	実習		
	22	Eloquent ORM		
	23	Eloquent ORM		
	24	Eloquent ORM		
	25	Eloquent ORM		
	26	Eloquent ORM		
	27	実習		
	28	Restfulサービス		
	29	Restfulサービス		
	30	Restfulサービス		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	45
授業科目	クラウドコンピューティング
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装ができる
教科書	AWS Academyテキスト
特記	

授業計画

1	オンプレミス環境の構築 基礎	31	Auto Scaling
2	オンプレミス環境の構築 基礎	32	負荷分散とScalingの実装
3	オンプレミス環境の構築 基礎	33	負荷分散とScalingの実装
4	オンプレミス環境の構築 応用	34	クラウドのセキュリティ
5	オンプレミス環境の構築 応用	35	IAMロールとポリシー
6	オンプレミス環境の構築 応用	36	ベストプラクティスとコンプライアンス
7	オンプレミスとクラウドの比較	37	AWSセキュリティ実装
8	クラウドコンピューティングの概要	38	AWSセキュリティ実装
9	クラウドエコノミクス	39	クラウドアーキテクチャの設計
10	AWSインフラストラクチャと主要なサービス	40	クラウドアーキテクチャの設計
11	コンピューティングサービス	41	クラウドの請求とサポートサービス
12	Amazon EC2 コンピューティング実習	42	総合実習
13	ストレージサービス:EBS	43	総合実習
14	EBS ストレージ構築・活用実習	44	総合実習
15	ストレージサービス:Amazon S3	45	効果測定
16	Amazon S3 ストレージ構築・活用実習		
17	ストレージサービス: EFS・Glacier概要		
18	AWS VPC概要		
19	AWS セキュリティグループ		
20	VPC+Webサーバ構築実習		
21	AWS Cloud Front概要		
22	Amazon RDS		
23	RDS環境構築実習		
24	Amazon DynamoDB		
25	DynamoDB環境構築実習		
26	Redshift/Aurora 概要		
27	高可用性DB 構築実習		
28	高可用性DB 構築実習		
29	Elastic Load Balancing (ELB)		
30	Amazon CloudWatch		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	46
授業科目	クラウドネイティブ開発
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	AWS Lambdaを使用したクラウドネイティブシステムの基礎を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	AWS Lambdaを通じてクラウドネイティブシステム構築の基礎を理解する
教科書	AWS Lambda実践ガイド
特記	
授業計画	1 Lambda で実現するサーバーレスシステム 2 サンプル用 Lambda 関数の仕様 3 Lambda の利用に必要なアクセス権 4 Lambda 関数の作成 5 Lambda 関数の実行 6 実習 7 実習 8 実習 9 イベントの発生とLambda 関数 10 Lambda コンテナ 11 Lambda 関数の実行 12 Lambda 関数を呼び出すイベントソース 13 定期的に Lambda 関数を実行する例 14 実習 15 実習 16 実習 17 S3 のイベント事例 18 S3 バケットの作成 19 バケットに対するイベント 20 ライブラリ込みの Lambda 関数の作成 21 実習 22 実習 23 実習 24 効果測定 25 API Gateway のイベント事例 26 API Gateway と Lambda 関数の組合せ 27 API Gateway から実行される Lambda 関数 28 DynamoDB の基本 29 Lambda 関数でのDynamoDBアクセス 30 署名付きURLの発行 31 メールの送信 32 クロスオリジンの注意点 33 実習 34 実習 35 実習 36 実習 37 SQS と SNS トピックのイベント事例 38 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理 39 S3 バケットとSQS の構成 40 SQS からメッセージを取り出してメール送信 41 バウンスメールの処理 42 総合実習 43 総合実習 44 総合実習 45 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	47
授業科目	AI基礎プログラミング
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	Pythonによる最低限のライブラリで実装するAIシステムについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	深層学習システムに必須な基本的な技術の実装に対応できる
教科書	PythonによるAIプログラミング入門
特記	

授業計画

1	人工知能の概要	31	音声認識
2	教師あり学習を用いた分類と回帰	32	音声認識
3	教師あり学習を用いた分類と回帰	33	物体検出と追跡
4	教師あり学習を用いた分類と回帰	34	物体検出と追跡
5	アンサンブル学習を用いた予測分析	35	物体検出と追跡
6	アンサンブル学習を用いた予測分析	36	人工ニューラルネットワーク
7	教師なし学習を用いたパターン検出	37	人工ニューラルネットワーク
8	教師なし学習を用いたパターン検出	38	人工ニューラルネットワーク
9	教師なし学習を用いたパターン検出	39	強化学習
10	推薦エンジンを作る	40	強化学習
11	推薦エンジンを作る	41	強化学習
12	論理プログラミング	42	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング
13	論理プログラミング	43	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング
14	ヒューリスティック探索	44	畳み込みニューラルネットを用いたディープラーニング
15	ヒューリスティック探索	45	効果測定
16	ヒューリスティック探索		
17	遺伝的アルゴリズム		
18	遺伝的アルゴリズム		
19	遺伝的アルゴリズム		
20	人工知能を使ったゲーム		
21	人工知能を使ったゲーム		
22	人工知能を使ったゲーム		
23	効果測定		
24	自然言語処理		
25	自然言語処理		
26	自然言語処理		
27	連続データの確率的推論		
28	連続データの確率的推論		
29	連続データの確率的推論		
30	音声認識		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容			
科目番号	48			
授業科目	卒業研究開発Ⅳ			
実務家教員授業	―			
	―			
学部・学科	経理本科２年制学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	１２０単位時間（４単位）			
授業コマ数	６０回			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成を進める			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	ソースコードの作成（最終目標の50%まで）			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	プログラミング(開発)	31	プログラミング(開発)
	2	プログラミング(開発)	32	プログラミング(開発)
	3	プログラミング(開発)	33	プログラミング(開発)
	4	プログラミング(開発)	34	プログラミング(開発)
	5	プログラミング(開発)	35	プログラミング(開発)
	6	プログラミング(開発)	36	プログラミング(開発)
	7	プログラミング(開発)	37	プログラミング(開発)
	8	プログラミング(開発)	38	プログラミング(開発)
	9	プログラミング(開発)	39	プログラミング(開発)
	10	プログラミング(開発)	40	プログラミング(開発)
	11	プログラミング(開発)	41	プログラミング(開発)
	12	プログラミング(開発)	42	プログラミング(開発)
	13	プログラミング(開発)	43	プログラミング(開発)
	14	プログラミング(開発)	44	プログラミング(開発)
	15	プログラミング(開発)	45	プログラミング(開発)
	16	プログラミング(開発)	46	プログラミング(開発)
	17	プログラミング(開発)	47	プログラミング(開発)
	18	プログラミング(開発)	48	プログラミング(開発)
	19	プログラミング(開発)	49	プログラミング(開発)
	20	プログラミング(開発)	50	プログラミング(開発)
	21	プログラミング(開発)	51	プログラミング(開発)
	22	プログラミング(開発)	52	プログラミング(開発)
	23	プログラミング(開発)	53	プログラミング(開発)
	24	プログラミング(開発)	54	プログラミング(開発)
	25	プログラミング(開発)	55	プログラミング(開発)
	26	プログラミング(開発)	56	プログラミング(開発)
	27	プログラミング(開発)	57	プログラミング(開発)
	28	プログラミング(開発)	58	プログラミング(開発)
	29	プログラミング(開発)	59	プログラミング(開発)
	30	プログラミング(開発)	60	プログラミング(開発)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100%　有識者による講評で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	49
授業科目	卒業研究開発Ｖ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１２０単位時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	システム開発におけるソースコードを完成させてテストを実践する
授業の進め方	有識者の指導による実習
達成目標	ソースコードの完成およびテストの実践
教科書	なし
特記	

授業計画

1	卒業研究発表会(校内大会)準備	31	設計駆動テストの理論
2	卒業研究発表会(校内大会)準備	32	設計駆動テストの実践
3	卒業研究発表会(校内大会)準備	33	テストの実践
4	卒業研究発表会(校内大会)準備	34	テストの実践
5	卒業研究発表会(校内大会)準備	35	テストの実践
6	プログラミング(開発)	36	テストの実践
7	プログラミング(開発)	37	テストの実践
8	プログラミング(開発)	38	テストの実践
9	プログラミング(開発)	39	テストの実践
10	プログラミング(開発)	40	テストの実践
11	プログラミング(開発)	41	テストの実践
12	プログラミング(開発)	42	テストの実践
13	プログラミング(開発)	43	テストの実践
14	プログラミング(開発)	44	テストの実践
15	プログラミング(開発)	45	テストの実践
16	プログラミング(開発)	46	テストの実践
17	プログラミング(開発)	47	テストの実践
18	プログラミング(開発)	48	テストの実践
19	プログラミング(開発)	49	テストの実践
20	プログラミング(開発)	50	テストの実践
21	プログラミング(開発)	51	テストの実践
22	プログラミング(開発)	52	プレゼンテーション資料作成
23	プログラミング(開発)	53	プレゼンテーション資料作成
24	プログラミング(開発)	54	プレゼンテーション資料作成
25	プログラミング(開発)	55	プレゼンテーション資料作成
26	プログラミング(開発)	56	プレゼンテーション資料作成
27	プログラミング(開発)	57	プレゼンテーション資料作成
28	プログラミング(開発)	58	プログラミングコンテスト(九州圏大会)準備
29	プログラミング(開発)	59	プログラミングコンテスト(九州圏大会)準備
30	プログラミング(開発)	60	卒業研究振り返り

成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100%　有識者による講評で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	50
授業科目	簿記論応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　本支店会計Ⅰ1（入門編） 2　本支店会計Ⅰ2（入門編） 3　本支店会計Ⅰ3（入門編） 4　本支店会計Ⅰ4（入門編） 5　本支店会計Ⅰ5（入門編） 6　本支店会計Ⅰ6（入門編） 7　組織再編会計Ⅰ1（入門編） 8　組織再編会計Ⅰ2（入門編） 9　組織再編会計Ⅰ3（入門編） 10　組織再編会計Ⅰ4（入門編） 11　建設業会計Ⅰ1（入門編） 12　建設業会計Ⅰ2（入門編） 13　連結会計Ⅰ1（入門編） 14　連結会計Ⅰ2（入門編） 15　連結会計Ⅰ3（入門編） 16　連結会計Ⅰ4（入門編） 17　製造業会計Ⅰ1（入門編） 18　製造業会計Ⅰ2（入門編） 19　製造業会計Ⅰ3（入門編） 20　製造業会計Ⅰ4（入門編） 21　キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1（入門編） 22　キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2（入門編） 23　キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3（入門編） 24　キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4（入門編） 25　繰延資産Ⅰ1（入門編） 26　繰延資産Ⅰ2（入門編） 27　圧縮記帳Ⅰ1（入門編） 28　圧縮記帳Ⅰ2（入門編） 29　ストック・オプションⅠ（入門編） 30　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	51
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　金利スワップ1（入門） 2　金利スワップ2（入門） 3　金利スワップ3（入門） 4　金利スワップ4（入門） 5　金利スワップ5（入門） 6　資産及び負債の貸借対照表能力1（入門） 7　資産及び負債の貸借対照表能力2（入門） 8　資産及び負債の貸借対照表能力3（入門） 9　資産及び負債の貸借対照表能力4（入門） 10　資産及び負債の貸借対照表能力5（入門） 11　投資のリスクからの解放1（入門） 12　投資のリスクからの解放2（入門） 13　投資のリスクからの解放3（入門） 14　投資のリスクからの解放4（入門） 15　投資のリスクからの解放5（入門） 16　配分と評価1（入門） 17　配分と評価2（入門） 18　配分と評価3（入門） 19　配分と評価4（入門） 20　配分と評価5（入門） 21　収益認識1（入門） 22　収益認識2（入門） 23　収益認識3（入門） 24　収益認識4（入門） 25　収益認識5（入門） 26　組織再1（入門） 27　組織再2（入門） 28　組織再3（入門） 29　組織再4（入門） 30　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	52
授業科目	消費税法応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　軽減税率1（入門編） 2　軽減税率2（入門編） 3　軽減税率3（入門編） 4　軽減税率4（入門編） 5　軽減税率5（入門編） 6　軽減税率6（入門編） 7　旧税率に関する経過措置1（入門編） 8　旧税率に関する経過措置2（入門編） 9　旧税率に関する経過措置3（入門編） 10　旧税率に関する経過措置4（入門編） 11　旧税率に関する経過措置5（入門編） 12　旧税率に関する経過措置6（入門編） 13　複数税率の場合の計算1（入門編） 14　複数税率の場合の計算2（入門編） 15　複数税率の場合の計算3（入門編） 16　複数税率の場合の計算4（入門編） 17　複数税率の場合の計算5（入門編） 18　複数税率の場合の計算6（入門編） 19　国等に対する特例1（入門編） 20　国等に対する特例2（入門編） 21　国等に対する特例3（入門編） 22　国等に対する特例4（入門編） 23　国等に対する特例5（入門編） 24　国等に対する特例6（入門編） 25　国等に対する特例7（入門編） 26　国等に対する特例8（入門編） 27　特殊項目1（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編） 28　特殊項目2（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編） 29　特殊項目3（税抜経理方式）（入門編） 30　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	53
授業科目	相続税法応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎） 2　未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎） 3　相次相続控除（基礎） 4　増改築等があった場合（基礎） 5　結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 6　確認テスト1(理論) 7　無道路地（基礎） 8　定期借地権等（基礎） 9　定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎） 10　土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎） 11　造成費相当額の算定（平坦地）（基礎） 12　公社債（基礎） 13　雇用主が保険料を負担している場合（基礎） 14　保険金の評価（基礎） 15　確認テスト2(理論) 16　定期金に関する権利（基礎） 17　保証期間付定期金に関する権利（基礎） 18　契約に基づかない定期金に関する権利（基礎） 19　財産の所在（基礎） 20　贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎） 21　相続税の外国税額控除（基礎） 22　贈与税の外国税額控除（基礎） 23　確認テスト3(理論) 24　養子の子の応用的な取扱い（基礎） 25　農地等の相続税の納税猶予（基礎） 26　非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎） 27　非上場株式の相続税の納税猶予（基礎） 28　個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎） 29　個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎） 30　確認テスト4(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　4回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	54
授業科目	法人税法応用Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　連結納税制度1（初級） 2　連結納税制度2（初級） 3　連結納税制度3（初級） 4　連結納税制度4（初級） 5　連結納税制度5（初級） 6　連結納税制度6（初級） 7　連結納税制度7（初級） 8　連結納税制度8（初級） 9　連結納税制度9（初級） 10　連結納税制度10（初級） 11　連結納税制度11（初級） 12　連結納税制度12（初級） 13　連結納税制度13（初級） 14　連結納税制度14（初級） 15　連結納税制度15（初級） 16　連結納税制度16（初級） 17　連結納税制度17（初級） 18　連結納税制度18（初級） 19　連結納税制度19（初級） 20　連結納税制度20（初級） 21　試験研究費の特別控除1（初級） 22　試験研究費の特別控除2（初級） 23　試験研究費の特別控除3（初級） 24　試験研究費の特別控除4（初級） 25　資産除去債務1（初級） 26　資産除去債務2（初級） 27　資産除去債務3（初級） 28　解散税制1（初級） 29　解散税制2（初級） 30　確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	55
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金Ⅱ1（入門編）	46	項目別答練2（入門編）
2	債権債務Ⅱ1（入門編）	47	項目別答練3（入門編）
3	商品売買Ⅱ1（入門編）	48	項目別答練4（入門編）
4	商品売買Ⅱ2（入門編）	49	項目別答練5（入門編）
5	商品売買Ⅱ3（入門編）	50	項目別答練6（入門編）
6	固定資産Ⅱ1（入門編）	51	基礎答練1（入門編）
7	固定資産Ⅱ2（入門編）	52	基礎答練2（入門編）
8	固定資産Ⅱ3（入門編）	53	基礎答練3（入門編）
9	退職給付会計Ⅱ1（入門編）	54	基礎答練4（入門編）
10	退職給付会計Ⅱ2（入門編）	55	基礎答練5（入門編）
11	退職給付会計Ⅱ3（入門編）	56	基礎答練6（入門編）
12	債権債務Ⅱ1（入門編）	57	基礎答練7（入門編）
13	債権債務Ⅱ2（入門編）	58	基礎答練8（入門編）
14	税金Ⅱ1（入門編）	59	基礎答練9（入門編）
15	社債Ⅱ1（入門編）	60	基礎答練10（入門編）
16	社債Ⅱ2（入門編）	61	応用答練1（入門編）
17	社債Ⅱ3（入門編）	62	応用答練2（入門編）
18	純資産会計Ⅱ1（入門編）	63	応用答練3（入門編）
19	純資産会計Ⅱ2（入門編）	64	応用答練4（入門編）
20	純資産会計Ⅱ3（入門編）	65	応用答練5（入門編）
21	有価証券Ⅱ1（入門編）	66	応用答練6（入門編）
22	有価証券Ⅱ2（入門編）	67	応用答練7（入門編）
23	有価証券Ⅱ3（入門編）	68	応用答練8（入門編）
24	外貨建会計Ⅱ1（入門編）	69	応用答練9（入門編）
25	外貨建会計Ⅱ2（入門編）	70	応用答練10（入門編）
26	リース会計Ⅱ1（入門編）	71	過去問演習1（入門編）
27	リース会計Ⅱ2（入門編）	72	過去問演習2（入門編）
28	試用販売Ⅱ1（入門編）	73	過去問演習3（入門編）
29	試用販売Ⅱ2（入門編）	74	過去問演習4（入門編）
30	割賦販売Ⅱ1（入門編）	75	過去問演習5（入門編）
31	割賦販売Ⅱ2（入門編）	76	過去問演習6（入門編）
32	割賦販売Ⅱ3（入門編）	77	過去問演習7（入門編）
33	未着品販売Ⅱ1（入門編）	78	過去問演習8（入門編）
34	未着品販売Ⅱ2（入門編）	79	過去問演習9（入門編）
35	委託販売・受託販売Ⅱ1（入門編）	80	過去問演習10（入門編）
36	委託販売・受託販売Ⅱ2（入門編）	81	問題演習実践1（入門編）
37	本支店会計Ⅱ1（入門編）	82	問題演習実践2（入門編）
38	本支店会計Ⅱ2（入門編）	83	問題演習実践3（入門編）
39	組織再編会計Ⅱ1（入門編）	84	問題演習実践4（入門編）
40	組織再編会計Ⅱ2（入門編）	85	問題演習実践5（入門編）
41	連結会計Ⅱ1（入門編）	86	問題演習実践6（入門編）
42	連結会計Ⅱ2（入門編）	87	問題演習実践7（入門編）
43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1（入門編）	88	問題演習実践8（入門編）
44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2（入門編）	89	問題演習実践9（入門編）
45	項目別答練1（入門編）	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	56
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	財務諸表論総まとめ1（入門）	46	総合問題対策3（入門）
2	財務諸表論総まとめ1（入門）	47	総合問題対策4（入門）
3	財務諸表論総まとめ2（入門）	48	総合問題対策4（入門）
4	財務諸表論総まとめ2（入門）	49	総合問題対策5（入門）
5	財務諸表論総まとめ3（入門）	50	総合問題対策5（入門）
6	財務諸表論総まとめ3（入門）	51	総合問題対策6（入門）
7	財務諸表論総まとめ4（入門）	52	総合問題対策6（入門）
8	財務諸表論総まとめ4（入門）	53	総合問題対策7（入門）
9	財務諸表論総まとめ5（入門）	54	総合問題対策7（入門）
10	財務諸表論総まとめ5（入門）	55	総合問題対策8（入門）
11	財務諸表論総まとめ6（入門）	56	総合問題対策8（入門）
12	財務諸表論総まとめ6（入門）	57	総合問題対策9（入門）
13	財務諸表論総まとめ7（入門）	58	総合問題対策9（入門）
14	財務諸表論総まとめ7（入門）	59	総合問題対策10（入門）
15	財務諸表論総まとめ8（入門）	60	総合問題対策10（入門）
16	財務諸表論総まとめ8（入門）	61	総合問題対策11（入門）
17	財務諸表論総まとめ9（入門）	62	総合問題対策11（入門）
18	財務諸表論総まとめ9（入門）	63	総合問題対策12（入門）
19	財務諸表論総まとめ10（入門）	64	総合問題対策12（入門）
20	財務諸表論総まとめ10（入門）	65	総合問題対策13（入門）
21	財務諸表論総まとめ11（入門）	66	総合問題対策13（入門）
22	財務諸表論総まとめ11（入門）	67	総合問題対策14（入門）
23	財務諸表論総まとめ12（入門）	68	総合問題対策14（入門）
24	財務諸表論総まとめ12（入門）	69	総合問題対策15（入門）
25	財務諸表論総まとめ13（入門）	70	総合問題対策15（入門）
26	財務諸表論総まとめ13（入門）	71	総合問題対策16（入門）
27	財務諸表論総まとめ14（入門）	72	総合問題対策16（入門）
28	財務諸表論総まとめ14（入門）	73	総合問題対策17（入門）
29	財務諸表論総まとめ15（入門）	74	総合問題対策17（入門）
30	財務諸表論総まとめ15（入門）	75	総合問題対策18（入門）
31	財務諸表論総まとめ16（入門）	76	総合問題対策18（入門）
32	財務諸表論総まとめ16（入門）	77	総合問題対策19（入門）
33	財務諸表論総まとめ17（入門）	78	総合問題対策19（入門）
34	財務諸表論総まとめ17（入門）	79	総合問題対策20（入門）
35	財務諸表論総まとめ18（入門）	80	総合問題対策20（入門）
36	財務諸表論総まとめ18（入門）	81	総合問題対策21（入門）
37	財務諸表論総まとめ19（入門）	82	総合問題対策21（入門）
38	財務諸表論総まとめ19（入門）	83	総合問題対策22（入門）
39	財務諸表論総まとめ20（入門）	84	総合問題対策22（入門）
40	財務諸表論総まとめ20（入門）	85	総合問題対策23（入門）
41	総合問題対策1（入門）	86	総合問題対策23（入門）
42	総合問題対策1（入門）	87	総合問題対策24（入門）
43	総合問題対策2（入門）	88	総合問題対策24（入門）
44	総合問題対策2（入門）	89	模擬試験(計算)
45	総合問題対策3（入門）	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	57
授業科目	消費税法総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	個別問題対策1（初級編）	46	総合問題対策19（初級編）
2	個別問題対策2（初級編）	47	総合問題対策20（初級編）
3	個別問題対策3（初級編）	48	総合問題対策21（初級編）
4	個別問題対策4（初級編）	49	総合問題対策22（初級編）
5	個別問題対策5（初級編）	50	総合問題対策23（初級編）
6	個別問題対策6（初級編）	51	総合問題対策24（初級編）
7	個別問題対策7（初級編）	52	総合問題対策25（初級編）
8	個別問題対策8（初級編）	53	総合問題対策26（初級編）
9	個別問題対策9（初級編）	54	総合問題対策27（初級編）
10	個別問題対策10（初級編）	55	総合問題対策28（初級編）
11	個別問題対策11（初級編）	56	総合問題対策29（初級編）
12	個別問題対策12（初級編）	57	総合問題対策30（初級編）
13	個別問題対策13（初級編）	58	総合問題対策31（初級編）
14	個別問題対策14（初級編）	59	総合問題対策32（初級編）
15	理論問題対策1（初級編）	60	総合問題対策33（初級編）
16	理論問題対策2（初級編）	61	総合問題対策34（初級編）
17	理論問題対策3（初級編）	62	総合問題対策35（初級編）
18	理論問題対策4（初級編）	63	総合問題対策36（初級編）
19	理論問題対策5（初級編）	64	総合問題対策37（初級編）
20	理論問題対策6（初級編）	65	総合問題対策38（初級編）
21	理論問題対策7（初級編）	66	総合問題対策39（初級編）
22	理論問題対策8（初級編）	67	総合問題対策40（初級編）
23	理論問題対策9（初級編）	68	総合問題対策41（初級編）
24	理論問題対策10（初級編）	69	総合問題対策42（初級編）
25	理論問題対策11（初級編）	70	総合問題対策43（初級編）
26	理論問題対策12（初級編）	71	総合問題演習1（初級編）
27	理論問題対策13（初級編）	72	総合問題演習1（初級編）
28	総合問題対策1（初級編）	73	総合問題演習2（初級編）
29	総合問題対策2（初級編）	74	総合問題演習2（初級編）
30	総合問題対策3（初級編）	75	総合問題演習3（初級編）
31	総合問題対策4（初級編）	76	総合問題演習3（初級編）
32	総合問題対策5（初級編）	77	総合問題演習4（初級編）
33	総合問題対策6（初級編）	78	総合問題演習4（初級編）
34	総合問題対策7（初級編）	79	総合問題演習5（初級編）
35	総合問題対策8（初級編）	80	総合問題演習5（初級編）
36	総合問題対策9（初級編）	81	総合問題演習6（初級編）
37	総合問題対策10（初級編）	82	総合問題演習6（初級編）
38	総合問題対策11（初級編）	83	総合問題演習7（初級編）
39	総合問題対策12（初級編）	84	総合問題演習7（初級編）
40	総合問題対策13（初級編）	85	総合問題演習8（初級編）
41	総合問題対策14（初級編）	86	総合問題演習8（初級編）
42	総合問題対策15（初級編）	87	総合問題演習9（初級編）
43	総合問題対策16（初級編）	88	総合問題演習9（初級編）
44	総合問題対策17（初級編）	89	総合問題演習10（初級編）
45	総合問題対策18（初級編）	90	総合問題演習10（初級編）

成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論　10回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	58
授業科目	相続税法総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	相続税法総まとめ1（基礎編）	46	総合問題対策3（基礎編）
2	相続税法総まとめ1（基礎編）	47	総合問題対策4（基礎編）
3	相続税法総まとめ2（基礎編）	48	総合問題対策4（基礎編）
4	相続税法総まとめ2（基礎編）	49	総合問題対策5（基礎編）
5	相続税法総まとめ3（基礎編）	50	総合問題対策5（基礎編）
6	相続税法総まとめ3（基礎編）	51	総合問題対策6（基礎編）
7	相続税法総まとめ4（基礎編）	52	総合問題対策6（基礎編）
8	相続税法総まとめ4（基礎編）	53	総合問題対策7（基礎編）
9	相続税法総まとめ5（基礎編）	54	総合問題対策7（基礎編）
10	相続税法総まとめ5（基礎編）	55	総合問題対策8（基礎編）
11	相続税法総まとめ6（基礎編）	56	総合問題対策8（基礎編）
12	相続税法総まとめ6（基礎編）	57	総合問題対策9（基礎編）
13	相続税法総まとめ7（基礎編）	58	総合問題対策9（基礎編）
14	相続税法総まとめ7（基礎編）	59	総合問題対策10（基礎編）
15	相続税法総まとめ8（基礎編）	60	総合問題対策10（基礎編）
16	相続税法総まとめ8（基礎編）	61	総合問題対策11（基礎編）
17	相続税法総まとめ9（基礎編）	62	総合問題対策11（基礎編）
18	相続税法総まとめ9（基礎編）	63	総合問題対策12（基礎編）
19	相続税法総まとめ10（基礎編）	64	総合問題対策12（基礎編）
20	相続税法総まとめ10（基礎編）	65	総合問題対策13（基礎編）
21	相続税法総まとめ11（基礎編）	66	総合問題対策13（基礎編）
22	相続税法総まとめ11（基礎編）	67	総合問題対策14（基礎編）
23	相続税法総まとめ12（基礎編）	68	総合問題対策14（基礎編）
24	相続税法総まとめ12（基礎編）	69	総合問題対策15（基礎編）
25	相続税法総まとめ13（基礎編）	70	総合問題対策15（基礎編）
26	相続税法総まとめ13（基礎編）	71	総合問題対策16（基礎編）
27	相続税法総まとめ14（基礎編）	72	総合問題対策16（基礎編）
28	相続税法総まとめ14（基礎編）	73	総合問題対策17（基礎編）
29	相続税法総まとめ15（基礎編）	74	総合問題対策17（基礎編）
30	相続税法総まとめ15（基礎編）	75	総合問題対策18（基礎編）
31	相続税法総まとめ16（基礎編）	76	総合問題対策18（基礎編）
32	相続税法総まとめ16（基礎編）	77	総合問題対策19（基礎編）
33	相続税法総まとめ17（基礎編）	78	総合問題対策19（基礎編）
34	相続税法総まとめ17（基礎編）	79	総合問題対策20（基礎編）
35	相続税法総まとめ18（基礎編）	80	総合問題対策20（基礎編）
36	相続税法総まとめ18（基礎編）	81	総合問題対策21（基礎編）
37	相続税法総まとめ19（基礎編）	82	総合問題対策21（基礎編）
38	相続税法総まとめ19（基礎編）	83	総合問題対策22（基礎編）
39	相続税法総まとめ20（基礎編）	84	総合問題対策22（基礎編）
40	相続税法総まとめ20（基礎編）	85	総合問題対策23（基礎編）
41	総合問題対策1（基礎編）	86	総合問題対策23（基礎編）
42	総合問題対策1（基礎編）	87	総合問題対策24（基礎編）
43	総合問題対策2（基礎編）	88	総合問題対策24（基礎編）
44	総合問題対策2（基礎編）	89	総合問題対策25（基礎編）
45	総合問題対策3（基礎編）	90	総合問題対策25（基礎編）

成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題対策25の得点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	59
授業科目	法人税法総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	総合問題対策1（初級）	46	総合問題対策46（初級）
2	総合問題対策2（初級）	47	総合問題対策47（初級）
3	総合問題対策3（初級）	48	総合問題対策48（初級）
4	総合問題対策4（初級）	49	総合問題対策49（初級）
5	総合問題対策5（初級）	50	総合問題対策50（初級）
6	総合問題対策6（初級）	51	総合問題対策51（初級）
7	総合問題対策7（初級）	52	総合問題対策52（初級）
8	総合問題対策8（初級）	53	総合問題対策53（初級）
9	総合問題対策9（初級）	54	総合問題対策54（初級）
10	総合問題対策10（初級）	55	総合問題対策55（初級）
11	総合問題対策11（初級）	56	総合問題対策56（初級）
12	総合問題対策12（初級）	57	総合問題対策57（初級）
13	総合問題対策13（初級）	58	総合問題対策58（初級）
14	総合問題対策14（初級）	59	総合問題対策59（初級）
15	総合問題対策15（初級）	60	総合問題対策60（初級）
16	総合問題対策16（初級）	61	総合問題対策61（初級）
17	総合問題対策17（初級）	62	総合問題対策62（初級）
18	総合問題対策18（初級）	63	総合問題対策63（初級）
19	総合問題対策19（初級）	64	総合問題対策64（初級）
20	総合問題対策20（初級）	65	総合問題対策65（初級）
21	総合問題対策21（初級）	66	総合問題対策66（初級）
22	総合問題対策22（初級）	67	総合問題対策67（初級）
23	総合問題対策23（初級）	68	総合問題対策68（初級）
24	総合問題対策24（初級）	69	総合問題対策69（初級）
25	総合問題対策25（初級）	70	総合問題対策70（初級）
26	総合問題対策26（初級）	71	総合問題演習1（初級：計算）
27	総合問題対策27（初級）	72	総合問題演習1（初級：理論）
28	総合問題対策28（初級）	73	総合問題演習2（初級：計算）
29	総合問題対策29（初級）	74	総合問題演習2（初級：理論）
30	総合問題対策30（初級）	75	総合問題演習3（初級：計算）
31	総合問題対策31（初級）	76	総合問題演習3（初級：理論）
32	総合問題対策32（初級）	77	総合問題演習4（初級：計算）
33	総合問題対策33（初級）	78	総合問題演習4（初級：理論）
34	総合問題対策34（初級）	79	総合問題演習5（初級：計算）
35	総合問題対策35（初級）	80	総合問題演習5（初級：理論）
36	総合問題対策36（初級）	81	総合問題演習6（初級：計算）
37	総合問題対策37（初級）	82	総合問題演習6（初級：理論）
38	総合問題対策38（初級）	83	総合問題演習7（初級：計算）
39	総合問題対策39（初級）	84	総合問題演習7（初級：理論）
40	総合問題対策40（初級）	85	総合問題演習8（初級：計算）
41	総合問題対策41（初級）	86	総合問題演習8（初級：理論）
42	総合問題対策42（初級）	87	総合問題演習9（初級：計算）
43	総合問題対策43（初級）	88	総合問題演習9（初級：理論）
44	総合問題対策44（初級）	89	総合問題演習10（初級：計算）
45	総合問題対策45（初級）	90	総合問題演習10（初級：理論）

成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習（初級:理論）で実施したテストのうち5回分の平均点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	60
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合問題対策1（初級編） 2 総合問題対策2（初級編） 3 総合問題対策3（初級編） 4 総合問題対策4（初級編） 5 総合問題対策5（初級編） 6 総合問題対策6（初級編） 7 総合問題対策7（初級編） 8 総合問題対策8（初級編） 9 総合問題対策9（初級編） 10 総合問題対策10（初級編） 11 総合問題対策11（初級編） 12 総合問題対策12（初級編） 13 総合問題対策13（初級編） 14 総合問題対策14（初級編） 15 総合問題対策15（初級編） 16 総合問題対策16（初級編） 17 総合問題対策17（初級編） 18 総合問題対策18（初級編） 19 総合問題対策19（初級編） 20 総合問題対策20（初級編） 21 総合問題対策21（初級編） 22 総合問題対策22（初級編） 23 総合問題対策23（初級編） 24 総合問題対策24（初級編） 25 総合問題対策25（初級編） 26 総合問題対策26（初級編） 27 総合問題対策27（初級編） 28 総合問題対策28（初級編） 29 総合問題対策29（初級編） 30 総合問題対策30（初級編） 31 総合問題対策31（初級編） 32 総合問題対策32（初級編） 33 総合問題対策33（初級編） 34 総合問題対策34（初級編） 35 総合問題対策35（初級編） 36 総合問題演習1（初級編） 37 総合問題演習1（初級編） 38 総合問題演習2（初級編） 39 総合問題演習2（初級編） 40 総合問題演習3（初級編） 41 総合問題演習3（初級編） 42 総合問題演習4（初級編） 43 総合問題演習4（初級編） 44 総合問題演習5（初級編） 45 総合問題演習5（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の理論　5回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	61
授業科目	簿記論応用Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　税効果会計Ⅰ1（入門編） 2　税効果会計Ⅰ2（入門編） 3　税効果会計Ⅰ3（入門編） 4　現在価値計算Ⅰ1（入門編） 5　現在価値計算Ⅰ2（入門編） 6　保険金Ⅰ1（入門編） 7　保険金Ⅰ2（入門編） 8　新株予約権付社債Ⅰ1（入門編） 9　新株予約権付社債Ⅰ2（入門編） 10　減損会計Ⅰ1（入門編） 11　減損会計Ⅰ2（入門編） 12　資産除去債務Ⅰ1（入門編） 13　資産除去債務Ⅰ2（入門編） 14　外貨建会計Ⅰ1（入門編） 15　外貨建会計Ⅰ2（入門編） 16　外貨建会計Ⅰ3（入門編） 17　リース会計Ⅰ1（入門編） 18　リース会計Ⅰ2（入門編） 19　試用販売Ⅰ1（入門編） 20　試用販売Ⅰ2（入門編） 21　試用販売Ⅰ3（入門編） 22　割賦販売Ⅰ1（入門編） 23　割賦販売Ⅰ2（入門編） 24　割賦販売Ⅰ3（入門編） 25　未着品販売Ⅰ1（入門編） 26　未着品販売Ⅰ2（入門編） 27　未着品販売Ⅰ3（入門編） 28　委託販売・受託販売Ⅰ1（入門編） 29　委託販売・受託販売Ⅰ2（入門編） 30　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	62
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　会計上の変更及び誤謬の訂正1（入門・基礎） 2　会計上の変更及び誤謬の訂正2（入門・基礎） 3　分配可能額1（入門・基礎） 4　分配可能額2（入門・基礎） 5　ストック・オプション1（入門・基礎） 6　ストック・オプション2（入門・基礎） 7　セール＆リースバック1（入門・基礎） 8　セール＆リースバック2（入門・基礎） 9　財務諸表等規則1（入門・基礎） 10　財務諸表等規則2（入門・基礎） 11　負債1（入門・基礎） 12　負債2（入門・基礎） 13　負債3（入門・基礎） 14　純資産会計1（入門・基礎） 15　純資産会計2（入門・基礎） 16　純資産会計3（入門・基礎） 17　企業結合会計1（入門・基礎） 18　企業結合会計2（入門・基礎） 19　企業結合会計3（入門・基礎） 20　事業分離会計1（入門・基礎） 21　事業分離会計2（入門・基礎） 22　事業分離会計3（入門・基礎） 23　四半期財務諸表1（入門・基礎） 24　四半期財務諸表2（入門・基礎） 25　ヘッジ会計1（入門・基礎） 26　ヘッジ会計2（入門・基礎） 27　包括利益1（入門・基礎） 28　包括利益2（入門・基礎） 29　包括利益3（入門・基礎） 30　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	63
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ1（入門編）	46	純資産会計Ⅱ2（入門編）
2	本支店会計Ⅰ2（入門編）	47	有価証券Ⅱ1（入門編）
3	本支店会計Ⅰ3（入門編）	48	有価証券Ⅱ2（入門編）
4	本支店会計Ⅰ4（入門編）	49	外貨建会計Ⅱ1（入門編）
5	本支店会計Ⅰ5（入門編）	50	外貨建会計Ⅱ2（入門編）
6	本支店会計Ⅰ6（入門編）	51	リース会計Ⅱ1（入門編）
7	組織再編会計Ⅰ1（入門編）	52	リース会計Ⅱ2（入門編）
8	組織再編会計Ⅰ2（入門編）	53	試用販売Ⅱ1（入門編）
9	組織再編会計Ⅰ3（入門編）	54	試用販売Ⅱ2（入門編）
10	組織再編会計Ⅰ4（入門編）	55	割賦販売Ⅱ1（入門編）
11	建設業会計Ⅰ1（入門編）	56	割賦販売Ⅱ2（入門編）
12	建設業会計Ⅰ2（入門編）	57	未着品販売Ⅱ1（入門編）
13	連結会計Ⅰ1（入門編）	58	未着品販売Ⅱ2（入門編）
14	連結会計Ⅰ2（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅱ1（入門編）
15	連結会計Ⅰ3（入門編）	60	委託販売・受託販売Ⅱ2（入門編）
16	連結会計Ⅰ4（入門編）	61	本支店会計Ⅱ1（入門編）
17	製造業会計Ⅰ1（入門編）	62	本支店会計Ⅱ2（入門編）
18	製造業会計Ⅰ2（入門編）	63	組織再編会計Ⅱ1（入門編）
19	製造業会計Ⅰ3（入門編）	64	組織再編会計Ⅱ2（入門編）
20	製造業会計Ⅰ4（入門編）	65	連結会計Ⅱ1（入門編）
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1（入門編）	66	連結会計Ⅱ2（入門編）
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2（入門編）	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ1（入門編）
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3（入門編）	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ2（入門編）
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4（入門編）	69	項目別答練1（入門編）
25	繰延資産Ⅰ1（入門編）	70	項目別答練2（入門編）
26	繰延資産Ⅰ2（入門編）	71	項目別答練3（入門編）
27	圧縮記帳Ⅰ1（入門編）	72	項目別答練4（入門編）
28	圧縮記帳Ⅰ2（入門編）	73	項目別答練5（入門編）
29	ストック・オプションⅠ1（入門編）	74	項目別答練6（入門編）
30	ストック・オプションⅠ2（入門編）	75	基礎答練1（入門編）
31	現金預金Ⅱ1（入門編）	76	基礎答練2（入門編）
32	債権債務Ⅱ1（入門編）	77	基礎答練3（入門編）
33	商品売買Ⅱ1（入門編）	78	応用答練1（入門編）
34	商品売買Ⅱ2（入門編）	79	応用答練2（入門編）
35	商品売買Ⅱ3（入門編）	80	応用答練3（入門編）
36	固定資産Ⅱ1（入門編）	81	過去問演習1（入門編）
37	固定資産Ⅱ2（入門編）	82	過去問演習2（入門編）
38	退職給付会計Ⅱ1（入門編）	83	過去問演習3（入門編）
39	退職給付会計Ⅱ2（入門編）	84	過去問演習4（入門編）
40	債権債務Ⅱ1（入門編）	85	過去問演習5（入門編）
41	債権債務Ⅱ2（入門編）	86	問題演習実践1（入門編）
42	税金Ⅱ1（入門編）	87	問題演習実践2（入門編）
43	社債Ⅱ1（入門編）	88	問題演習実践3（入門編）
44	社債Ⅱ2（入門編）	89	問題演習実践4（入門編）
45	純資産会計Ⅱ1（入門編）	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	64
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０回
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	財務諸表論総まとめ1（入門・基礎）	46	総合問題対策3（入門）
2	財務諸表論総まとめ1（入門・基礎）	47	総合問題対策4（入門）
3	財務諸表論総まとめ2（入門・基礎）	48	総合問題対策4（入門）
4	財務諸表論総まとめ2（入門・基礎）	49	総合問題対策5（入門）
5	財務諸表論総まとめ3（入門・基礎）	50	総合問題対策5（入門）
6	財務諸表論総まとめ3（入門・基礎）	51	総合問題対策6（入門）
7	財務諸表論総まとめ4（入門・基礎）	52	総合問題対策6（入門）
8	財務諸表論総まとめ4（入門・基礎）	53	総合問題対策7（入門）
9	財務諸表論総まとめ5（入門・基礎）	54	総合問題対策7（入門）
10	財務諸表論総まとめ5（入門・基礎）	55	総合問題対策8（入門）
11	財務諸表論総まとめ6（入門・基礎）	56	総合問題対策8（入門）
12	財務諸表論総まとめ6（入門・基礎）	57	総合問題対策9（入門）
13	財務諸表論総まとめ7（入門・基礎）	58	総合問題対策9（入門）
14	財務諸表論総まとめ7（入門・基礎）	59	総合問題対策10（入門）
15	財務諸表論総まとめ8（入門・基礎）	60	総合問題対策10（入門）
16	財務諸表論総まとめ8（入門・基礎）	61	総合問題対策11（入門）
17	財務諸表論総まとめ9（入門・基礎）	62	総合問題対策11（入門）
18	財務諸表論総まとめ9（入門・基礎）	63	総合問題対策12（入門）
19	財務諸表論総まとめ10（入門・基礎）	64	総合問題対策12（入門）
20	財務諸表論総まとめ10（入門・基礎）	65	総合問題対策13（入門）
21	財務諸表論総まとめ11（入門・基礎）	66	総合問題対策13（入門）
22	財務諸表論総まとめ11（入門・基礎）	67	総合問題対策14（入門）
23	財務諸表論総まとめ12（入門・基礎）	68	総合問題対策14（入門）
24	財務諸表論総まとめ12（入門・基礎）	69	総合問題対策15（入門）
25	財務諸表論総まとめ13（入門・基礎）	70	総合問題対策15（入門）
26	財務諸表論総まとめ13（入門・基礎）	71	総合問題対策16（入門）
27	財務諸表論総まとめ14（入門・基礎）	72	総合問題対策16（入門）
28	財務諸表論総まとめ14（入門・基礎）	73	総合問題対策17（入門）
29	財務諸表論総まとめ15（入門・基礎）	74	総合問題対策17（入門）
30	財務諸表論総まとめ15（入門・基礎）	75	総合問題対策18（入門）
31	財務諸表論総まとめ16（入門・基礎）	76	総合問題対策18（入門）
32	財務諸表論総まとめ16（入門・基礎）	77	総合問題対策19（入門）
33	財務諸表論総まとめ17（入門・基礎）	78	総合問題対策19（入門）
34	財務諸表論総まとめ17（入門・基礎）	79	総合問題対策20（入門）
35	財務諸表論総まとめ18（入門・基礎）	80	総合問題対策20（入門）
36	財務諸表論総まとめ18（入門・基礎）	81	総合問題対策21（入門）
37	財務諸表論総まとめ19（入門・基礎）	82	総合問題対策21（入門）
38	財務諸表論総まとめ19（入門・基礎）	83	総合問題対策22（入門）
39	財務諸表論総まとめ20（入門・基礎）	84	総合問題対策22（入門）
40	財務諸表論総まとめ20（入門・基礎）	85	総合問題対策23（入門）
41	総合問題対策1（入門・基礎）	86	総合問題対策23（入門）
42	総合問題対策1（入門・基礎）	87	総合問題対策24（入門）
43	総合問題対策2（入門・基礎）	88	総合問題対策24（入門）
44	総合問題対策2（入門・基礎）	89	模擬試験(計算)
45	総合問題対策3（入門・基礎）	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	65
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	簿記の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ1（応用編）	31	債権債務Ⅰ5（応用編）
2	簿記の概要Ⅰ2（応用編）	32	債権債務Ⅰ6（応用編）
3	簿記の概要Ⅰ3（応用編）	33	債権債務Ⅰ7（応用編）
4	簿記の概要Ⅰ4（応用編）	34	債権債務Ⅰ8（応用編）
5	現金預金Ⅰ1（応用編）	35	貸倒れⅠ1（応用編）
6	現金預金Ⅰ2（応用編）	36	貸倒れⅠ2（応用編）
7	現金預金Ⅰ3（応用編）	37	貸倒れⅠ3（応用編）
8	現金預金Ⅰ4（応用編）	38	貸倒れⅠ4（応用編）
9	債権債務Ⅰ1（応用編）	39	退職給付会計Ⅰ1（応用編）
10	債権債務Ⅰ2（応用編）	40	退職給付会計Ⅰ2（応用編）
11	債権債務Ⅰ3（応用編）	41	退職給付会計Ⅰ3（応用編）
12	債権債務Ⅰ4（応用編）	42	退職給付会計Ⅰ4（応用編）
13	商品売買Ⅰ1（応用編）	43	退職給付会計Ⅰ5（応用編）
14	商品売買Ⅰ2（応用編）	44	税金Ⅰ1（応用編）
15	商品売買Ⅰ3（応用編）	45	税金Ⅰ2（応用編）
16	商品売買Ⅰ4（応用編）	46	税金Ⅰ3（応用編）
17	商品売買Ⅰ5（応用編）	47	税金Ⅰ4（応用編）
18	給料等Ⅰ1（応用編）	48	社債Ⅰ1（応用編）
19	給料等Ⅰ2（応用編）	49	社債Ⅰ2（応用編）
20	給料等Ⅰ3（応用編）	50	社債Ⅰ3（応用編）
21	給料等Ⅰ4（応用編）	51	社債Ⅰ4（応用編）
22	固定資産Ⅰ1（応用編）	52	純資産会計Ⅰ1（応用編）
23	固定資産Ⅰ2（応用編）	53	純資産会計Ⅰ2（応用編）
24	固定資産Ⅰ3（応用編）	54	純資産会計Ⅰ3（応用編）
25	固定資産Ⅰ4（応用編）	55	純資産会計Ⅰ4（応用編）
26	固定資産Ⅰ5（応用編）	56	有価証券Ⅰ1（応用編）
27	ソフトウェアⅠ1（応用編）	57	有価証券Ⅰ2（応用編）
28	ソフトウェアⅠ2（応用編）	58	有価証券Ⅰ3（応用編）
29	ソフトウェアⅠ3（応用編）	59	有価証券Ⅰ4（応用編）
30	ソフトウェアⅠ4（応用編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	66
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ1（応用編）	31	外貨建会計Ⅰ5（応用編）
2	税効果会計Ⅰ2（応用編）	32	外貨建会計Ⅰ6（応用編）
3	税効果会計Ⅰ3（応用編）	33	リース会計Ⅰ1（応用編）
4	税効果会計Ⅰ4（応用編）	34	リース会計Ⅰ2（応用編）
5	税効果会計Ⅰ5（応用編）	35	リース会計Ⅰ3（応用編）
6	税効果会計Ⅰ6（応用編）	36	リース会計Ⅰ4（応用編）
7	税効果会計Ⅰ7（応用編）	37	リース会計Ⅰ5（応用編）
8	税効果会計Ⅰ8（応用編）	38	リース会計Ⅰ6（応用編）
9	現在価値計算Ⅰ1（応用編）	39	試用販売Ⅰ1（応用編）
10	現在価値計算Ⅰ2（応用編）	40	試用販売Ⅰ2（応用編）
11	現在価値計算Ⅰ3（応用編）	41	試用販売Ⅰ3（応用編）
12	保険金Ⅰ1（応用編）	42	試用販売Ⅰ4（応用編）
13	保険金Ⅰ2（応用編）	43	試用販売Ⅰ5（応用編）
14	保険金Ⅰ3（応用編）	44	試用販売Ⅰ6（応用編）
15	新株予約権付社債Ⅰ1（応用編）	45	割賦販売Ⅰ1（応用編）
16	新株予約権付社債Ⅰ2（応用編）	46	割賦販売Ⅰ2（応用編）
17	新株予約権付社債Ⅰ3（応用編）	47	割賦販売Ⅰ3（応用編）
18	新株予約権付社債Ⅰ4（応用編）	48	割賦販売Ⅰ4（応用編）
19	新株予約権付社債Ⅰ5（応用編）	49	割賦販売Ⅰ5（応用編）
20	新株予約権付社債Ⅰ6（応用編）	50	割賦販売Ⅰ6（応用編）
21	減損会計Ⅰ1（応用編）	51	未着品販売Ⅰ1（応用編）
22	減損会計Ⅰ2（応用編）	52	未着品販売Ⅰ2（応用編）
23	減損会計Ⅰ3（応用編）	53	未着品販売Ⅰ3（応用編）
24	減損会計Ⅰ4（応用編）	54	未着品販売Ⅰ4（応用編）
25	資産除去債務Ⅰ1（応用編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ1（応用編）
26	資産除去債務Ⅰ2（応用編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ2（応用編）
27	外貨建会計Ⅰ1（応用編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ3（応用編）
28	外貨建会計Ⅰ2（応用編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ4（応用編）
29	外貨建会計Ⅰ3（応用編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ5（応用編）
30	外貨建会計Ⅰ4（応用編）	60	確認テスト

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	67
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ1（応用編）	31	製造業会計Ⅰ4（応用編）
2	本支店会計Ⅰ2（応用編）	32	製造業会計Ⅰ5（応用編）
3	本支店会計Ⅰ3（応用編）	33	製造業会計Ⅰ6（応用編）
4	本支店会計Ⅰ4（応用編）	34	製造業会計Ⅰ7（応用編）
5	本支店会計Ⅰ5（応用編）	35	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ1（応用編）
6	本支店会計Ⅰ6（応用編）	36	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ2（応用編）
7	組織再編会計Ⅰ1（応用編）	37	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ3（応用編）
8	組織再編会計Ⅰ2（応用編）	38	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ4（応用編）
9	組織再編会計Ⅰ3（応用編）	39	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ5（応用編）
10	組織再編会計Ⅰ4（応用編）	40	繰延資産Ⅰ1（応用編）
11	組織再編会計Ⅰ5（応用編）	41	繰延資産Ⅰ2（応用編）
12	組織再編会計Ⅰ6（応用編）	42	圧縮記帳Ⅰ1（応用編）
13	組織再編会計Ⅰ7（応用編）	43	圧縮記帳Ⅰ2（応用編）
14	建設業会計Ⅰ1（応用編）	44	ストック・オプションⅠ（応用編）
15	建設業会計Ⅰ2（応用編）	45	商品売買Ⅱ1（応用編）
16	建設業会計Ⅰ3（応用編）	46	商品売買Ⅱ2（応用編）
17	建設業会計Ⅰ4（応用編）	47	固定資産Ⅱ1（応用編）
18	建設業会計Ⅰ5（応用編）	48	固定資産Ⅱ2（応用編）
19	建設業会計Ⅰ6（応用編）	49	退職給付会計Ⅱ1（応用編）
20	建設業会計Ⅰ7（応用編）	50	退職給付会計Ⅱ2（応用編）
21	連結会計Ⅰ1（応用編）	51	試用販売Ⅱ1（応用編）
22	連結会計Ⅰ2（応用編）	52	試用販売Ⅱ2（応用編）
23	連結会計Ⅰ3（応用編）	53	割賦販売Ⅱ1（応用編）
24	連結会計Ⅰ4（応用編）	54	割賦販売Ⅱ2（応用編）
25	連結会計Ⅰ5（応用編）	55	本支店会計Ⅱ1（応用編）
26	連結会計Ⅰ6（応用編）	56	本支店会計Ⅱ2（応用編）
27	連結会計Ⅰ7（応用編）	57	組織再編会計Ⅱ1（応用編）
28	製造業会計Ⅰ1（応用編）	58	組織再編会計Ⅱ2（応用編）
29	製造業会計Ⅰ2（応用編）	59	連結会計Ⅱ1（応用編）
30	製造業会計Ⅰ3（応用編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	68
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	項目別答練1（入門編）	31	応用答練10（入門編）
2	項目別答練2（入門編）	32	応用答練11（入門編）
3	項目別答練3（入門編）	33	応用答練12（入門編）
4	項目別答練4（入門編）	34	応用答練13（入門編）
5	項目別答練5（入門編）	35	過去問演習1（入門編）
6	項目別答練6（入門編）	36	過去問演習2（入門編）
7	項目別答練7（入門編）	37	過去問演習3（入門編）
8	項目別答練8（入門編）	38	過去問演習4（入門編）
9	基礎答練1（入門編）	39	過去問演習5（入門編）
10	基礎答練2（入門編）	40	過去問演習6（入門編）
11	基礎答練3（入門編）	41	過去問演習7（入門編）
12	基礎答練4（入門編）	42	過去問演習8（入門編）
13	基礎答練5（入門編）	43	過去問演習9（入門編）
14	基礎答練6（入門編）	44	過去問演習10（入門編）
15	基礎答練7（入門編）	45	過去問演習11（入門編）
16	基礎答練8（入門編）	46	過去問演習12（入門編）
17	基礎答練9（入門編）	47	過去問演習13（入門編）
18	基礎答練10（入門編）	48	問題演習実践1（入門編）
19	基礎答練11（入門編）	49	問題演習実践2（入門編）
20	基礎答練12（入門編）	50	問題演習実践3（入門編）
21	基礎答練13（入門編）	51	問題演習実践4（入門編）
22	応用答練1（入門編）	52	問題演習実践5（入門編）
23	応用答練2（入門編）	53	問題演習実践6（入門編）
24	応用答練3（入門編）	54	問題演習実践7（入門編）
25	応用答練4（入門編）	55	問題演習実践8（入門編）
26	応用答練5（入門編）	56	問題演習実践9（入門編）
27	応用答練6（入門編）	57	問題演習実践10（入門編）
28	応用答練7（入門編）	58	問題演習実践11（入門編）
29	応用答練8（入門編）	59	問題演習実践12（入門編）
30	応用答練9（入門編）	60	模擬試験

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	69
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	総論1（基礎編）	31	株式会社の純資産1（基礎編）
	2	総論2（基礎編）	32	株式会社の純資産2（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33	株式会社の純資産3（基礎編）
	4	棚卸資産1（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産2（基礎編）	35	株主資本等変動計算書1（基礎編）
	6	棚卸資産3（基礎編）	36	株主資本等変動計算書2（基礎編）
	7	現金預金1（基礎編）	37	連結会計1（基礎編）
	8	現金預金2（基礎編）	38	連結会計2（基礎編）
	9	債権･債務等（基礎編）	39	連結会計3（基礎編）
	10	有価証券1（基礎編）	40	連結会計4（基礎編）
	11	有価証券2（基礎編）	41	連結会計5（基礎編）
	12	有価証券3（基礎編）	42	連結会計6（基礎編）
	13	有価証券4（基礎編）	43	連結会計7（基礎編）
	14	有価証券5（基礎編）	44	連結会計8（基礎編）
	15	有価証券6（基礎編）	45	連結会計9（基礎編）
	16	固定資産1（基礎編）	46	総復習
	17	固定資産2（基礎編）	47	総復習
	18	固定資産3（基礎編）	48	総復習
	19	固定資産4（基礎編）	49	総復習
	20	固定資産5（基礎編）	50	総復習
	21	固定資産6（基礎編）	51	総復習
	22	為替換算会計1（基礎編）	52	総復習
	23	為替換算会計2（基礎編）	53	総復習
	24	為替換算会計3（基礎編）	54	総復習
	25	引当金1（基礎編）	55	総復習
	26	引当金2（基礎編）	56	総復習
	27	引当金3（基礎編）	57	総復習
	28	法人税等1（基礎編）	58	総復習
	29	法人税等2（基礎編）	59	総復習
	30	法人税等3（基礎編）	60	総復習

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	70
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算1
2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	32	標準原価計算2
3	材料費会計1	33	標準原価計算3
4	材料費会計2	34	原価・営業量・利益関係の分析1
5	労務費会計1	35	原価・営業量・利益関係の分析2
6	労務費会計2	36	工場会計の独立
7	経費会計	37	直接原価計算1
8	製造間接費会計1	38	直接原価計算2
9	製造間接費会計2	39	確認テスト（第2回）
10	単純個別原価計算1	40	工業簿記総まとめ1
11	単純個別原価計算2	41	工業簿記総まとめ2
12	単純個別原価計算3	42	工業簿記総まとめ3
13	部門別計算1	43	工業簿記総まとめ4
14	部門別計算2	44	工業簿記総まとめ5
15	部門別計算3	45	工業簿記総まとめ6
16	確認テスト（第1回）	46	総復習
17	工企業の財務諸表1	47	総復習
18	工企業の財務諸表2	48	総復習
19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）	49	総復習
20	総合原価計算1	50	総復習
21	総合原価計算2	51	総復習
22	総合原価計算3	52	総復習
23	総合原価計算4	53	総復習
24	総合原価計算5	54	総復習
25	総合原価計算6	55	総復習
26	工程別総合原価計算1	56	総復習
27	工程別総合原価計算2	57	総復習
28	組別総合原価計算	58	総復習
29	等級別別総合原価計算1	59	総復習
30	等級別総合原価計算2	60	総復習

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	71
授業科目	2級簿記総合Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ1（応用編）	31	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
2	商業簿記総まとめ2（応用編）	32	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
3	商業簿記総まとめ3（応用編）	33	総合問題演習2（テスト形式_応用編）
4	商業簿記総まとめ4（応用編）	34	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
5	商業簿記総まとめ5（応用編）	35	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
6	商業簿記総まとめ6（応用編）	36	総合問題演習3（テスト形式_応用編）
7	商業簿記総まとめ7（応用編）	37	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
8	商業簿記総まとめ8（応用編）	38	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
9	商業簿記総まとめ9（応用編）	39	総合問題演習4（テスト形式_応用編）
10	商業簿記総まとめ10（応用編）	40	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
11	商業簿記総まとめ11（応用編）	41	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
12	商業簿記総まとめ12（応用編）	42	総合問題演習5（テスト形式_応用編）
13	商業簿記総まとめ13（応用編）	43	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
14	商業簿記総まとめ14（応用編）	44	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
15	商業簿記総まとめ15（応用編）	45	総合問題演習6（テスト形式_応用編）
16	工業簿記総まとめ1（応用編）	46	総復習
17	工業簿記総まとめ2（応用編）	47	総復習
18	工業簿記総まとめ3（応用編）	48	総復習
19	工業簿記総まとめ4（応用編）	49	総復習
20	工業簿記総まとめ5（応用編）	50	総復習
21	工業簿記総まとめ6（応用編）	51	総復習
22	工業簿記総まとめ7（応用編）	52	総復習
23	工業簿記総まとめ8（応用編）	53	総復習
24	工業簿記総まとめ9（応用編）	54	総復習
25	工業簿記総まとめ10（応用編）	55	総復習
26	工業簿記総まとめ11（応用編）	56	総復習
27	工業簿記総まとめ12（応用編）	57	総復習
28	総合問題演習1（テスト形式_応用編）	58	総復習
29	総合問題演習1（テスト形式_応用編）	59	総復習
30	総合問題演習1（テスト形式_応用編）	60	総復習

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	72
授業科目	1級会計学入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産、社債 10 引当金 11 退職給付 12 資産除去債務、純資産 13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 商品売買等 17 工事契約 18 本支店会計 19 連結財務諸表総論 20 資本連結 21 成果連結 22 持分法 23 連結税効果会計 24 包括利益 25 在外子会社 26 企業結合 27 事業分離 28 キャッシュフロー計算書 29 連結キャッシュフロー計算書 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	73
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　工業簿記と原価計算 2　費目別計算1 3　費目別計算2 4　部門別計算1 5　部門別計算2 6　個別原価計算1 7　個別原価計算2 8　総合原価計算1 9　総合原価計算2 10　総合原価計算3 11　標準原価計算1 12　標準原価計算2 13　標準原価計算3 14　標準原価計算4 15　標準原価計算5 16　直接原価計算 17　短期利益計画 18　予算管理1 19　予算管理2 20　意思決定会計1 21　意思決定会計2 22　意思決定会計3 23　意思決定会計4 24　意思決定会計5 25　意思決定会計6 26　意思決定会計7 27　意思決定会計8 28　戦略的原価計算1 29　戦略的原価計算2 30　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	74
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（初級） 2 交付要求及び督促時効（初級） 3 参加差押え（初級） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級） 5 換価配当（初級） 6 担保のための仮登記（初級） 7 物上代位権との調整（初級） 8 納期限未到来の納税の猶予（初級） 9 災害等による一般の納税の猶予（初級） 10 換価の猶予（初級） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（初級） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級） 15 国税の担保（初級） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級） 17 保全措置（初級） 18 滞納処分の停止（初級） 19 納付委託・弁済委託（初級） 20 第二次納税義務（通則）（初級） 21 第二次納税義務（人的限度）（初級） 22 第二次納税義務（物的限度）（初級） 23 不服申立（初級） 24 滞納処分費（初級） 25 納付義務の承継（初級） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（初級） 27 増額登記（初級） 28 質権の証明と優先権行使の否認（初級） 29 国税徴収法第26条準用（初級） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（初級） 31 総合理論対策1（初級） 32 総合理論対策2（初級） 33 総合理論対策3（初級） 34 総合理論対策4（初級） 35 総合理論対策5（初級） 36 総合理論対策6（初級） 37 総合理論対策7（初級） 38 総合理論対策8（初級） 39 総合理論対策9（初級） 40 総合問題演習1（初級） 41 総合問題演習1（初級） 42 総合問題演習2（初級） 43 総合問題演習2（初級） 44 総合問題演習3（初級） 45 総合問題演習3（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト3回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	75
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　国税徴収法の目的（中級） 2　納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級） 3　強制換価手続（中級） 4　担保の種類（中級） 5　滞納処分の概要（中級） 6　国税に優先する権利（中級） 7　国税相互間の優先関係（中級） 8　財産の調査（中級） 9　最優先される被担保債権（中級） 10　法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級） 11　法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級） 12　不動産賃貸の先取特権等（中級） 13　法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（中級） 14　譲受前にある担保権（中級） 15　担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級） 16　差押の制限等、解除（中級） 17　差押の共通手続（中級） 18　第三者からの差押換え（中級） 19　差押換え（換価申立ての細部）（中級） 20　相続人からの差押換え（中級） 21　動産又は有価証券の差押え（中級） 22　第三者が占有する動産等の差押手続（中級） 23　引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級） 24　国税徴収法第26条の計算（中級） 25　債権の差押え（中級） 26　不動産等の差押え（中級） 27　第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級） 28　第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級） 29　国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級） 30　確認テスト（中級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	76
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用） 2 交付要求及び督促時効（応用） 3 参加差押え（応用） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用） 5 換価配当（応用） 6 担保のための仮登記（応用） 7 物上代位権との調整（応用） 8 納期限未到来の納税の猶予（応用） 9 災害等による一般の納税の猶予（応用） 10 換価の猶予（応用） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（応用） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用） 15 国税の担保（応用） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用） 17 保全措置（応用） 18 滞納処分の停止（応用） 19 納付委託・弁済委託（応用） 20 第二次納税義務（通則）（応用） 21 第二次納税義務（人的限度）（応用） 22 第二次納税義務（物的限度）（応用） 23 不服申立（応用） 24 滞納処分費（応用） 25 納付義務の承継（応用） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（応用） 27 増額登記（応用） 28 質権の証明と優先権行使の否認（応用） 29 国税徴収法第26条準用（応用） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用） 31 総合理論対策1（初級） 32 総合理論対策2（初級） 33 総合理論対策3（初級） 34 総合理論対策4（初級） 35 総合理論対策5（初級） 36 総合理論対策6（初級） 37 総合理論対策7（初級） 38 総合理論対策8（初級） 39 総合理論対策9（初級） 40 総合問題演習1（初級） 41 総合問題演習1（初級） 42 総合問題演習2（初級） 43 総合問題演習2（初級） 44 総合問題演習3（初級） 45 総合問題演習3（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト3回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	77
授業科目	全経簿記上級総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記・会計学総まとめ1（全経速習編）	31	総合問題対策1（全経速習編）
2	商業簿記・会計学総まとめ2（全経速習編）	32	総合問題対策2（全経速習編）
3	商業簿記・会計学総まとめ3（全経速習編）	33	総合問題対策3（全経速習編）
4	工業簿記・原価計算総まとめ1（全経速習編）	34	総合問題対策4（全経速習編）
5	工業簿記・原価計算総まとめ2（全経速習編）	35	総合問題対策5（全経速習編）
6	工業簿記・原価計算総まとめ3（全経速習編）	36	総合問題対策6（全経速習編）
7	商業簿記・会計学総まとめ4（全経速習編）	37	総合問題対策7（全経速習編）
8	商業簿記・会計学総まとめ5（全経速習編）	38	総合問題対策8（全経速習編）
9	商業簿記・会計学総まとめ6（全経速習編）	39	総合問題対策9（全経速習編）
10	工業簿記・原価計算総まとめ4（全経速習編）	40	総合問題対策10（全経速習編）
11	工業簿記・原価計算総まとめ5（全経速習編）	41	総合問題対策11（全経速習編）
12	工業簿記・原価計算総まとめ6（全経速習編）	42	総合問題対策12（全経速習編）
13	商業簿記・会計学総まとめ7（全経速習編）	43	総合問題対策13（全経速習編）
14	商業簿記・会計学総まとめ8（全経速習編）	44	総合問題対策14（全経速習編）
15	商業簿記・会計学総まとめ9（全経速習編）	45	総合問題対策15（全経速習編）
16	工業簿記・原価計算総まとめ7（全経速習編）	46	総合問題演習1（テスト形式）
17	工業簿記・原価計算総まとめ8（全経速習編）	47	総合問題演習1（テスト形式）
18	工業簿記・原価計算総まとめ9（全経速習編）	48	総合問題演習1（テスト形式）
19	商業簿記・会計学総まとめ10（全経速習編）	49	総合問題演習2（テスト形式）
20	商業簿記・会計学総まとめ11（全経速習編）	50	総合問題演習2（テスト形式）
21	商業簿記・会計学総まとめ12（全経速習編）	51	総合問題演習2（テスト形式）
22	工業簿記・原価計算総まとめ10（全経速習編）	52	総合問題演習3（テスト形式）
23	工業簿記・原価計算総まとめ11（全経速習編）	53	総合問題演習3（テスト形式）
24	工業簿記・原価計算総まとめ12（全経速習編）	54	総合問題演習3（テスト形式）
25	商業簿記・会計学総まとめ13（全経速習編）	55	総合問題演習4（テスト形式）
26	商業簿記・会計学総まとめ14（全経速習編）	56	総合問題演習4（テスト形式）
27	商業簿記・会計学総まとめ15（全経速習編）	57	総合問題演習4（テスト形式）
28	工業簿記・原価計算総まとめ13（全経速習編）	58	総合問題演習5（テスト形式）
29	工業簿記・原価計算総まとめ14（全経速習編）	59	総合問題演習5（テスト形式）
30	工業簿記・原価計算総まとめ15（全経速習編）	60	総合問題演習5（テスト形式）

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	78
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　簿記の概要Ⅰ1（基礎編） 2　簿記の概要Ⅰ2（基礎編） 3　簿記の概要Ⅰ3（基礎編） 4　簿記の概要Ⅰ4（基礎編） 5　現金預金Ⅰ1（基礎編） 6　現金預金Ⅰ2（基礎編） 7　現金預金Ⅰ3（基礎編） 8　債権債務Ⅰ1（基礎編） 9　債権債務Ⅰ2（基礎編） 10　商品売買Ⅰ1（基礎編） 11　商品売買Ⅰ2（基礎編） 12　商品売買Ⅰ3（基礎編） 13　給料等Ⅰ1（基礎編） 14　給料等Ⅰ2（基礎編） 15　確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	79
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎） 2 個別注記表（基礎） 3 現金及び預金（基礎） 4 債権債務（基礎） 5 関係会社概念（基礎） 6 売上原価の算定（基礎） 7 貸倒れ（基礎） 8 給料等（基礎） 9 その他の引当金（基礎） 10 退職給付会計（基礎） 11 有形固定資産（基礎） 12 無形固定資産（基礎） 13 株主資本（基礎） 14 財務諸表論の基礎概念（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	80
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1（初級編） 3 課税の対象2（初級編） 4 課税の対象3（初級編） 5 課税の対象4（初級編） 6 非課税1（初級編） 7 非課税2（初級編） 8 非課税3（初級編） 9 非課税4（初級編） 10 輸出免税等1（初級編） 11 輸出免税等2（初級編） 12 輸出免税等3（初級編） 13 輸出免税等4（初級編） 14 資産の譲渡等の時期（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	81
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（基礎） 3 相続税法と民法（基礎） 4 相続人、代襲相続（基礎） 5 養子の子の取扱い（基礎） 6 相続の承認と放棄（基礎） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎） 8 遺言による財産の取得（基礎） 9 相続税の納税義務者（基礎） 10 生命保険金等（基礎） 11 相続税の非課税財産（基礎） 12 相続税額の計算方法（基礎） 13 生命保険金等の非課税金額（基礎） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	82
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（中級） 2 納税義務者（中級） 3 課税所得の範囲（中級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（中級） 5 減価償却Ⅰ（中級） 6 減価償却Ⅱ（中級） 7 減価償却Ⅲ（中級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（中級） 10 租税公課等（中級） 11 納税充当金Ⅰ（中級） 12 納税充当金Ⅱ（中級） 13 別表四の作成（中級） 14 事業年度（中級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	83
授業科目	所得税法入門Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	所得税法の概要及び各種所得の意義及び金額（一部）の解説
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	所得税法の概要及び各種所得の意義及び金額の計算を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得の意義及び金額の計算 3 課税標準の計算 4 課税所得金額の計算 5 納付税額の計算 6 源泉徴収制度、復興特別所得税 7 青色申告制度 8 利子所得 9 配当所得 10 不動産所得 11 給与所得 12 特定支出控除の特例 13 退職所得 14 山林所得 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	84
授業科目	消費法速習入門Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象1（初級編） 3 課税の対象2（初級編） 4 非課税1（初級編） 5 非課税2（初級編） 6 輸出免税等1（初級編） 7 輸出免税等2（初級編） 8 資産の譲渡等の時期（初級編） 9 控除対象仕入税額1（初級編） 10 控除対象仕入税額2（初級編） 11 売上げに係る対価の返還等（初級編） 12 貸倒れが生じた場合（初級編） 13 課税仕入れの範囲1（初級編） 14 課税仕入れの範囲2（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	85
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ1（基礎編）	31	外貨建会計Ⅰ5（基礎編）
2	税効果会計Ⅰ2（基礎編）	32	外貨建会計Ⅰ6（基礎編）
3	税効果会計Ⅰ3（基礎編）	33	リース会計Ⅰ1（基礎編）
4	税効果会計Ⅰ4（基礎編）	34	リース会計Ⅰ2（基礎編）
5	税効果会計Ⅰ5（基礎編）	35	リース会計Ⅰ3（基礎編）
6	税効果会計Ⅰ6（基礎編）	36	リース会計Ⅰ4（基礎編）
7	税効果会計Ⅰ7（基礎編）	37	リース会計Ⅰ5（基礎編）
8	税効果会計Ⅰ8（基礎編）	38	リース会計Ⅰ6（基礎編）
9	現在価値計算Ⅰ1（基礎編）	39	試用販売Ⅰ1（基礎編）
10	現在価値計算Ⅰ2（基礎編）	40	試用販売Ⅰ2（基礎編）
11	現在価値計算Ⅰ3（基礎編）	41	試用販売Ⅰ3（基礎編）
12	保険金Ⅰ1（基礎編）	42	試用販売Ⅰ4（基礎編）
13	保険金Ⅰ2（基礎編）	43	試用販売Ⅰ5（基礎編）
14	保険金Ⅰ3（基礎編）	44	試用販売Ⅰ6（基礎編）
15	新株予約権付社債Ⅰ1（基礎編）	45	割賦販売Ⅰ1（基礎編）
16	新株予約権付社債Ⅰ2（基礎編）	46	割賦販売Ⅰ2（基礎編）
17	新株予約権付社債Ⅰ3（基礎編）	47	割賦販売Ⅰ3（基礎編）
18	新株予約権付社債Ⅰ4（基礎編）	48	割賦販売Ⅰ4（基礎編）
19	新株予約権付社債Ⅰ5（基礎編）	49	割賦販売Ⅰ5（基礎編）
20	新株予約権付社債Ⅰ6（基礎編）	50	割賦販売Ⅰ6（基礎編）
21	減損会計Ⅰ1（基礎編）	51	未着品販売Ⅰ1（基礎編）
22	減損会計Ⅰ2（基礎編）	52	未着品販売Ⅰ2（基礎編）
23	減損会計Ⅰ3（基礎編）	53	未着品販売Ⅰ3（基礎編）
24	減損会計Ⅰ4（基礎編）	54	未着品販売Ⅰ4（基礎編）
25	資産除去債務Ⅰ1（基礎編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ1（基礎編）
26	資産除去債務Ⅰ2（基礎編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ2（基礎編）
27	外貨建会計Ⅰ1（基礎編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ3（基礎編）
28	外貨建会計Ⅰ2（基礎編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ4（基礎編）
29	外貨建会計Ⅰ3（基礎編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ5（基礎編）
30	外貨建会計Ⅰ4（基礎編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	86
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	売買目的有価証券（基礎）	31	ゴルフ会員権（基礎）
2	満期保有目的の債券（基礎）	32	売価還元法（基礎）
3	子会社株式・関連会社株式（基礎）	33	製造業会計（基礎）
4	その他有価証券（基礎）	34	研究開発費（基礎）
5	ソフトウェア（基礎）	35	新株予約権（基礎）
6	法人税等・追徴還付（基礎）	36	キャッシュ・フロー計算書（基礎）
7	現在価値計算（基礎）	37	損益計算書総論（基礎）
8	社債（基礎）	38	貸借対照表総論（基礎）
9	利益剰余金（基礎）	39	資産総論（基礎）
10	自己株式（基礎）	40	棚卸資産に関する会計基準（基礎）
11	配当（基礎）	41	連続意見書（基礎）
12	外形基準、租税公課（基礎）	42	引当金（基礎）
13	源泉所得税、社会保険料（基礎）	43	会計観（基礎）
14	税効果会計（基礎）	44	金融商品（基礎）
15	税効果注記（基礎）	45	純資産会計1（基礎）
16	源泉所得税、社会保険料（基礎）	46	純資産会計2（基礎）
17	株主資本等変動計算書（基礎）	47	純資産会計3（基礎）
18	減損会計（基礎）	48	純資産会計4（基礎）
19	配当を受けた株主の処理（基礎）	49	純資産会計5（基礎）
20	圧縮記帳（基礎）	50	企業結合会計1（基礎）
21	外貨建取引（基礎）	51	企業結合会計2（基礎）
22	退職給付会計簡便法（基礎）	52	企業結合会計3（基礎）
23	繰延資産（基礎）	53	企業結合会計4（基礎）
24	為替予約（基礎）	54	企業結合会計5（基礎）
25	仕入・売上げの計上基準（基礎）	55	事業分離会計1（基礎）
26	消費税等（基礎）	56	事業分離会計2（基礎）
27	他勘定振替（基礎）	57	事業分離会計3（基礎）
28	外貨建有価証券（基礎）	58	事業分離会計4（基礎）
29	リース会計（基礎）	59	事業分離会計5（基礎）
30	証券投資信託（基礎）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	87
授業科目	消費税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額1（初級編）	31	納税義務の免除1（初級編）
2	控除対象仕入税額2（初級編）	32	納税義務の免除2（初級編）
3	控除対象仕入税額3（初級編）	33	納税義務の免除3（初級編）
4	控除対象仕入税額4（初級編）	34	納税義務の免除4（初級編）
5	控除対象仕入税額5（初級編）	35	納税義務の免除5（初級編）
6	控除対象仕入税額6（初級編）	36	国境を越えた役務の提供1（初級編）
7	売上げに係る対価の返還等1（初級編）	37	国境を越えた役務の提供2（初級編）
8	売上げに係る対価の返還等2（初級編）	38	国境を越えた役務の提供3（初級編）
9	貸倒れが生じた場合1（初級編）	39	国境を越えた役務の提供4（初級編）
10	貸倒れが生じた場合2（初級編）	40	国境を越えた役務の提供5（初級編）
11	課税仕入れの範囲1（初級編）	41	中間申告に係る納付税額の計算1（初級編）
12	課税仕入れの範囲2（初級編）	42	中間申告に係る納付税額の計算2（初級編）
13	課税仕入れの範囲3（初級編）	43	課税仕入れ等の分類1（初級編）
14	課税仕入れの範囲4（初級編）	44	課税仕入れ等の分類2（初級編）
15	課税仕入れ等の時期1（初級編）	45	課税仕入れ等の分類3（初級編）
16	課税仕入れ等の時期2（初級編）	46	課税仕入れ等の分類4（初級編）
17	課税仕入れ等の時期3（初級編）	47	課税仕入れ等の分類5（初級編）
18	課税仕入れ等の時期4（初級編）	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例1（初級編）
19	課税売上割合1（初級編）	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例2（初級編）
20	課税売上割合2（初級編）	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例3（初級編）
21	課税売上割合3（初級編）	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1（初級編）
22	課税売上割合4（初級編）	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2（初級編）
23	課税売上割合5（初級編）	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整3（初級編）
24	課税売上割合6（初級編）	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整4（初級編）
25	課税期間における課税売上高1（初級編）	55	納税義務の免除の特例1（初級編）
26	課税期間における課税売上高2（初級編）	56	納税義務の免除の特例2（初級編）
27	課税売上割合に準ずる割合1（初級編）	57	納税義務の免除の特例3（初級編）
28	課税売上割合に準ずる割合2（初級編）	58	納税義務の免除の特例4（初級編）
29	仕入れに係る対価の返還等1（初級編）	59	納税義務の免除の特例5（初級編）
30	仕入れに係る対価の返還等2（初級編）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	88
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額1（基礎）
2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額2（基礎）
3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額3（基礎）
4	相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎）	34	小規模宅地等の減額4（基礎）
5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額5（基礎）
6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額6（基礎）
7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト3(理論)
8	確認テスト1(理論)	38	取引相場のない株式1（基礎）
9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式2（基礎）
10	特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎）	40	取引相場のない株式3（基礎）
11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式4（基礎）
12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式5（基礎）
13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式6（基礎）
14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式7（基礎）
15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式8（基礎）
16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式9（基礎）
17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式10（基礎）
18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式11（基礎）
19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式12（基礎）
20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎）	50	取引相場のない株式13（基礎）
21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
27	確認テスト2(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト4(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　4回分の平均点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	89
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33	みなし配当金Ⅰ（基礎）
4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34	みなし配当金Ⅱ（基礎）
5	欠損金Ⅰ（基礎）	35	資本等取引Ⅰ（基礎）
6	欠損金Ⅱ（基礎）	36	資本等取引Ⅱ（基礎）
7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37	交換差益Ⅰ（基礎）
8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38	交換差益Ⅱ（基礎）
9	有価証券Ⅰ（基礎）	39	交換差益Ⅲ（基礎）
10	有価証券Ⅱ（基礎）	40	別表五㈡Ⅰ（基礎）
11	収用等Ⅰ（基礎）	41	別表五㈡Ⅱ（基礎）
12	収用等Ⅱ（基礎）	42	別表五㈡Ⅲ（基礎）
13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43	別表五㈡Ⅳ（基礎）
14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44	リース取引Ⅰ（基礎）
15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45	リース取引Ⅱ（基礎）
16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46	リース取引Ⅲ（基礎）
17	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）	47	リース取引Ⅳ（基礎）
18	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）	48	繰延資産Ⅰ（基礎）
19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49	繰延資産Ⅱ（基礎）
20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50	繰延資産Ⅲ（基礎）
21	役員判定Ⅰ（基礎）	51	繰延資産Ⅳ（基礎）
22	役員判定Ⅱ（基礎）	52	確定決算型Ⅰ（基礎）
23	役員給与Ⅰ（基礎）	53	確定決算型Ⅱ（基礎）
24	役員給与Ⅱ（基礎）	54	確定決算型Ⅲ（基礎）
25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55	確定決算型Ⅳ（基礎）
26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56	グループ法人税制Ⅰ（基礎）
27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57	グループ法人税制Ⅱ（基礎）
28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58	資産の評価損益（基礎）
29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59	保険料（基礎）
30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60	確認テスト（理論）

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	90
授業科目	所得税法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０回
授業概要	事業所得を中心とした各種所得の意義及び金額（一部）の解説
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各種所得の意義及び金額の計算、所得控除を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	雑所得	31	不動産所得に係る損益通算の特例Ⅱ
2	公的年金等	32	住宅借入金等を有する場合の特別控除Ⅰ
3	生命保険契約等に基づく年金	33	住宅借入金等を有する場合の特別控除Ⅱ
4	源泉徴収の対象となる雑所得	34	住宅借入金等（認定住宅借入金等）Ⅰ
5	退職所得Ⅰ	35	住宅借入金等（認定住宅借入金等）Ⅱ
6	退職所得Ⅱ	36	純損失の繰越控除Ⅰ
7	減価償却4（定率法から定額法への切替え）	37	純損失の繰越控除Ⅱ
8	事業所得	38	所得控除の概要Ⅰ
9	損益通算Ⅰ	39	所得控除の概要Ⅱ
10	損益通算Ⅱ	40	雑損控除
11	棚卸資産等の自家消費・贈与等	41	雑損失の繰越控除
12	少額減価償却資産等	42	基礎控除
13	受贈益の取扱い	43	医療費控除Ⅰ
14	売上原価Ⅰ	44	医療費控除Ⅱ
15	売上原価Ⅱ	45	社会保険料控除
16	売上原価Ⅲ	46	小規模企業共済等掛金控除
17	必要経費1Ⅰ	47	生命保険料控除Ⅰ
18	必要経費1Ⅱ	48	生命保険料控除Ⅱ
19	資産損失（全部損壊の場合）	49	地震保険料控除Ⅰ
20	貸倒損失	50	地震保険料控除Ⅱ
21	取得した保険金・損害賠償金等2	51	寄附金控除Ⅰ
22	貸倒引当金Ⅰ	52	寄附金控除Ⅱ
23	貸倒引当金Ⅱ	53	障害者控除Ⅰ
24	貸倒引当金Ⅲ	54	障害者控除Ⅱ
25	必要経費2	55	寡婦控除・ひとり親控除Ⅰ
26	事業を営む居住者の取扱い	56	寡婦控除・ひとり親控除Ⅱ
27	給与所得Ⅰ	57	勤労学生控除Ⅰ
28	給与所得Ⅱ	58	配偶者控除
29	特定支出の控除の特例	59	配偶者特別控除
30	不動産所得に係る損益通算の特例Ⅰ	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	91
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　課税仕入れ等の時期1（初級編） 2　課税仕入れ等の時期2（初級編） 3　課税売上割合1（初級編） 4　課税売上割合2（初級編） 5　課税期間における課税売上高1（初級編） 6　課税期間における課税売上高2（初級編） 7　課税売上割合に準ずる割合1（初級編） 8　課税売上割合に準ずる割合2（初級編） 9　仕入れに係る対価の返還等（初級編） 10　納税義務の免除（初級編） 11　国境を越えた役務の提供1（初級編） 12　国境を越えた役務の提供2（初級編） 13　国境を越えた役務の提供3（初級編） 14　中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 15　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	92
授業科目	簿記論基礎Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　固定資産Ｉ１（基礎編） 2　固定資産Ｉ２（基礎編） 3　ソフトウェアＩ１（基礎編） 4　債権債務Ｉ１（基礎編） 5　貸倒れＩ１（基礎編） 6　退職給付会計Ｉ１（基礎編） 7　退職給付会計Ｉ２（基礎編） 8　税金Ｉ１（基礎編） 9　社債Ｉ１（基礎編） 10　社債Ｉ２（基礎編） 11　純資産会計Ｉ１（基礎編） 12　純資産会計Ｉ２（基礎編） 13　有価証券Ｉ１（基礎編） 14　有価証券Ｉ２（基礎編） 15　確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	93
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正1（基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正2（基礎） 3 会計上の変更及び誤謬の訂正3（基礎） 4 会計上の変更及び誤謬の訂正4（基礎） 5 会計上の変更及び誤謬の訂正5（基礎） 6 分配可能額1（基礎） 7 分配可能額2（基礎） 8 分配可能額3（基礎） 9 分配可能額4（基礎） 10 分配可能額5（基礎） 11 ストック・オプション1（基礎） 12 ストック・オプション2（基礎） 13 ストック・オプション3（基礎） 14 ストック・オプション4（基礎） 15 ストック・オプション5（基礎） 16 セール＆リースバック1（基礎） 17 セール＆リースバック2（基礎） 18 セール＆リースバック3（基礎） 19 セール＆リースバック4（基礎） 20 セール＆リースバック5（基礎） 21 財務諸表等規則1（基礎） 22 財務諸表等規則2（基礎） 23 財務諸表等規則3（基礎） 24 財務諸表等規則4（基礎） 25 財務諸表等規則5（基礎） 26 負債1（基礎） 27 負債2（基礎） 28 負債3（基礎） 29 負債4（基礎） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	94
授業科目	消費税法基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 2　棚卸資産に係る仕入税額控除の調整1（初級編） 3　棚卸資産に係る仕入税額控除の調整2（初級編） 4　課税標準1（初級編） 5　課税標準2（初級編） 6　課税標準3（初級編） 7　課税標準4（初級編） 8　簡易課税制度1（初級編） 9　簡易課税制度2（初級編） 10　簡易課税制度3（初級編） 11　簡易課税制度4（初級編） 12　簡易課税制度5（初級編） 13　簡易課税制度6（初級編） 14　簡易課税制度7（初級編） 15　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	95
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎） 2 上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎） 3 宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎） 4 純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎） 5 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎） 6 立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎） 7 贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎） 8 負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎） 9 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 10 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎） 11 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 12 証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎） 13 不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎） 14 権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	96
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 設立事業年度（応用） 2 組織再編税制（応用） 3 工事の請負（応用） 4 修正申告（応用） 5 税効果会計（応用） 6 賃上げ・投資促進税制（応用） 7 スピンオフ税制（応用） 8 特定同族会社の特別税率（応用） 9 適用除外事業者（応用） 10 地方法人税（応用） 11 外国子会社配当（応用） 12 借地権等（応用） 13 償還差損益（応用） 14 未収還付税金（応用） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	97
授業科目	所得税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：西村　愛真
	実務経験：税理士事務所で税理士として勤務 授業との関連性：税理士事務所での税務業務の実務経験を活かした授業
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	所得控除及び譲渡所得の金額の計算の解説
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各種所得の意義及び金額の計算を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　扶養控除Ⅰ 2　扶養控除Ⅱ 3　扶養親族等の判定時期 4　課税標準の合計額と合計所得金額 5　譲渡所得Ⅰ 6　取得費Ⅰ 7　取得費Ⅱ 8　みなし譲渡1 9　山林所得Ⅰ 10　山林所得Ⅱ 11　みなし譲渡2 12　生活に通常必要でない資産の損失の金額 13　居住用財産の譲渡Ⅰ 14　居住用財産の譲渡Ⅱ 15　確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	98
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　課税仕入れ等の分類1（初級編） 2　課税仕入れ等の分類2（初級編） 3　課税仕入れ等の分類3（初級編） 4　非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編） 5　調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整1（初級編） 6　調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整2（初級編） 7　納税義務の免除の特例1（初級編） 8　納税義務の免除の特例2（初級編） 9　納税義務の免除の特例3（初級編） 10　納税義務の免除の特例4（初級編） 11　納税義務の免除の特例5（初級編） 12　合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算1（初級編） 13　合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算2（初級編） 14　棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目2（初級編） 15　課税標準1（初級編） 16　課税標準2（初級編） 17　簡易課税制度1（初級編） 18　簡易課税制度2（初級編） 19　簡易課税制度3（初級編） 20　簡易課税制度4（初級編） 21　軽減税率1（初級編） 22　軽減税率2（初級編） 23　旧税率に関する経過措置1（初級編） 24　旧税率に関する経過措置2（初級編） 25　複数税率の場合の計算1（初級編） 26　複数税率の場合の計算2（初級編） 27　国等に対する特例1（初級編） 28　国等に対する特例2（初級編） 29　特殊項目3（税抜経理方式）（初級編） 30　確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	99
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　国税徴収法の目的（基礎） 2　納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（基礎） 3　強制換価手続（基礎） 4　担保の種類（基礎） 5　滞納処分の概要（基礎） 6　国税に優先する権利（基礎） 7　国税相互間の優先関係（基礎） 8　財産の調査（基礎） 9　最優先される被担保債権（基礎） 10　法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎） 11　法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎） 12　不動産賃貸の先取特権等（基礎） 13　法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（基礎） 14　譲受前にある担保権（基礎） 15　担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎） 16　差押の制限等、解除（基礎） 17　差押の共通手続（基礎） 18　第三者からの差押換え（基礎） 19　差押換え（換価申立ての細部）（基礎） 20　相続人からの差押換え（基礎） 21　動産又は有価証券の差押え（基礎） 22　第三者が占有する動産等の差押手続（基礎） 23　引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎） 24　国税徴収法第26条の計算（基礎） 25　債権の差押え（基礎） 26　不動産等の差押え（基礎） 27　第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎） 28　第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎） 29　国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎） 30　確認テスト（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	100
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）1 2　財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）1 3　管理会計　択一式総合問題　（初級編）1 4　企業法　択一式総合問題　（初級編）1 5　監査論　択一式総合問題　（初級編）1 6　財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）2 7　財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）2 8　管理会計　択一式総合問題　（初級編）2 9　企業法　択一式総合問題　（初級編）2 10　監査論　択一式総合問題　（初級編）2 11　財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）3 12　財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）3 13　管理会計　択一式総合問題　（初級編）3 14　企業法　択一式総合問題　（初級編）3 15　監査論　択一式総合問題　（初級編）3
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	101
授業科目	管理会計論応用演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	102
授業科目	財務会計論応用演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15 16　記述式応用問題　（初級編）16 17　記述式応用問題　（初級編）17 18　記述式応用問題　（初級編）18 19　記述式応用問題　（初級編）19 20　記述式応用問題　（初級編）20 21　記述式応用問題　（初級編）21 22　記述式応用問題　（初級編）22 23　記述式応用問題　（初級編）23 24　記述式応用問題　（初級編）24 25　記述式応用問題　（初級編）25 26　記述式応用問題　（初級編）26 27　記述式応用問題　（初級編）27 28　記述式応用問題　（初級編）28 29　記述式応用問題　（初級編）29 30　記述式応用問題　（初級編）30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	103
授業科目	企業法応用演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	104
授業科目	監査論応用演習Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	105
授業科目	経営学応用演習Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	106
授業科目	租税法応用演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式応用問題　（初級編）1 2　記述式応用問題　（初級編）2 3　記述式応用問題　（初級編）3 4　記述式応用問題　（初級編）4 5　記述式応用問題　（初級編）5 6　記述式応用問題　（初級編）6 7　記述式応用問題　（初級編）7 8　記述式応用問題　（初級編）8 9　記述式応用問題　（初級編）9 10　記述式応用問題　（初級編）10 11　記述式応用問題　（初級編）11 12　記述式応用問題　（初級編）12 13　記述式応用問題　（初級編）13 14　記述式応用問題　（初級編）14 15　記述式応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	107
授業科目	財務会計論簿記入門Ｖ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リース取引総論 2 オペレーティング・リース 3 所有権移転ファイナンス・リース 4 所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権） 5 所有権移転外ファイナンス・リース 6 所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証） 7 維持管理費相当額 8 リース料の前払い 9 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理1） 10 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理2） 11 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理3） 12 セール・アンド・リースバック取引 13 転リース取引 14 無形固定資産総論 15 のれん 16 研究開発費 17 市場販売目的のソフトウェア 18 自社利用目的のソフトウェア 19 投資その他の資産 20 固定資産の減損総論 21 減損損失の判定と測定 22 将来キャッシュ・フローの見積 23 共用資産の減損 24 のれんの減損 25 繰延資産 26 社債総論 27 買入償還（定額法） 28 買入償還（利息法） 29 巻末総合問題演習1 30 巻末総合問題演習2
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	108
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 通常の販売目的で保有する棚卸資産 2 トレーディング目的で保有する棚卸資産 3 売価還元法と最終仕入原価法 4 固定資産の取得原価の決定 5 資本的支出と収益的支出 6 減価償却 7 個別償却と総合償却 8 減耗償却と取替法 9 圧縮記帳 10 株式交付費 11 社債発行費等 12 創立費 13 開業費 14 開発費 15 支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	109
授業科目	管理会計論入門Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　標準原価計算総論 2　標準原価計算の目的 3　標準原価の種類 4　標準原価計算制度の手続 5　製品原価の計算 6　原価差異の計算 7　原価差異の原因分析 8　原価差異の把握方法 9　標準原価計算の記帳方法 10　原価差異の会計処理 11　仕損・減損が生じる場合（終点発生） 12　仕損・減損が生じる場合（始点発生） 13　仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生） 14　管理会計の意義 15　財務会計と管理会計の相違 16　管理会計の体系 17　財務情報分析 18　財務情報分析の意義 19　財務情報分析の種類 20　収益性分析 21　投下資本利益率 22　投下資本利益率の分解 23　安全性分析 24　短期財務安全性分析 25　長期財務安全性分析 26　キャッシュフロー分析 27　授業内演習1 28　授業内演習2 29　授業内演習3 30　授業内演習4
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	110
授業科目	企業法入門Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算書類その他 2 資本金・準備金・剰余金 3 剰余金の配当 4 定款変更の意義 5 定款変更の手続 6 発行可能株式総数 7 事業譲渡等 8 組織再編　総説 9 組織変更 10 合併　総説 11 会社分割　総説 12 株式交換・株式移転　総説 13 持分法会社の組織再編 14 会社の清算 15 持分会社
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	111
授業科目	監査論入門Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 継続企業の前提とは 2 継続企業の前提に関する経営者の対応 3 継続企業の前提に対する監査人の対応 4 中間監査総論 5 四半期レビュー制度 6 特別目的会社の財務諸表の監査 7 内部統制報告制度概要 8 会計監査人監査制度概要 9 金融商品取引法による企業内容開示制度 10 公認会計士法 11 公認会計士制度の創設・発足 12 倫理規則の趣旨及び精神 13 保証業務概論 14 保証業務の位置付け 15 公認会計士制度の創設・発足
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	112
授業科目	財務会計論簿記計算特訓Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　確定給付企業年金制度（一連の会計処理） 2　確定給付企業年金制度（従業員拠出） 3　確定給付企業年金制度（数理計算上の差異） 4　確定給付企業年金制度（過去勤務費用） 5　確定給付企業年金制度（年金資産の返還） 6　確定給付企業年金制度（退職給付信託） 7　確定拠出企業年金制度 8　退職給付制度の終了 9　資産除去債務総論 10　見積りの変更（見積額が増加する場合） 11　見積りの変更（見積額が増加する場合） 12　資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法） 13　資産除去債務が複数の資産から構成される場合 14　巻末総合問題演習1 15　巻末総合問題演習2
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	113
授業科目	管理会計論計算特訓Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 材料費会計 2 労務費会計 3 経費会計 4 製造間接費会計 5 部門別計算 6 個別原価計算 7 部門別個別原価計算 8 総合原価計算1 9 総合原価計算2 10 総合原価計算3 11 総合原価計算4 12 標準原価計算1 13 標準原価計算2 14 標準原価計算3 15 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	114
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算応用問題　（初級編）1 2　計算応用問題　（初級編）2 3　計算応用問題　（初級編）3 4　計算応用問題　（初級編）4 5　計算応用問題　（初級編）5 6　計算応用問題　（初級編）6 7　計算応用問題　（初級編）7 8　計算応用問題　（初級編）8 9　計算応用問題　（初級編）9 10　計算応用問題　（初級編）10 11　計算応用問題　（初級編）11 12　計算応用問題　（初級編）12 13　計算応用問題　（初級編）13 14　計算応用問題　（初級編）14 15　計算応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	115
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算応用問題　（初級編）1 2　計算応用問題　（初級編）2 3　計算応用問題　（初級編）3 4　計算応用問題　（初級編）4 5　計算応用問題　（初級編）5 6　計算応用問題　（初級編）6 7　計算応用問題　（初級編）7 8　計算応用問題　（初級編）8 9　計算応用問題　（初級編）9 10　計算応用問題　（初級編）10 11　計算応用問題　（初級編）11 12　計算応用問題　（初級編）12 13　計算応用問題　（初級編）13 14　計算応用問題　（初級編）14 15　計算応用問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	116
授業科目	管理会計論直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	117
授業科目	財務会計論直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15 16　記述式総合問題　（初級編）16 17　記述式総合問題　（初級編）17 18　記述式総合問題　（初級編）18 19　記述式総合問題　（初級編）19 20　記述式総合問題　（初級編）20 21　記述式総合問題　（初級編）21 22　記述式総合問題　（初級編）22 23　記述式総合問題　（初級編）23 24　記述式総合問題　（初級編）24 25　記述式総合問題　（初級編）25 26　記述式総合問題　（初級編）26 27　記述式総合問題　（初級編）27 28　記述式総合問題　（初級編）28 29　記述式総合問題　（初級編）29 30　記述式総合問題　（初級編）30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	118
授業科目	企業法直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	119
授業科目	監査論直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	120
授業科目	経営学直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	121
授業科目	租税法直前演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式総合問題　（初級編）1 2　記述式総合問題　（初級編）2 3　記述式総合問題　（初級編）3 4　記述式総合問題　（初級編）4 5　記述式総合問題　（初級編）5 6　記述式総合問題　（初級編）6 7　記述式総合問題　（初級編）7 8　記述式総合問題　（初級編）8 9　記述式総合問題　（初級編）9 10　記述式総合問題　（初級編）10 11　記述式総合問題　（初級編）11 12　記述式総合問題　（初級編）12 13　記述式総合問題　（初級編）13 14　記述式総合問題　（初級編）14 15　記述式総合問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	122
授業科目	論文式対策総合Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　解答上の留意点 2　財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）1 3　財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）1 4　管理会計　記述式模擬試験　（初級編）1 5　企業法　記述式模擬試験　（初級編）1 6　監査論　記述式模擬試験　（初級編）1 7　租税法　記述式模擬試験　（初級編）1 8　経営学　記述式模擬試験　（初級編）1 9　財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）2 10　財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）2 11　管理会計　記述式模擬試験　（初級編）2 12　企業法　記述式模擬試験　（初級編）2 13　監査論　記述式模擬試験　（初級編）2 14　租税法　記述式模擬試験　（初級編）2 15　経営学　記述式模擬試験　（初級編）2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	123
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　純資産会計総論 2　株式の発行 3　剰余金の配当 4　計数の変動 5　剰余金の処分 6　自己株式 7　分配可能額の算定1 8　分配可能額の算定2 9　株主資本等変動計算書 10　新株予約権総論 11　新株予約権の会計処理（発行者側） 12　自己新株予約権 13　新株予約権の開示 14　新株予約権の会計処理（取得者側） 15　新株予約権付社債（総論） 16　新株予約権付社債の会計処理（発行者側）1 17　新株予約権付社債の会計処理（発行者側）2 18　新株予約権付社債の会計処理（取得者側）1 19　新株予約権付社債の会計処理（取得者側）2 20　ストック・オプション（総論） 21　権利不確定による失効 22　対象勤務期間 23　段階的に権利行使が可能となる場合 24　公正な評価単価の変動 25　ストック・オプション数の変動 26　費用の計上期間を変動させる条件変更 27　法人税 28　事業税 29　消費税 30　その他税金
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	124
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 製品保証引当金 2 売上割戻引当金 3 返品調整引当金 4 修繕引当金 5 資産除去債務の範囲 6 資産除去債務の会計処理 7 資産除去債務の開示 8 株主資本の分類 9 資本金 10 資本剰余金 11 利益剰余金 12 自己株式 13 資本金および準備金の額の減少 14 資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止 15 剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	125
授業科目	管理会計論基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　短期利益計画のための管理会計 2　短期利益計画の基礎 3　利益計画の意義 4　中期経営計画と短期利益計画 5　短期利益計画のプロセス 6　CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis） 7　CVP分析の意義 8　原価・営業量・利益の関係 9　CVP分析の仮定 10　損益分岐点売上高（販売量）の算定 11　希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定 12　希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高 13　損益分岐図表・限界利益図表 14　安全（余裕）率・損益分岐点比率 15　経営レバレッジ係数 16　多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析 17　多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成 18　CVP感度分析 19　営業外損益の取り扱い 20　全部原価計算の損益分岐分析 21　CVPC分析 22　原価分解の必要性 23　原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類 24　原価分解の方法 25　直接原価計算の基礎 26　直接原価計算の意義 27　直接原価計算の特徴 28　直接原価計算の有用性 29　全部原価計算との関係 30　授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	126
授業科目	企業法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会社の概念 2 会社の種類 3 株式会社の概念 4 会社設立 5 発起人 6 定款の作成 7 発起設立と募集設立 8 変態設立事項に関する規制 9 設立登記 10 設立関与者の責任 11 設立の瑕疵 12 株式の意義 13 株式不可分の原則 14 株主の権利・義務の意義 15 株主の権利に関する規定 16 株主平等原則の意義 17 株主平等原則の趣旨・効果 18 株主平等原則の例外 19 株式譲渡自由の原則 20 自己株式取得規制の概要 21 子会社による親会社株式の取得 22 株券の意義 23 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件 24 株主名簿の意義等 25 名義書換制度 26 株式の担保化 27 株式振替制度の意義 28 端数が生ずる場合 29 単元株制度の意義 30 株式等売渡請求の概要
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	127
授業科目	監査論基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした有識者の講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　財務諸表監査総論 2　意見表明の対象である財務諸表 3　監査主体論、監査基準論 4　監査人 5　職業倫理（監査人に要求される条件） 6　専門能力及び知識 7　主要勘定と帳簿、証拠等の例 8　アサーション 9　監査技術　監査証拠 10　監査技術　閲覧 11　監査技術　帳簿突合 12　監査技術　証憑突合 13　監査技術　実査 14　監査技術　観察 15　監査技術　再計算
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	128
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算総合問題　（初級編）1 2　計算総合問題　（初級編）2 3　計算総合問題　（初級編）3 4　計算総合問題　（初級編）4 5　計算総合問題　（初級編）5 6　計算総合問題　（初級編）6 7　計算総合問題　（初級編）7 8　計算総合問題　（初級編）8 9　計算総合問題　（初級編）9 10　計算総合問題　（初級編）10 11　計算総合問題　（初級編）11 12　計算総合問題　（初級編）12 13　計算総合問題　（初級編）13 14　計算総合問題　（初級編）14 15　計算総合問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	129
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　計算総合問題　（初級編）1 2　計算総合問題　（初級編）2 3　計算総合問題　（初級編）3 4　計算総合問題　（初級編）4 5　計算総合問題　（初級編）5 6　計算総合問題　（初級編）6 7　計算総合問題　（初級編）7 8　計算総合問題　（初級編）8 9　計算総合問題　（初級編）9 10　計算総合問題　（初級編）10 11　計算総合問題　（初級編）11 12　計算総合問題　（初級編）12 13　計算総合問題　（初級編）13 14　計算総合問題　（初級編）14 15　計算総合問題　（初級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	130
授業科目	企業法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総説ー株式会社の機関設計 2 公開会社の機関構造の特色 3 株主総会の権限 4 総会屋対策 5 株主総会決議の瑕疵 6 取締役の行為規制の必要性 7 善管注意義務と忠実義務 8 利益相反取引 9 取締役の報酬規制 10 違反行為差止請求権 11 取締役会の意義・設置 12 代表取締役の意義・設置 13 監査役の権限・義務 14 監査役会の権限 15 会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	131
授業科目	監査論基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　監査技術　再実施 2　監査技術　質問 3　監査技術　年齢調べ 4　監査技術　棚卸資産に対する手続 5　監査技術　確認 6　監査技術　分析的手続 7　監査技術　経営者確認書 8　リスク・アプローチ 9　監査リスク 10　リスク評価手続の全体像 11　リスク・アプローチとの関係 12　監査とIT 13　ITの特徴1 14　ITの特徴2 15　監査に係る予備的な活動　契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	132
授業科目	財務会計簿記基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　基礎演習1 2　基礎演習2 3　基礎演習3 4　個別基礎問題　（中級編）1 5　個別基礎問題　（中級編）2 6　個別基礎問題　（中級編）3 7　個別基礎問題　（中級編）4 8　個別基礎問題　（中級編）5 9　個別基礎問題　（中級編）6 10　個別基礎問題　（中級編）7 11　個別基礎問題　（中級編）8 12　個別基礎問題　（中級編）9 13　個別基礎問題　（中級編）10 14　個別基礎問題　（中級編）11 15　確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	133
授業科目	財務会計簿記上級演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（中級編）1 2 計算基礎問題　（中級編）2 3 計算基礎問題　（中級編）3 4 計算基礎問題　（中級編）4 5 計算基礎問題　（中級編）5 6 計算基礎問題　（中級編）6 7 計算基礎問題　（中級編）7 8 計算基礎問題　（中級編）8 9 計算基礎問題　（中級編）9 10 計算基礎問題　（中級編）10 11 計算基礎問題　（中級編）11 12 計算基礎問題　（中級編）12 13 計算基礎問題　（中級編）13 14 計算基礎問題　（中級編）14 15 計算基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	134
授業科目	管理会計論上級演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（中級編）1 2 計算基礎問題　（中級編）2 3 計算基礎問題　（中級編）3 4 計算基礎問題　（中級編）4 5 計算基礎問題　（中級編）5 6 計算基礎問題　（中級編）6 7 計算基礎問題　（中級編）7 8 計算基礎問題　（中級編）8 9 計算基礎問題　（中級編）9 10 計算基礎問題　（中級編）10 11 計算基礎問題　（中級編）11 12 計算基礎問題　（中級編）12 13 計算基礎問題　（中級編）13 14 計算基礎問題　（中級編）14 15 計算基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	135
授業科目	短答式対策上級総合Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）1 2　財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）1 3　管理会計　択一式応用問題　（中級編）1 4　企業法　択一式応用問題　（中級編）1 5　監査論　択一式応用問題　（中級編）1 6　財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）2 7　財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）2 8　管理会計　択一式応用問題　（中級編）2 9　企業法　択一式応用問題　（中級編）2 10　監査論　択一式応用問題　（中級編）2 11　財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）3 12　財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）3 13　管理会計　択一式応用問題　（中級編）3 14　企業法　択一式応用問題　（中級編）3 15　監査論　択一式応用問題　（中級編）3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	136
授業科目	租税法基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 法人税額の計算の基礎 3 使途秘匿金（追加課税される金額） 4 外国税額控除 5 貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合） 6 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 7 収用等の特別控除（特別控除の適用要件） 8 圧縮記帳 9 役員・使用人兼務役員の判定 10 役員給与（1項基準額） 11 使用人給与 12 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 13 みなし配当 14 グループ法人税制（概要） 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	137
授業科目	経営学基礎Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 バランスト・スコアカード（BSC） 2 デリバティブ 3 先物取引 4 オプション取引 5 オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成） 6 金利オプション 7 スワップ取引 8 テイラーの科学的管理法 9 ファヨールの管理論 10 人間関係論と近代モチベーション論 11 バーナード理論 12 サイモン、マーチの理論 13 管理原則論 14 組織構造論（各論） 15 組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	138
授業科目	租税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得） 3 減価償却 4 課税標準・課税所得金額の計算 5 所得控除額の計算 6 納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収） 7 申告・納付 8 源泉徴収 9 有価証券に係る課税の特例 10 消費税法の概要 11 仕入れに係る消費税額 12 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 13 仕入れに係る対価の返還等 14 売上げに係る対価の返還等 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	139
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	140
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15 16　記述式基礎問題　（中級編）16 17　記述式基礎問題　（中級編）17 18　記述式基礎問題　（中級編）18 19　記述式基礎問題　（中級編）19 20　記述式基礎問題　（中級編）20 21　記述式基礎問題　（中級編）21 22　記述式基礎問題　（中級編）22 23　記述式基礎問題　（中級編）23 24　記述式基礎問題　（中級編）24 25　記述式基礎問題　（中級編）25 26　記述式基礎問題　（中級編）26 27　記述式基礎問題　（中級編）27 28　記述式基礎問題　（中級編）28 29　記述式基礎問題　（中級編）29 30　記述式基礎問題　（中級編）30
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	141
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	142
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	143
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	144
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　記述式基礎問題　（中級編）1 2　記述式基礎問題　（中級編）2 3　記述式基礎問題　（中級編）3 4　記述式基礎問題　（中級編）4 5　記述式基礎問題　（中級編）5 6　記述式基礎問題　（中級編）6 7　記述式基礎問題　（中級編）7 8　記述式基礎問題　（中級編）8 9　記述式基礎問題　（中級編）9 10　記述式基礎問題　（中級編）10 11　記述式基礎問題　（中級編）11 12　記述式基礎問題　（中級編）12 13　記述式基礎問題　（中級編）13 14　記述式基礎問題　（中級編）14 15　記述式基礎問題　（中級編）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	145
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結財務諸表総論 2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成 3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成 4 段階取得（その他投資先から子会社） 5 段階取得（関連会社から子会社） 6 子会社株式の追加取得 7 子会社株式の一部売却 8 連結除外（関連会社になった場合） 9 連結除外（関連会社にも該当しなくなった場合） 10 子会社の増資（株主割当有償増資） 11 子会社の増資（第三者割当有償増資） 12 子会社の新株予約権の取扱い 13 子会社が保有する自己株式 14 評価差額の実現（非償却性資産） 15 評価差額の実現（償却性資産） 16 成果連結総論 17 未実現利益の消去（棚卸資産） 18 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整 19 未達取引（未達商品） 20 未達取引（決済未達） 21 手形取引 22 未実現利益の消去（非償却性資産） 23 未実現利益の消去（償却性資産） 24 社債取引（発行時取得） 25 社債取引（発行後取得） 26 持分法総論 27 持分法（追加取得） 28 持分法（一部売却） 29 持分法（持分法除外） 30 持分法（未実現利益の消去） 31 連結税効果（未実現利益：棚卸資産） 32 連結税効果（未実現利益：非償却性資産） 33 連結税効果（未実現利益：償却性資産） 34 連結税効果（未実現利益：持分法適用会社） 35 連結税効果（貸倒引当金） 36 連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産） 37 連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産） 38 連結税効果（関連会社の評価差額） 39 連結税効果（財務諸表表示） 40 連結税効果（税率の変更） 41 包括利益総論 42 巻末総合問題演習1 43 巻末総合問題演習2 44 巻末総合問題演習3 45 巻末総合問題演習4
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	146
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　株主資本等変動計算書の目的 2　株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲 3　株主資本等変動計算書の表示方法 4　株主資本等変動計算書の注記事項 5　キャッシュ・フロー計算書の作成目的 6　利益とキャッシュ・フロー 7　資金概念 8　キャッシュ・フロー計算書の区分 9　直接法と間接法 10　キャッシュ・フロー計算書の注記事項 11　会計方針 12　後発事象 13　偶発事象 14　時価情報 15　継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	147
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 直接実際原価計算 2 直接実際原価計算の意義 3 直接実際原価計算による損益計算書 4 固定費調整 5 直接標準原価計算 6 直接標準原価計算の意義 7 直接標準原価計算による損益計算書 8 直接標準原価計算における固定費調整 9 直接原価計算に関する諸論点 10 生産・販売量と営業利益の関係の整理 11 セグメント別損益計算書 12 固定費（キャパシテイ・コスト）の管理 13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由 14 予算管理の基礎 15 予算と予算管理の意義 16 予算管理のプロセス 17 予算管理と責任会計 18 予算の種類 19 予算編成の方法 20 予算編成の手順 21 予算統制 22 予算実績差異分析の意義と手続 23 予算実績比較損益計算書の作成 24 予算実績差異分析の詳細 25 予算報告書 26 講義内演習1 27 講義内演習2 28 講義内演習3 29 講義内演習4 30 講義内演習5
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	148
授業科目	企業法基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 資金調達総説 2 募集株式の発行等の意義 3 募集事項の決定事項 4 募集事項の決定機関 5 募集株式の申込み 6 募集株式の割当て 7 総数引受の場合ー申込み・割当ての例外 8 募集株式の引受け 9 申込み（引受け）の瑕疵ー引受けの無効又は取消しの制限 10 出資の履行等 11 失権株式 12 募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記 13 払込金額が不公正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任 14 違法発行に対する措置 15 新株予約権の意義 16 募集新株予約権の発行 17 新株予約権の譲渡 18 新株予約権の行使 19 新株予約権無償割当て（277条～） 20 株式と社債の共通点 21 株式と社債の相違点 22 株式と社債の接近化現象 23 募集株式の発行手続 24 社債原簿 25 社債管理者 26 社債権者集会 27 社債の譲渡（社債券を発行しない場合） 28 社債の譲渡（社債券を発行する場合） 29 利息の支払 30 社債の償還
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	149
授業科目	監査論基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　監査に係る予備的な活動　意義 2　監査に係る予備的な活動　何を検討するのか 3　監査に係る予備的な活動　検討の結果 4　監査計画の定義 5　監査計画の分類 6　監査証拠の入手方法 7　監査サンプリング 8　重要性の定義 9　監査上の重要性が用いられる場面 10　重要な虚偽表示か否かの判断 11　監査上の重要性の例 12　重要性の基準値の決定 13　特別な検討を必要とするリスクの定義等 14　特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価 15　関連当事者とは
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	150
授業科目	日本語概論Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	読解力・表現力の習得と日本語能力の向上を図る
授業の進め方	テーマを設定しオリジナルテキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	中級レベルの日本語文章を理解し、社会人としての知識を取得する
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント・飼料
特記	
授業計画	1 テーマ「異文化理解Ⅰ」：文字・語彙 2 テーマ「異文化理解Ⅱ」：文法・読解 3 テーマ「自然科学の理解Ⅰ」：文字・語彙 4 テーマ「自然科学の理解Ⅱ」：文法・読解 5 復習演習：「異文化の理解」・「自然科学の理解」 6 テーマ「福祉業界の理解Ⅰ」：文字・語彙 7 テーマ「福祉業界の理解Ⅱ」：文法・読解 8 テーマ「仕事選びの理解Ⅰ」：文字・語彙 9 テーマ「仕事選びの理解Ⅱ」：文法・読解 10 復習演習：「福祉業界の理解」・「仕事選びの理解」 11 テーマ「教育業界の理解Ⅰ」：文字・語彙 12 テーマ「教育業界の理解Ⅱ」：文法・読解 13 テーマ「社会の理解Ⅰ」：文字・語彙 14 テーマ「社会の理解Ⅱ」：文法・読解 15 復習演習：「教育業界の理解」・「社会の理解」
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	151
授業科目	日本語基礎Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	読解力・表現力の習得と日本語能力の向上を図る
授業の進め方	テーマを設定しオリジナルテキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	中級レベルの日本語文章を理解し、社会人としての知識を取得する
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 テーマ「環境の理解」：文字・語彙① 2 テーマ「環境の理解」：文字・語彙② 3 テーマ「環境の理解」：文字・語彙③ 4 テーマ「環境の理解」：文法・読解① 5 テーマ「環境の理解」：文法・読解② 6 テーマ「環境の理解」：文法・読解③ 7 テーマ「メディアの理解」：文字・語彙① 8 テーマ「メディアの理解」：文字・語彙② 9 テーマ「メディアの理解」：文字・語彙③ 10 テーマ「メディアの理解」：文法・読解① 11 テーマ「メディアの理解」：文法・読解② 12 テーマ「メディアの理解」：文法・読解③ 13 復習演習：「環境の理解」・「メディアの理解」 14 テーマ「科学技術の理解」：文字・語彙① 15 テーマ「科学技術の理解」：文字・語彙② 16 テーマ「科学技術の理解」：文字・語彙③ 17 テーマ「科学技術の理解」：文法・読解① 18 テーマ「科学技術の理解」：文法・読解② 19 テーマ「科学技術の理解」：文法・読解③ 20 テーマ「人生の理解」：文字・語彙① 21 テーマ「人生の理解」：文字・語彙② 22 テーマ「人生の理解」：文字・語彙③ 23 テーマ「人生の理解」：文法・読解① 24 テーマ「人生の理解」：文法・読解② 25 テーマ「人生の理解」：文法・読解③ 26 復習演習：「科学技術の理解」・「人生の理解」 27 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文字・語彙① 28 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文字・語彙② 29 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文字・語彙③ 30 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文法・読解① 31 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文法・読解② 32 テーマ「グローバリゼーションの理解」：文法・読解③ 33 テーマ「コミュニケーションの理解」：文字・語彙① 34 テーマ「コミュニケーションの理解」：文字・語彙② 35 テーマ「コミュニケーションの理解」：文字・語彙③ 36 テーマ「コミュニケーションの理解」：文法・読解① 37 テーマ「コミュニケーションの理解」：文法・読解② 38 テーマ「コミュニケーションの理解」：文法・読解③ 39 復習演習：「グローバリゼーションの理解」・「コミュニケーションの理解」 40 グループワーク① 41 グループワーク② 42 グループワーク③ 43 グループ発表① 44 グループ発表② 45 グループ発表③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	152	
授業科目	ホテル実習Ⅲ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	９０時間（３単位）	
授業コマ数	１２日以上（1日７．５時間勤務を目安に９０時間以上）	
授業概要	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける。	
授業の進め方	実際にホテルで働きながら、仕事を覚える。	
達成目標	ホテルでの仕事の基本が理解できるようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1	ホテル受け入れ研修
	2	配属先基礎研修
	3	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	4	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	5	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	6	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	7	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	8	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	9	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	10	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	11	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
	12	OJT（前期宿泊部門の場合は、料飲部門、前期料飲部門の場合は宿泊部門）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習１００％　実習先による評価シートの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	153	
授業科目	ホテルビジネスマナー	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５回	
授業概要	ホテルスタッフとしてのビジネスマナーを学ぶ	
授業の進め方	講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ホテルスタッフとしてのお客様への対応ができるようになる	
教科書	講師作成プリント	
特記		
授業計画	1	ホスピタリティとマナー
	2	ホテルスタッフの立居振舞
	3	ベルサービスの応対（クロークでの応対）
	4	ベルサービスの応対（空港リムジンバスの案内と予約受付）
	5	ベルサービスの応対（空港リムジンバスの案内と予約受付）
	6	フロント応対の流れ（チェックイン）
	7	フロント応対の流れ（チェックアウト）
	8	コンシェルジュ業務
	9	外客接遇
	10	海外からのお客様のリクエスト応対
	11	レストランのサプライズサービス
	12	結婚披露宴のサービスの流れ
	13	宴会場での料理サービス方法
	14	リゾートホテルのサービス／旅館のサービス
	15	ホテルの勤務形態
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	154
授業科目	ホテルマーケティング応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	ホテルマーケティングについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ホテルマーケティングを理解し、宿泊プランニングに活かすことができる
教科書	ホテルマーケティング
特記	
授業計画	1 マーケティングとは／マーケティングの原則 2 ホテルマーケティングの基礎知識 3 ホテルマーケティングの課題と今後の方向性 4 ホテル市場の現状 5 ホテルの広報活動の実例研究 6 ホテルマーケティング活動の留意点／市場調査・商品計画 7 セールス活動／広報と広告宣伝 8 MICEとは 9 販売促進 10 顧客管理 11 苦情処理 12 UG客・暴力団への対応、マーケティングにおける法的規制 13 構想・企画に関する技法 14 計数管理に関する技法 15 広報・広告に関する技法
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	155
授業科目	言語知識Ｉ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	観光産業で必要な英会話を学ぶ
授業の進め方	テキストを用いてネイティブ講師による会話練習
達成目標	お客様と基本的な英語の応対ができるようになる
教科書	ENGLISHI FOR TOURISM Intermediate
特記	英会話学校で講師をしている
授業計画	1 英語で自己紹介／初対面の人とのやり取り 2 英語面接での応対方法 3 英語面接での応対方法 4 レストランでの接客応対 5 ホテルフロントカウンターでの接客応対 6 空港での会話／出入国審査 7 駅での会話／交通案内 8 ホテルでのトラブル対応 9 駅、電車でのトラブル対応 10 都内の観光名所案内 11 都内の観光名所案内発表 12 日本料理の説明 13 日本料理の説明発表 14 １分間プレゼンテーション準備 15 １分間プレゼンテーション発表
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　英語リスニングおよび英会話試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	156
授業科目	言語知識Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	観光産業で必要な英会話を学ぶ
授業の進め方	テキストを用いてネイティブ講師による会話練習
達成目標	お客様に英語で簡単な案内ができるようになる
教科書	ENGLISHI FOR TOURISM Basic
特記	英会話学校で講師をしている
授業計画	1 道案内（国内） 2 道案内（海外） 3 日本料理の説明 4 レストランの予約 5 日本文化の説明 6 日本の観光地の説明 7 外貨両替 8 タクシーの手配 9 空港でのチェックイン 10 出入国審査 11 ホテル館内案内 12 駅構内の案内 13 忘れ物の対応 14 1分間スピーチ内容決定 15 1分間スピーチ発表
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　英語リスニングおよび英会話試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	157
授業科目	レストラン概論Ⅲ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	料飲サービスに必要な知識と、基本的なサービス技能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と、実習室を使った演習を行う
達成目標	料飲サービスの基本的な知識が理解でき、テーブルサービスができるようになる
教科書	西洋料理料飲接遇サービス技法／基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル
特記	
授業計画	1 第1章復習 2 第2章復習 3 第3章復習 4 演習：ブレックファーストサービスとランチサービスの違い 5 演習：ブレックファーストサービスとランチサービスの違い 6 演習：前年度技能検定実技試験内容練習 7 第4章復習 8 第5章復習 9 演習：前年度技能検定実技試験内容確認 10 演習：前年度技能検定実技試験内容練習 11 第6章復習 12 第7章復習 13 演習：前年度技能検定実技試験内容練習 14 演習：前年度技能検定実技試験内容練習 15 第8章復習 16 検定過去問題 17 演習：ワインボトルのサービス 18 演習：ワインボトルのサービス 19 検定過去問題 20 演習：ワインボトルのサービス 21 演習：ワインボトルのサービス 22 検定過去問題 23 演習：お水のサービス、パンのサービス、ワインボトルのサービス 24 演習：お水のサービス、パンのサービス、ワインボトルのサービス 25 検定過去問題 26 検定過去問題 27 演習：お水のサービス、パンのサービス、ワインボトルのサービス 28 演習：お水のサービス、パンのサービス、ワインボトルのサービス 29 検定過去問題 30 検定過去問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	158
授業科目	レストラン実務
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	レストランのサービス技術を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と、実習室を使った演習を行う
達成目標	レストランサービス技能検定3級実技試験に合格できる技能を身につける
教科書	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル
特記	

授業計画

1	フルーツのカッティングサービス	31	総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）
2	フルーツのカッティングサービス	32	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
3	フルーツのカッティングサービス	33	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
4	フルーツのカッティングサービス	34	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
5	フルーツのカッティングサービス	35	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
6	フルーツのカッティングサービスチェック	36	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
7	フルーツのカッティングサービスチェック	37	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
8	フルーツのカッティングサービスチェック	38	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
9	ノンアルコールカクテル作成のポイント	39	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
10	ノンアルコールカクテル作成	40	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
11	ノンアルコールカクテル作成	41	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
12	ノンアルコールカクテル作成	42	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
13	ノンアルコールカクテル作成	43	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
14	ノンアルコールカクテル作成	44	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
15	ノンアルコールカクテル作成	45	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
16	ノンアルコールカクテルチェック		
17	ノンアルコールカクテルチェック		
18	ノンアルコールカクテルチェック		
19	プラッターサービス		
20	プラッターサービス		
21	プラッターサービス		
22	プラッターサービス		
23	ブレックファーストタイムのサービス練習		
24	ブレックファーストタイムのサービス練習		
25	ブレックファーストタイムのサービス練習		
26	ブレックファーストタイムのサービス練習		
27	ブレックファーストタイムのサービス練習		
28	ランチタイムのサービス練習		
29	ランチタイムのサービス練習		
30	ランチタイムのサービス練習		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	159
授業科目	プレゼンテーション概論
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	160
授業科目	日本語実践Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	日本語の正しい発音とアクセントの学習
授業の進め方	実践的な問題演習
達成目標	正しい発音・イントネーションを学び会話ができるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 発音と韻律の説明。 2 母音と子音：発音のメカニズム・母音 3 母音と子音：発音のメカニズム：子音 4 現在の自分の発音を記録 5 動詞のアクセント 6 形容詞のアクセント 7 外来語の正しい発音とアクセント 8 同音異義語のアクセント 9 文末イントネーション 10 接客用語の正しい発音とアクセント 11 話してみよう（グループワーク） 12 話してみよう（グループワーク） 13 スピーチ用原稿作成 14 スピーチ（発表）をして自分の話し方を記録 15 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	161
授業科目	言語知識（中国語）
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	中国語の発音を学び、中国語の会話を理解する
授業の進め方	テキストを用いた発音練習と講師による会話練習
達成目標	中国語で簡単な会話ができるようになる
教科書	中国語会話　口語速成　入門編　上／長城漢語　生存交際１・２
特記	現在も中国語の講師として活躍している
授業計画	1　中国語の発音／第1課　你好 2　第2課　你好吗 3　第3課　你吃什么 4　第4課　多少钱 5　第5課　图书馆在哪儿 6　第6課　我来介绍一下 7　第7課　你身体好吗 8　第8課　你是哪国人 9　第9課　你家有几口人 10　第10課　现在几点 11　第11課　办公楼在教学楼北边 12　第12課　要红的还是要蓝的 13　第13課　您给我介绍介绍 14　第14課　咱们去尝尝、好吗 15　第15課　去邮局你怎么 16　生存交際１　第一単元　你好，我是麦克／第二単元　我姓金，叫金太成 17　生存交際１　第三単元　我从英国伦敦来／第四単元　我在一家公司工作 18　生存交際１　第五単元　你今年多大／第六単元　她的男朋友很帅 19　生存交際１　第七単元　我住在阳光小区 20　生存交際１　第八単元　我喜欢大家庭 21　生存交際１　第九単元　我最近很忙 22　生存交際１　第十単元　我来介绍一下儿 23　生存交際２　第一単元　10月1日是我的生日／第二単元　你现在在哪里儿 24　生存交際２　第三単元　我的包是红色的／第四単元　从这儿怎么走 25　生存交際２　第五単元　一共一百八十八元八角八分 26　生存交際２　第六単元　你来点菜吧 27　生存交際２　第七単元　喂，请问金经理在吗 28　生存交際２　第八単元　你的房间大不大 29　生存交際２　第九単元　我们还是坐出租车吧 30　生存交際２　第十単元　没问题，我帮你
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価（筆記、リスニング、会話）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	162
授業科目	宅建業法Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士試験内容の1つである宅建業法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要となる知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　宅建業法の概要 2　免許　免許制度Ⅰ 3　免許　免許制度Ⅱ 4　免許　みなし宅建業者、免許の基準Ⅰ 5　免許　免許の基準Ⅱ 6　問題演習・解説Ⅰ 7　営業保証金 8　宅地建物取引業保証協会 9　問題演習・解説Ⅱ 10　宅地建物取引士　制度、資格試験、登録 11　宅地建物取引士　交付 12　問題演習・解説Ⅲ 13　業務を行う場所に関する規制 14　8種制限　概要、クーリングオフ制度 15　問題演習・解説Ⅳ 16　8種制限　瑕疵担保責任の特約制限　等 17　8種制限　手付金等の保全　等、住宅瑕疵担保履行法 18　問題演習・解説Ⅴ 19　中間テスト 20　一般的業務規制、取引における手続きの流れ　概要 21　取引態様の明示、媒介契約 22　重要事項の説明等（第35条書面） 23　契約書面の交付（第37条書面） 24　報酬　報酬の受領、売買・交換の媒介・代理に関する報酬額 25　報酬　貸借の媒介・代理に関する報酬額 26　監督・罰則Ⅰ 27　監督・罰則Ⅱ 28　住宅瑕疵担保履行法 29　問題演習・解説Ⅵ 30　定例試験
成績評価方法 （試験実施方法）	
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	163
授業科目	宅建権利関係Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士としての財産法（民法）について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要な財産法（民法）の知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　民法総則　財産権の種類、制限行為能力者 2　民法総則　法律行為・意思表示の有効性 3　民法総則　取消及び追認 4　民法総則　代理、時効 5　問題演習・解説Ⅰ 6　民法物件　不動産物権の対抗要件（登記） 7　民法物件　所有権 8　民法物権　抵当権1 9　民法物権　抵当権2 10　問題演習・解説Ⅱ 11　民法債権総論　債権の発生 12　民法債権総論　消滅、譲渡 13　民法債権総論　債務不履行 14　民法債権総論　危険負担・受領遅滞 15　民法債権総論　連帯債務・保証債務 16　問題演習・解説Ⅲ 17　中間テスト 18　民法債権各論　売買、請負 19　民法債権各論　賃貸借、使用貸借 20　民法債権各論　委任、不法行為 21　民法相続　相続の方法、遺言・遺贈 22　問題演習・解説Ⅳ 23　借地借家法　借地1 24　借地借家法　借地2 25　借地借家法　借家1 26　借地借家法　借家2、建物の区分所有等に関する法律 27　問題演習・解説Ⅴ 28　不動産登記法　概要、表示に関する登記、権利に関する登記 29　不動産登記法　申請手続、仮登記、登記等の公開 30　定例試験
成績評価方法 （試験実施方法）	
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	164
授業科目	宅建法令上の制限Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０回
授業概要	宅地建物取引士試験内容の1つである法令上の制限について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	宅地建物取引士として必要な法令上の制限の知識を修得
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　都市計画法　都市計画区域 2　都市計画法　都市計画の決定 3　都市計画法　開発行為の規制1 4　都市計画法　開発行為の規制2 5　問題演習・解説Ⅰ 6　問題演習・解説Ⅱ 7　建築基準法　用語の定義、建築確認等 8　建築基準法　単体規定、集団規定1 9　建築基準法　集団規定2、建築協定 10　建築基準法　建築協定 11　問題演習・解説Ⅲ 12　問題演習・解説Ⅳ 13　国土利用計画法 14　宅地造成等規制法 15　農地法 16　土地区画整理法 17　問題演習・解説Ⅴ 18　問題演習・解説Ⅵ 19　中間テスト 20　所得税 21　登録免許税、印紙税 22　不動産所得税、固定資産税 23　鑑定評価地下公示法 24　問題演習・解説Ⅶ 25　問題演習・解説Ⅷ 26　景品表示法 27　住宅金融支援機構法 28　土地・建物Ⅰ 29　土地・建物Ⅱ 30　定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	165
授業科目	宅建総合演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５回
授業概要	宅地建物取引士試験に必要な科目を体系的に学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	宅地建物取引士として必要な知識を体系的に修得
教科書	テキスト及び演習問題
特記	

授業計画

1	基礎演習問題1演習	31	総まとめ演習1
2	法令上の制限横断まとめⅠ	32	総まとめ演習2
3	法令上の制限横断まとめⅡ	33	直前模擬試験前解説Ⅰ
4	基礎演習問題2演習	34	直前模擬試験前解説Ⅱ
5	税・その他横断まとめⅠ	35	直前模擬試験前解説Ⅲ
6	税・その他横断まとめⅡ	36	直前模擬試験前解説Ⅳ
7	基礎演習問題3演習	37	直前模擬試験
8	権利関係横断まとめⅠ	38	直前模擬試験解説Ⅰ
9	権利関係横断まとめⅡ	39	直前模擬試験解説Ⅱ
10	基礎演習問題4演習	40	直前模擬試験解説Ⅲ
11	宅建業法横断まとめⅠ	41	全国統一模擬試験
12	宅建業法横断まとめⅡ	42	全国統一模擬試験解答解説Ⅰ
13	宅建業法横断まとめⅢ	43	全国統一模擬試験解答解説Ⅱ
14	直前まとめ講義	44	最終講義1
15	直前演習問題1演習	45	最終講義2
16	直前演習問題1解説・横断まとめⅠ		
17	直前演習問題1解説・横断まとめⅡ		
18	直前演習問題1解説・横断まとめⅢ		
19	直前演習問題2演習		
20	直前演習問題2解説・横断まとめⅠ		
21	直前演習問題2解説・横断まとめⅡ		
22	直前演習問題2解説・横断まとめⅢ		
23	直前演習問題3演習		
24	直前演習問題3解説・横断まとめⅠ		
25	直前演習問題3解説・横断まとめⅡ		
26	直前演習問題3解説・横断まとめⅢ		
27	直前演習問題4演習		
28	直前演習問題4解説・横断まとめⅠ		
29	直前演習問題4解説・横断まとめⅡ		
30	直前演習問題4解説・横断まとめⅢ		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　全体習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	166
授業科目	宅建実務Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５回
授業概要	宅建業の実務を知るための特別講義
授業の進め方	講義とテキスト解説により宅建業を知る
達成目標	講義解説により、自ら宅建業務について学ぶ
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　職種別講義「宅建士と専門家のつながり」 2　職種別講義「不動産業のタイプ」 3　職種別講義「マイソクチラシの作り方」 4　職種別講義「宅建業者の免許手続きについて」 5　職種別講義「宅建士証関係の発行手続きについて」 6　職種別講義「重要事項説明書の作り方」 7　職種別講義「物件調査体験」 8　職種別講義「契約書面の作り方」 9　職種別講義「媒介契約書の作り方」 10　職種別講義「空室確認の方法」 11　職種別講義「写真撮影のポイント」 12　職種別講義「賃貸物件の裏側」 13　職種別講義「投資用物件の選び方」 14　職種別講義「不動産に関する税金について」 15　職種別講義「不動産実務のトラブル例」
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	